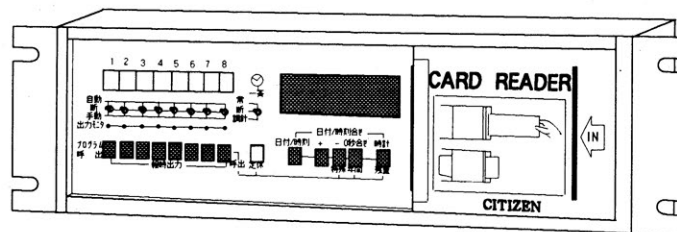


CITIZEN

カード式8回路
年間プログラムタイマ付
水晶式親時計

PT-40T

シリーズ



取扱説明書

(第4版)

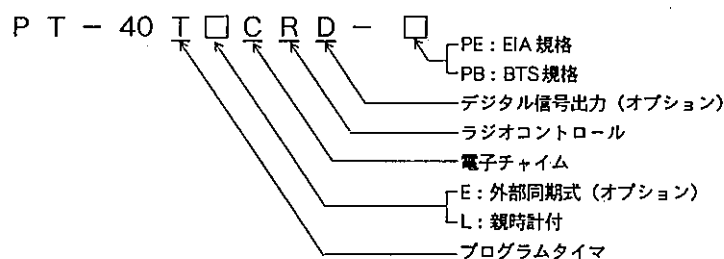
はじめに

このたびは、弊社のカード式プログラムタイマをお買い上げいただきましてありがとうございます。

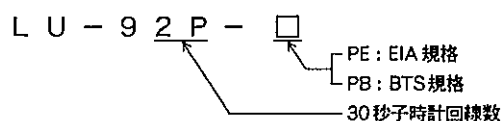
この取扱説明書はカード式プログラムタイマの機能、操作方法、取扱い上の注意などについて説明したものです。良くお読みいただき、機能を十分活用してお使いください。

設置されている製品の型名を内部銘板で確認し、下記型名と照合してください。型番により付属機能が異なります。

型 式	プログラム タイマ	親時計	外部同期	電子 チャイム	ラジオ コントロール	子時計 駆動数	重 量 (kg)
PT-40T-PE (PB)	○	-	-	-	-	-	約5 (5)
PT-40TR-PE (PB)	○	-	-	-	○	-	約5.5 (5.5)
PT-40TC-PE (PB)	○	-	-	○	-	-	約5.5 (5.5)
PT-40TE-PE (PB)	○	-	○	-	-	-	約5 (5)
PT-40TEC-PE (PB)	○	-	○	○	-	-	約5.5 (5.5)
PT-40TL-PE (PB)	○	○	-	-	-	30	約5 (5)
PT-40TLR-PE (PB)	○	○	-	-	○	30	約5.5 (5.5)
PT-40TLC-PE (PB)	○	○	-	○	-	30	約5.5 (5.5)



型 式	親時計 モニタ	子時計駆動数			重 量 (kg)
		2 P	3 P	4 P	
MU-91P-PE (PB)	○	-	-	-	約5 (6.5)
LU-92P~94P-PE (PB)	-	60	90	120	約6 (7.5)



時計の合わせ方

プログラムタイマ
の基本説明

週間プログラム

特殊プログラム

年間プログラム

プログラムの
消去

その他の機能

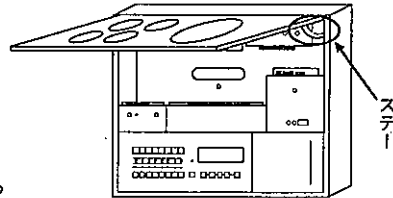
本装置または機器に関する安全上の注意

本装置を正しく安全にご使用いただくため、使用前に必ず本装置または機器に関する安全上の注意および取扱説明書をよく読み、十分理解してから使用してください。ご使用後も大切に保管してください。

警告

左のマークがある箇所には、誤った取扱いをすると使用者が死亡または重傷を負うことが予想される内容が記されています。

- 制御基板および回路部分に触れないでください。感電、故障および誤動作の原因になります。
- 親時計の扉を開けるときは、扉に付いてるステーをしっかり固定してください。そうしないと扉が急に落ちて、顔や手を傷つける恐れがあります。
- 塗れた手で操作しないでください。感電するおそれがあります。
- 機器は一般の方など、本製品の設定・操作の知識がない方に操作させないでください。



注意

左のマークがある箇所には、誤った取扱いをすると使用者が傷害を負ったり、本装置や機器、設備の損傷が予想される内容が記されています。

- ディップスイッチ、ディップロータリースwitchの設定は細いマイナスドライバーで行なってください。サイズの異なったドライバーを使用すると、ネジ頭を潰す恐れがあります。
- 機器内部にビスや部品や金属製小片を入れたまま設置しないでください。内部でショートする恐れがあります。
- 機器内部にあるコネクタ類は外さないでください。表示・操作ができなくなります。
- 機器内部にあるディップスイッチ、ディップロータリースwitchはむやみにいじらないでください。表示・操作ができなくなります。
- 機器の接続線をむやみに強く引っ張らないでください。コネクタが破損を起こしたり、表示・操作ができなくなります。
- 機器に水をかけないでください。ショートする恐れがあります。
- ベンジン・シンナーなどの溶剤で機器を拭かないでください。本体外装部が変質したり、塗装が落ちる恐れがあります。
- 機器を分解・改造しないでください。表示・操作ができなくなります。
- 機器は高温・多湿な場所には置かないでください。コネクタなどが腐食しやすくなります。
- 絶縁試験の注意
本装置の端子に接続したままでラインの絶縁抵抗試験は禁止します。接続したままでは装置が損傷します。

設定・操作方法の注意事項

- 最初に必ず設定表のコピーに必要事項を記入して、保存しておいてください。

はじめに	P.1
本装置または機器に関する安全上の注意	P.2
目次	P.3~5
主な取扱い	P.6~7

時計の合せ方

日付・時刻の合せかた	P.10~14
------------	---------

電源投入後の表示	P.10
----------	------

日付・時刻の合せかた	P.10
------------	------

●年合せ	P.11
●月・日合せ	P.12
●時分合せ	P.13
●秒合せ	P.14

子時計の時刻合せ	P.15~19
----------	---------

子時計回線が1回線の場合	P.15
--------------	------

子時計回線が2回線から4回線の場合	
-------------------	--

●すべての回線の時刻が同じ場合	P.16
●回線ごとに時刻が異なる場合	P.17

塔時計の時刻合せ	P.18
----------	------

1秒子時計の時刻合せ（オプション）	P.19
-------------------	------

ラジオコントロール(FMラジオ)の取扱い	P.20~21
----------------------	---------

内蔵電子チャイムの取扱い	P.22~23
--------------	---------

プログラムタイマの基本説明

プログラム使用例	P.26~27
----------	---------

プログラムの種類と機能	P.28
-------------	------

プログラムタイマの回路について	P.29
-----------------	------

週間プログラム、特殊プログラム 設定表記入例	P.30
---------------------------	------

年間プログラム 設定表記入例	P.31
-------------------	------

週間プログラム

週間プログラムカードの説明	P.34~35
プログラムカードの入力	P.36
プログラムの設定回数	P.37
定休日の確認および変更	...P.38~39
報時プログラム (外部チャイムの場合)	P.40~41
チャイムプログラム (内蔵電子チャイムの場合)	P.42~43
タイマプログラム (1日以内で行う場合)	P.44~45
タイマプログラム (2日以上にまたがる場合)	P.46~47
繰返しプログラム	P.48~51
繰返しプログラムにタイマを 付加した場合の設定例	P.49
週間プログラムの確認	P.52~53

特殊プログラム

特殊プログラム	P.56~57
特殊曜日プログラム (年間/万年モード期間特殊曜日プログラムで使用する)	P.58~59
特殊プログラムの確認	P.60

年間プログラム

★年間プログラム日付カード使用

年間プログラム 日付カードの説明 …P.62～63

年間/万年モード特殊プログラム …P.64～65

年間/万年モード
曜日振替プログラム ……P.66～67

★年間プログラム期間カード使用

年間プログラム 期間カードの説明 …P.68～69

年間/万年モード
期間特殊プログラム ……P.70～71

年間/万年モード
期間特殊曜日プログラム …P.72～73

年間/万年モードのプログラム
を設定するときの注意点 ……P.74

年間プログラムの確認 ……P.75

その他の機能

子時計信号 (30 秒有極信号)
の信号幅の変更 ……P.80

プログラムメモリー用バックアップ電池 ……P.80

外部同期式 (オプション) ……P.81

デジタル信号出力 (オプション) ……P.81

停電時の動作と停電復帰後の動作 …P.82

電池の適正な交換 ……P.83

故障の時 ……P.83

各部の名称 ……P.84～85

週間プログラム、特殊プログラム設定表 …P.86～87

年間プログラム設定表 ……P.88～89

取付、配線工事上の注意 ……P.90～93

PT-40T シリーズ仕様 ……P.94～95

さくいん ……P.96～97

プログラムの消去

週間プログラム、
特殊プログラム ……P.76

年間プログラム ……P.77

年間プログラム

プログラムの
消去

その他の機能

時計の合わせ方

日付・時刻の合せかたP.10~14

電源投入後の表示P.10

日付・時刻の合せかたP.10

●年合せP.11

●月・日合せP.12

●時分合せP.13

●秒合せP.14

子時計の時刻合せP.15~19

子時計回線が1回線の場合P.15

子時計回線が2回線から4回線の場合

●すべての回線の時刻が同じ場合P.16

●回線ごとに時刻が異なる場合P.17

塔時計の時刻合せP.18

1秒子時計の時刻合せ（オプション）.....P.19

ラジオコントロールの取扱いP.20~21

内蔵電子チャイムの取扱い ...P.22~23

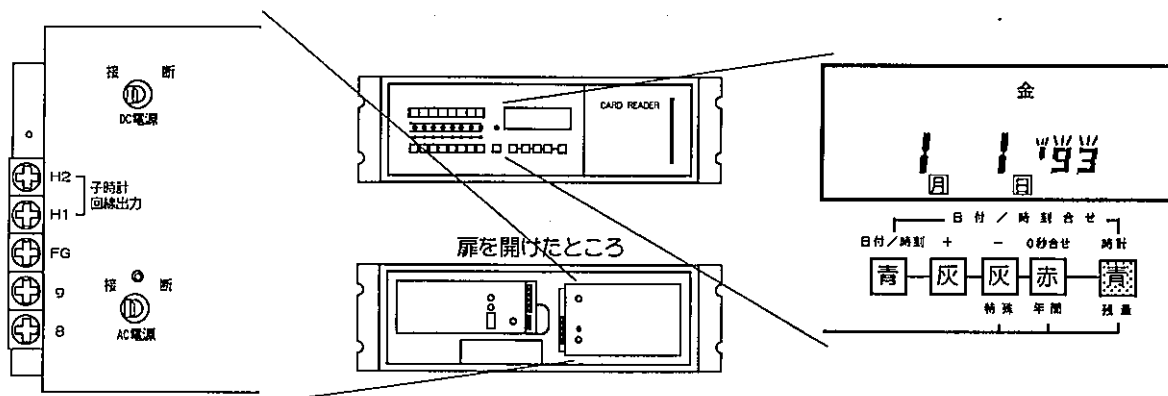
△ 注意!

指定スイッチ以外の部分は絶対にさわらないでください。
故障の原因になります。

日付・時刻の合せかた

電源投入後の表示

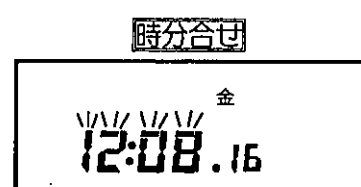
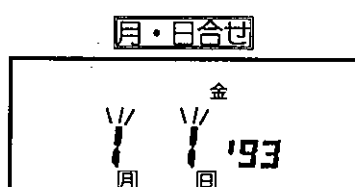
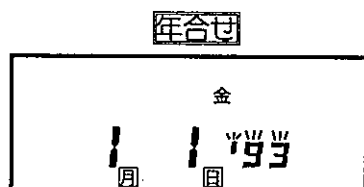
時計の合わせ方



- AC電源とDC電源を「接」にします。
AC電源スイッチ上部のLEDが点灯します。
- 時刻表示部が「'93年1月1日金曜日」を表示し、「'93」が点滅表示（**年合せ**モード）します。
12時00分00秒からカウントを開始します。
時刻を設定してある場合は、停電補償により現在時刻を表示します。（P.82 参照）
- **時計**（青色）を押すと点滅が止まり、年・月・日 表示から現在時刻表示に変わります。

日付・時刻の合せかた

- **日付/時刻**（青色）を押すたびに **年合せ** **月・日合せ** および **時分合せ** の3つの合わせモードに切り替わります。

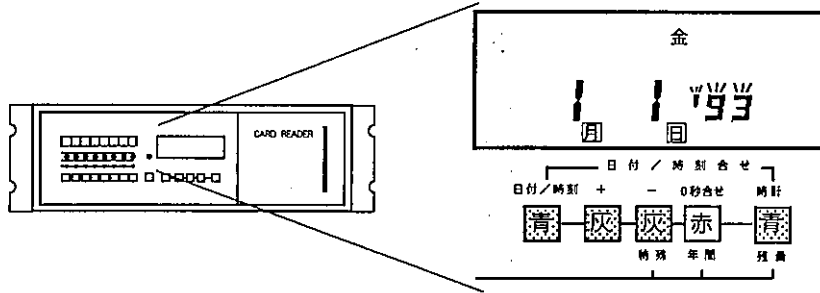


- 合せ終わりましたら、**時計**（青色）を押すと現在時刻表示に戻り、「[日付]」および「[時刻]」が設定されます。

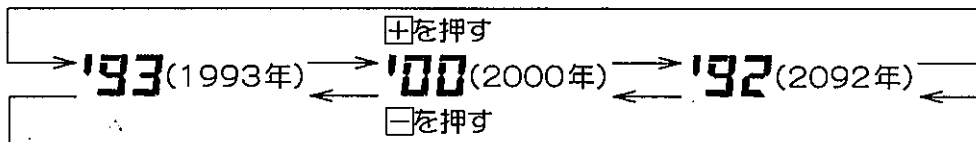
年合せ

- 西暦 1993 年～2092 年までの 100 年間のカレンダーを内蔵してあります。
- 表示は下 2 桁で、1 年ずつ増やし、または減らしながら年合せをします。

時計の合わせ方



- **日付/時刻** (青色) を押して **年合せ** 表示にします。(年表示が点滅します)
- **+** (灰色) を 1 回押すごとに年表示が 1 年ずつ増えます。
- **-** (灰色) を 1 回押すごとに年表示が 1 年ずつ減ります。
- **+** または **-** を 1 秒以上押し続けると早送りになります。



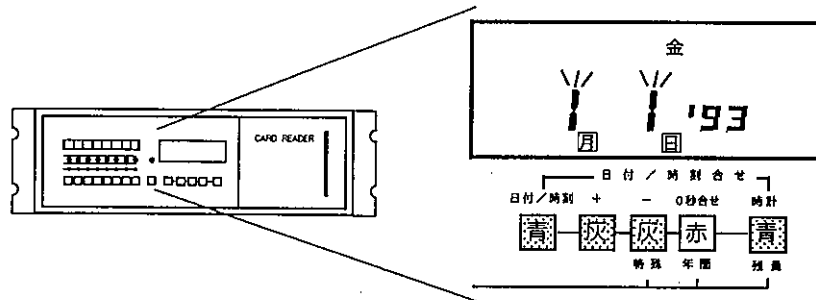
- うるう年は自動補正され、2月29日はうるう年だけ表示されます。
- 曜日は年・月・日で自動的に決まり、表示されます。
- 合せ終わったら**日付/時刻** (青色) を押して、次の **月・日合せ** または **時分合せ** を行ないます。
- **年合せ** までを行なう場合は、合せ終わったら**時計** (青色) を押します。
修正したデータが設定され、現在時刻表示に戻ります。
- 日付・時刻合せを行っているとき、30 秒間キー入力がなかった場合は、入力したデータはキャンセルされ、現在時刻表示に戻ります。

日付・時刻の合せかた

月・日合せ

時計の合わせ方

- 1月1日～12月31日、1年365日（うるう年は366日）を1日ずつ増やし、または減らしながら月・日を合せます。

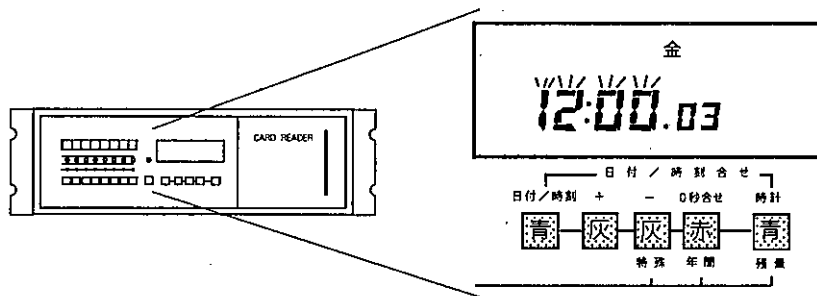


- **日付/時刻**（青色）を押して **月・日合せ** 表示にします。（月・日表示が点滅します）
- **+**（灰色）を1回押すごとに月・日表示が1日ずつ増えます。
月末まで表示すると次は翌月の1日を表示します。
- **-**（灰色）を1回押すごとに月・日表示が1日ずつ減ります。
1日まで表示すると次は先月の末日を表示します。
- **+**または**-**を1秒以上押し続けると早送りになります。
- 曜日は年・月・日で自動的に決まり、表示されます。
- 合せ終わったら**日付/時刻**（青色）を押して、次の **時分合せ** を行ないます。
- **月・日合せ** までを行なう場合は、合せ終わったら**時計**（青色）を押します。
修正したデータが設定され、現在時刻表示に戻ります。
- 日付・時刻合せを行っているとき、30秒間キー入力がなかった場合は、入力したデータはキャンセルされ、現在時刻表示に戻ります。

時分合せ

時計の合わせ方

- 00時00分～23時59分 1日24時間を1分ずつ増やし、または減らしながら時分を合せます。



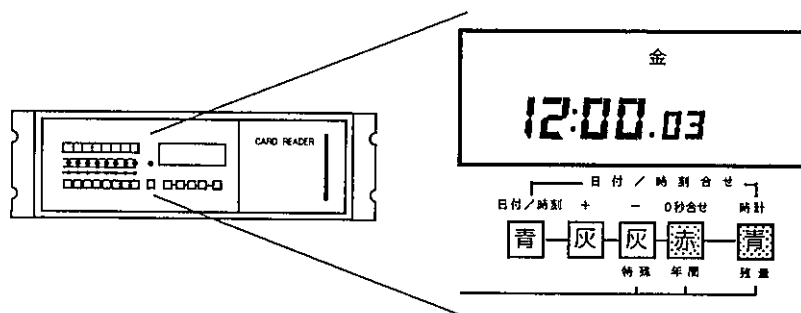
- **日付/時刻** (青色) を押して、**時分合せ** 表示にします。(時分表示が点滅します)
- **+** (灰色) を1回押すごとに時分表示が1分ずつ増えます。
23時59分まで表示すると次は00時00分を表示します。
- **-** (灰色) を1回押すごとに時分表示が1分ずつ減ります。
00時00分まで表示すると次は23時59分を表示します。
- **+** または **-** を1秒以上押し続けると、早送りになります。
- **+** または **-** を押しながら **0秒合せ** (赤色) を押すと、早送りのスピードがさらに早くなります。
- 合わせ終わったら **時計** (青色) を押します。
修正したデータが設定され、現在時刻表示に戻ります。
- 合せ終わっても **時計** (青色) を押さないで、そのまま30秒間他のボタンも押さなかった場合は、**年合せ** **月・日合せ** **秒合せ** のデータはキャンセルされ、現在時刻表示に戻ります。

日付・時刻の合せかた

秒合せ

時計の合わせ方

- 遅れている場合は0.5秒の早送りで追いかけて、進んでいる場合はその時間だけ停止して秒を合せます。



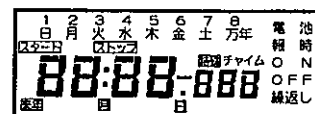
- 時計 (青色) を押し、現在時刻を表示させた状態で行います。
- 時計 (青色) を押しながら放送や電話の時報と同時に 0秒合せ (赤色) を押します。
(押した瞬間が0秒です)
- 遅れている場合 (時刻表示 30 秒～59 秒) は0.5 秒の早送りで追いかけます。
- 進んでいる場合 (時刻表示 1 秒～ 29 秒) は進んでいる時間だけ停止します。
- 0 秒合せの動作中は、他の操作はできません。

液晶表示部のチェック

0秒合せを押しながら日付/時刻 (青色) を押します。

全セグメントが表示されます。

時計 (青色) を押すと、現在時刻に戻ります。



△ 注意!

指定スイッチ以外の部分は絶対にさわらないでください。
故障の原因になります。

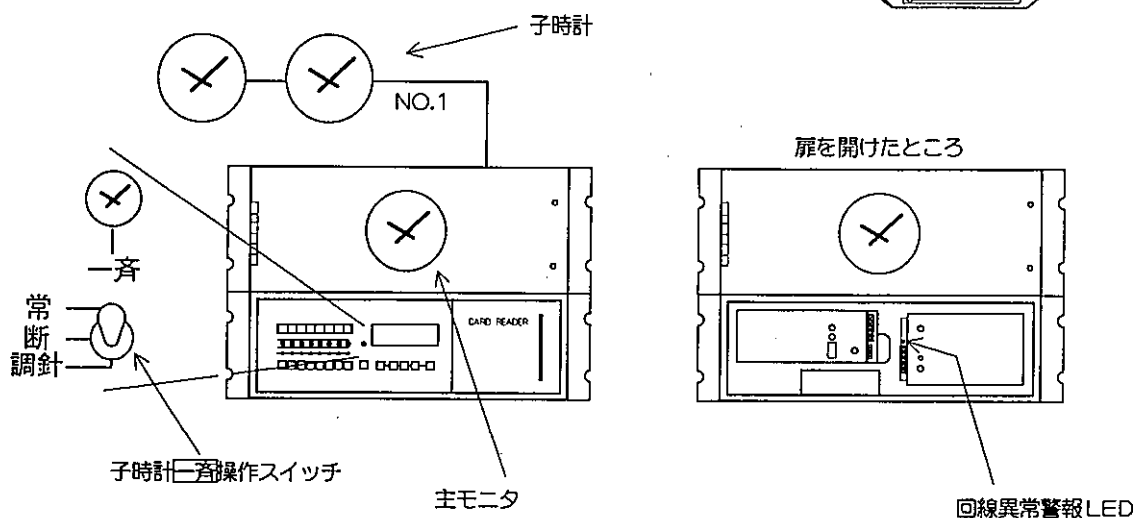
子時計の時刻合せ

- 時計表示部のデジタル時計が現在時刻に合っているか確認します。
デジタル時計が狂っているときは日付・時刻の合せかた (P.10～P.14) で正しい時刻に合せます。

子時計回線が 1 回線の場合

時計の合わせ方

- 主モニタが回線モニタを兼用します。
- 子時計回線に接続されたすべての子時計の時刻が主モニタの時刻と同じであることを確認してください。
- 子時計の時刻にバラツキがあれば、子時計機体およびモニタ機体のツマミを回して合せてください。



- 子時計操作スイッチを「調針」にします。
主モニタとすべての子時計が早送り (30 倍速) します。
- 現在時刻より 1 分ぐらい進んだところで、子時計操作スイッチを「断」にして、主モニタと現在時刻が同じになるのを待ちます。
- 現在時刻が主モニタの時刻になったら、子時計操作スイッチを「常」に戻します。

(注意) 子時計回線の過負荷検出

- 子時計信号の送出時に、[回線異常警報LED] が点灯 (赤色) したときは、回線が過負荷 (子時計をつなぎ過ぎているか、またはラインのショート) です。
- 子時計信号は出力されませんので、回線をチェックして障害を取り除いて再調整します。

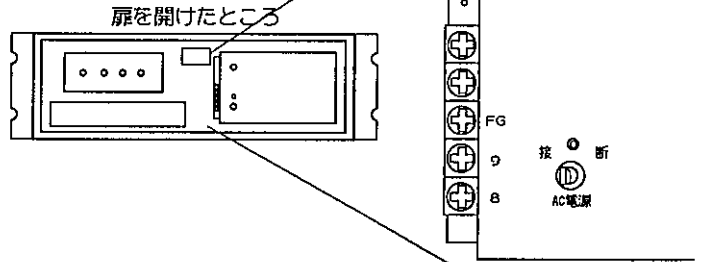
△ 注意!

指定スイッチ以外の部分は絶対にさわらないでください。
故障の原因になります。

子時計の時刻合せ

●子時計回線増設ユニットの電源の入れ方

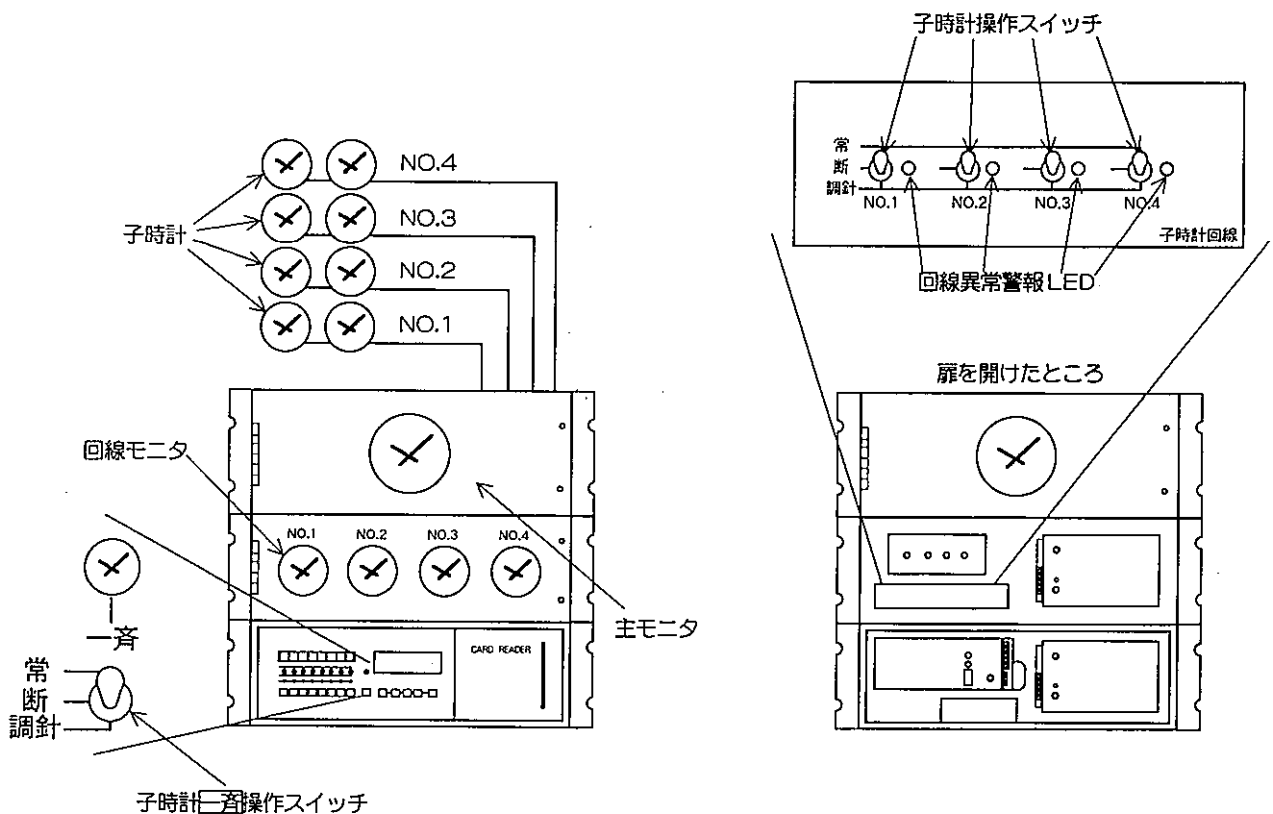
- 右側のネジをゆるめ、扉を開けます。
- AC電源とDC電源を「接」にします。
- AC電源スイッチ上部のLEDが点灯します。



子時計回線が2回線から4回線の場合

- 子時計回線に接続されたすべての子時計の時刻が回線モニタの時刻と同じであることを確認してください。
- 子時計の時刻にバラツキがあれば、子時計機体およびモニタ機体のツマミを回して合せてください。

すべての回線の時刻が同じ場合



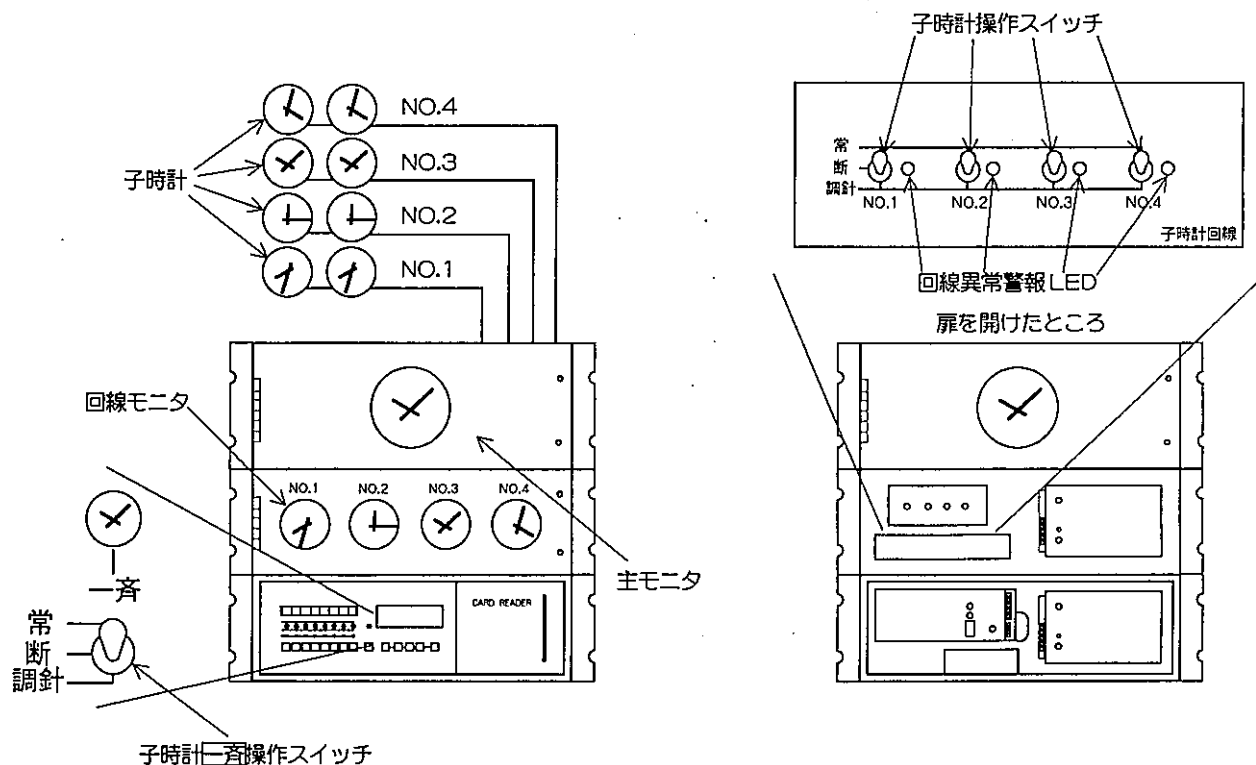
- 子時計回線NO.1～NO.4すべての子時計操作スイッチを「常」にします。
- 子時計一斉操作スイッチを「調針」にします。
モニタ時計とすべての子時計が早送り（30倍速）します。
- 現在時刻より1分くらい進んだところで子時計一斉操作スイッチを「断」にして、モニタ時計と現在時刻が同じになるのを待ちます。
- 現在時刻がモニタ時計の時刻になったら、子時計一斉操作スイッチを「常」に戻します。

△ 注意!

指定スイッチ以外の部分は絶対にさわらないでください。
故障の原因になります。

子時計の時刻合せ

回線ごとに時刻が異なる場合



- 子時計一斉操作スイッチを「常」にします。
- 最も進んでいる子時計回線の子時計操作スイッチを「断」にして、他の遅れた回線の回復を待ちます。
- 遅れている子時計回線の子時計操作スイッチを「調針」にします。
- 「調針」にした回線のモニタ時計と子時計が一斉に早送り（30 倍速）されます。
- 調針中の回線が停止中の最も進んだ回線の時刻になったら、その回路の子時計操作スイッチを「断」にします。
- 4 回線とも同じ時刻になったら、**NO.1**～**NO.4**の子時計操作スイッチをすべて「常」に戻します。
- つぎに子時計一斉操作スイッチを「調針」にして、モニタ時計とすべての子時計を早送り（30 倍速）します。
- 現在時刻より 1 分くらい進んだところで子時計一斉操作スイッチを「断」にして、モニタ時計と現在時刻が同じになるのを待ちます。
- 現在時刻がモニタ時計の時刻になったら、子時計一斉操作スイッチを「常」に戻します。

(注意) 子時計回線の過負荷検出

- 子時計信号送出時に、[回線異常警報 LED] が点灯（赤色）したときは、点灯している回線が過負荷（子時計をつなぎ過ぎていたり、またはラインのショート）です。
- 子時計信号は出力されませんので、回線をチェックして、障害を取り除いて再調整します。

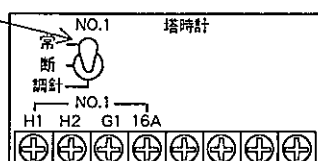
子時計の時刻合せ

塔時計の時刻合せ（オプション）

時計の合わせ方

- 塔時計は 30 秒有極信号を受け、1 分ごとに動作します。
- 塔時計モニタは塔時計が動作したことで動作します。

塔時計 NO.1 操作スイッチ



- 塔時計と塔時計モニタの時刻が合っているか確認します。
- 違う場合は塔時計に塔時計モニタをモニタ機体のツマミを回して合せます。
- 現在時刻より塔時計が進んでいる場合、
塔時計 NO.1 操作スイッチを「断」にして、主モニタの時刻と合うまで待ちます。
主モニタと塔時計モニタの時刻が一致したら塔時計 NO.1 操作スイッチを「常」に戻します。
- 現在時刻より塔時計が遅れている場合、
塔時計 NO.1 操作スイッチを「調針」にします。
塔時計と塔時計モニタが早送りになります。
主モニタと塔時計モニタの時刻が一致したら、塔時計 NO.1 操作スイッチを「常」に戻します。

△ 注意!

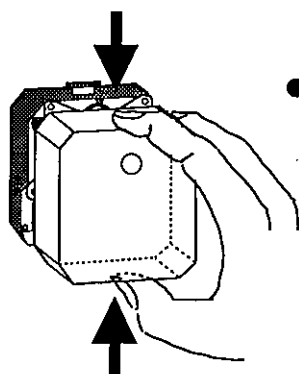
指定スイッチ以外の部分は絶対にさわらないでください。故障の原因になります。

子時計の時刻合せ

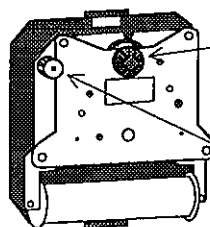
1 秒子時計の時刻合せ (オプション)

時計の合わせ方

- 1 秒子時計回線が1 回線の時はNO.1を、2 回線の時はNO.1とNO.2を1 秒子時計回線とします。
- 1 秒子時計回線に接続されたすべての1 秒子時計の時刻が、それぞれの回線モニタの時刻と同じであることを確認してください。
- 1 秒子時計の時刻にバラツキがあれば、カバーをはずしツマミを回して合せてください。



- カバーをはずす
カバーの上下を、矢印の方向に凹ませて、手前に引きます。



- 秒針ツマミ
機体の中央部のツマミを回します。
- 時分針ツマミ
機体左上部のツマミを引き出して回します。

- 子時計操作スイッチを操作します。

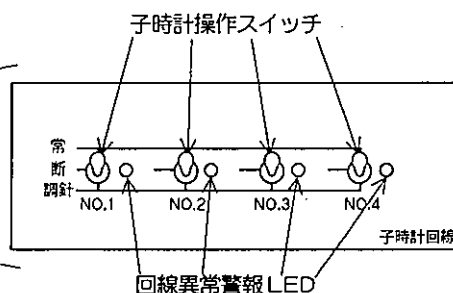
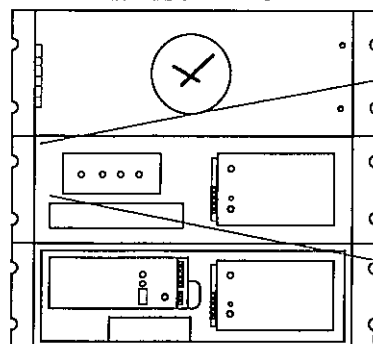
■ 進んでいる場合

- ◆ 子時計操作スイッチを「断」にします。
時計信号が出力されません。
- ◆ 正しい時刻が来たら、「常」に戻します。

■ 遅れている場合

- ◆ 子時計操作スイッチを「調針」にします。
- ◆ 1 秒回線モニタと1 秒子時計が早送り (2 倍速) になります。
正しい時刻になるまで進め、「常」に戻します。

扉を開けたところ



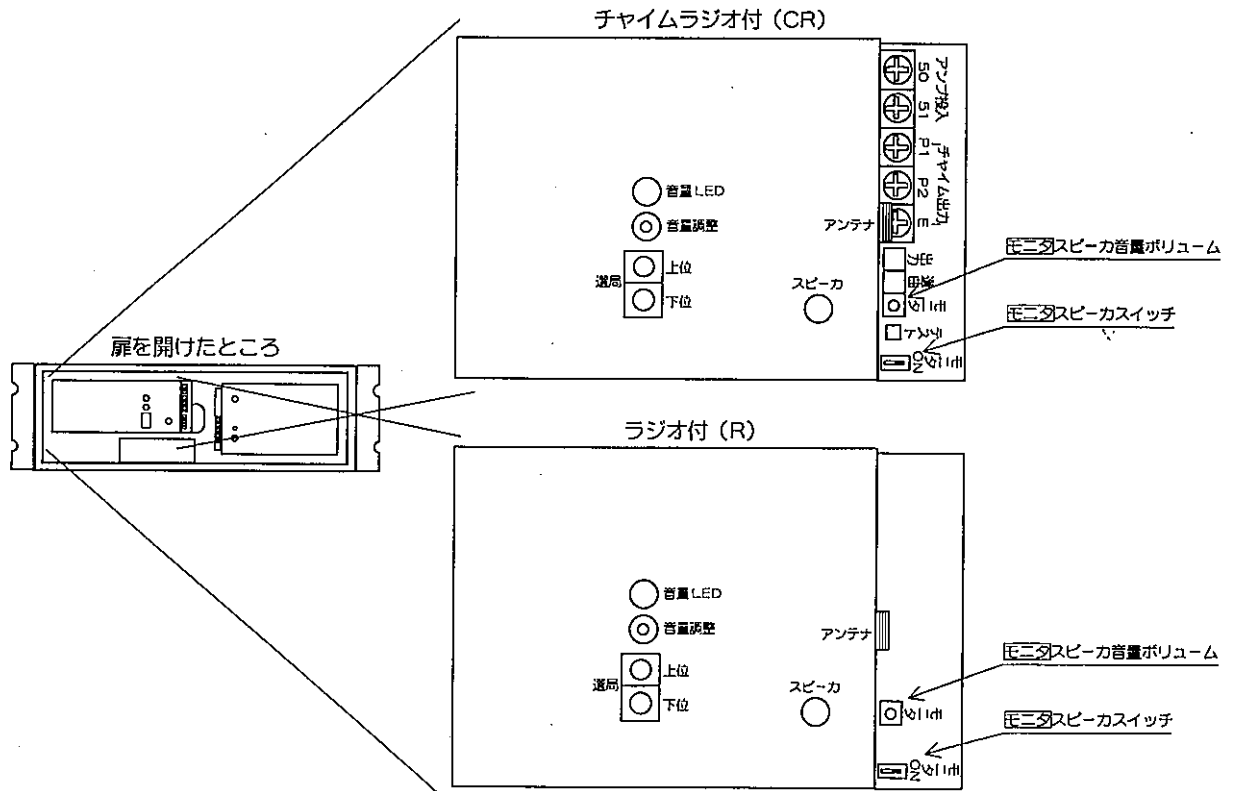
△ 注意!

指定スイッチ以外の部分は絶対にさわらないでください。
故障の原因になります。

ラジオコントロール (FMラジオ) の取扱い

- NHK - FM 放送を受信して、1 日に 2 回 (7 時、19 時) 時報音をパルス信号として抽出親時計の誤差を修正します。
- 修正範囲は正時に対して [± 30 秒] です。
- 内蔵スピーカでモニタできます。

時計の合わせ方

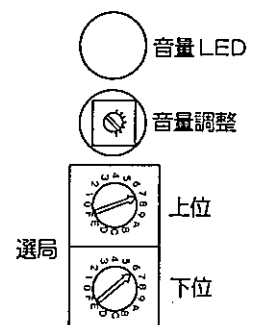


- 外部アンテナ (または分配器) に確実に接続されているかを確認のうえ、次の要領で調整します。

- ① NHK - FM 放送局の周波数を [放送局設定用コード表] に従い、**選局** 用ロータリースイッチで受信状態の良好な放送局に設定を変更します。

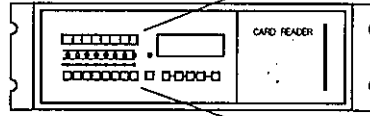
なお NHK - FM 放送局であればこの放送局でも構いません。

(例) NHK - FM (東京)、周波数 82.5MHz (上位 7、下位 6)



- ② **Ⓔ** **二** **タ** スピーカスイッチを「ON」にし、手動でラジオ電源を投入してください。

- **時** **計** (青色) を押しながら **日** **付** **ノ** **時** **刻** (青色) を同時に押します。
- 1 分間だけラジオ電源が入ります。(7 時、19 時以外では時報音を受信しても時刻修正はされません)



- ③ スピーカで放送を聞きながら **音量LED** の点滅を確認します。

- **音量LED** は音楽放送では点灯状態が続き、ニュースなど人の話では点滅状態になります。また、受信不良状態でも **音量LED** の点灯状態になることがあります。
- ◆ 放送が聞き取りにくい場合は、**Ⓔ** **二** **タ** スピーカ音量ボリュームで音量の調節ができます。
- 音が小さすぎて **音量LED** が時々点滅したり、まったく点灯しない場合は、**音量調整** ボリュームを調整します。
- マイナスドライバーで最良の位置より半目盛り (約 1 mm) くらいオーバーぎみに回します。

- ④ 確認または調整終了後は **Ⓔ** **二** **タ** スピーカスイッチを OFF に戻してください。

◆ NHK 以外の放送局も受信できますが、時刻修正はされません。

● ラジオの電源投入

6 時 59 分 30 秒と、18 時 59 分 30 秒の 1 日 2 回だけ電源が 1 分間入ります。
1 分以内に時報入力があれば、その時点で電源は切れます。

● 放送局設定用コード表

(単位: MHZ)

下位 上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
3	-	-	-	-	-	76.0	76.1	76.2	76.3	76.4	76.5	76.6	76.7	76.8	76.9	77.0
4	77.1	77.2	77.3	77.4	77.5	77.6	77.7	77.8	77.9	78.0	78.1	78.2	78.3	78.4	78.5	78.6
5	78.7	78.8	78.9	79.0	79.1	79.2	79.3	79.4	79.5	79.6	79.7	79.8	79.9	80.0	80.1	80.2
6	80.3	80.4	80.5	80.6	80.7	80.8	80.9	81.0	81.1	81.2	81.3	81.4	81.5	81.6	81.7	81.8
7	81.9	82.0	82.1	82.2	82.3	82.4	82.5	82.6	82.7	82.8	82.9	83.0	83.1	83.2	83.3	83.4
8	83.5	83.6	83.7	83.8	83.9	84.0	84.1	84.2	84.3	84.4	84.5	84.6	84.7	84.8	84.9	85.0
9	85.1	85.2	85.3	85.4	85.5	85.6	85.7	85.8	85.9	86.0	86.1	86.2	86.3	86.4	86.5	86.6
A	86.7	86.8	86.9	87.0	87.1	87.2	87.3	87.4	87.5	87.6	87.7	87.8	87.9	88.0	88.1	88.2
B	88.3	88.4	88.5	88.6	88.7	88.8	88.9	89.0	89.1	89.2	89.3	89.4	89.5	89.6	89.7	89.8
C	89.9	90.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

内蔵電子チャイムの取扱い（回路NO.[1] のみで取扱いします）

- FM音源を採用したカスタム・メロディーLSIを内蔵した電子チャイムで、チャイム曲目は最大7曲です。

時計の合わせ方

- 設定時刻ごとに指定された曲を演奏します。
また、内蔵スピーカで、曲の確認ができます。

●音量調整

- 出荷時に $-25\text{dB} \pm 3\text{dB}$ （インピーダンス $10\text{k}\Omega$ ）に調節してありますが、ご使用のアンプに合わせてチャイムの音量を調節できます。
- チャイム音量はチャイム出力ボリュームを右に回すと大きくなります。左に回すと小さくなります。

●チャイムの自動演奏

- プログラムタイマNO.[1] 回路に[チャイムプログラム]を設定します。
NO.[2] ~ NO.[8] 回路には指定できません。

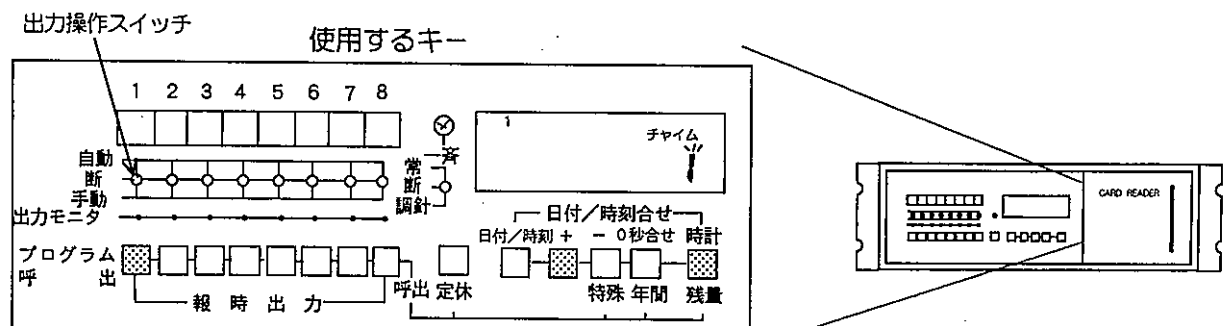
- 指定された時刻に、指定されたチャイム曲目を自動的に演奏します。

- チャイム曲目は下記の7曲です。

- 1.ウエストミンスター寺院の鐘（約24秒）
- 2.ホイットニングトン寺院の鐘（約32秒）
- 3.王の行進（約39秒）
- 4.銀波（約54秒）
- 5.田園（約39秒）
- 6.ふるさと（約33秒）
- 7.家路（約77秒）

●チャイムの手動演奏

- 回路NO.[1] の出力操作スイッチを「手動」にします。約2秒後にチャイムが鳴り始めます。
鳴り始めたら出力操作スイッチを「手動」から「自動」に戻します（演奏終了後はチャイムプログラムの設定に従って動きます）。
◆チャイムを途中で止めたい場合は、出力操作スイッチを「自動」から「断」にします。
- 曲目は、[1]：ウエストミンスター寺院の鐘が最初に設定されています。
もし曲目を変更したい場合は下記に従い選曲してください。
◆プログラムタイマNO.[1] 回路に[チャイムプログラム]の設定が必要です。
◆（灰色）を押しながらプログラム呼出ボタン（灰色）を押すと、現在設定されている曲目が点灯表示します。
◆さらにを押しながらを押すと曲目が[1]から順番に点滅表示します。希望の曲目で止めてください（曲目 3 → 1 → 2 → 3 → 4 → 5 → 6 → 7 → 1 → 2 →）
（30時間以上の停電が発生した場合、曲目は[1]に戻ります）

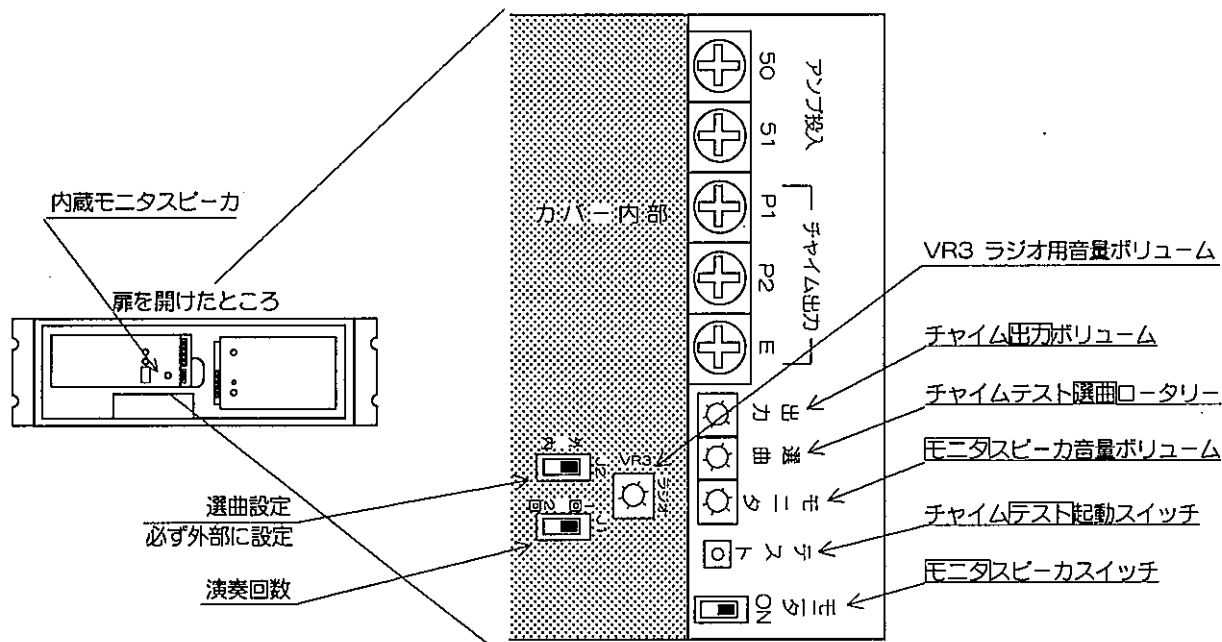


△ 注意!

指定スイッチ以外の部分は絶対にさわらないでください。故障の原因になります。

内蔵電子チャイムの取扱い

●チャイムのテスト確認（内蔵スピーカでチャイム音を確認したいとき）



時計の合わせ方

■**モニタスピーカスイッチ**を「ON」にします。

■**チャイムテスト選曲ロータリー**を1～7のいずれかにマイナスインプで設定します。

「0」、「8」、「9」は指定できません。

- 1.ウエストミンスター寺院の鐘（約24秒）
- 2.ホイットニングトン寺院の鐘（約32秒）
- 3.王の行進（約39秒）
- 4.銀波（約54秒）
- 5.田園（約39秒）
- 6.ふるさと（約33秒）
- 7.家路（約77秒）

■**チャイムテスト起動スイッチ**を押します。

チャイムが起動して、モニタスピーカから指定された曲が流れます。

■次の曲への変更は**チャイムテスト選曲ロータリー**、**チャイムテスト起動スイッチ**の操作をくり返します。

■終了は**モニタスピーカスイッチ**を「OFF」にします。

●その他の機能

■出荷時は電子チャイム内の演奏回数（J1）は1回に設定されていますが、2回に設定すると1回のチャイム起動で2回くり返して演奏します。

■ラジオの音量調整（チャイムとラジオ両方ともついている場合）

出荷時に最良の音量に調整してありますが、スピーカで放送を聞き取りにくい場合はVR3ラジオ用音量ボリュームを調整します。

右に回すと音が大きくなり、左に回すと小さくなります。

プログラムタイマの 基本説明

プログラム使用例P.26～27

プログラムの種類と機能P.28

プログラムタイマの回路についてP.29

週間プログラム、特殊プログラム
設定表記入例P.30

年間プログラム
設定表記入例P.31

プログラム使用例

プログラム設定の基本となる週間プログラムと、いろいろな特殊な設定について「チャイム」を例に簡単に説明します。
各々の項目で示したページで、設定方法を詳しく説明してあります。

基本となる1週間のスケジュールを設定したい

- 週間プログラム（チャイムプログラム）で設定します。
(P.42～43)

週間プログラム
カード 使用

日付・曜日	日曜日	月～金曜日	土曜日
時刻	0時 12時	0時 12時 0時 12時	0時 12時 0時
チャイム			

祝祭日は日曜日と同じスケジュールで
チャイムを鳴らしたい

- 万年モード曜日振替プログラムで設定します
(P.66～67)

万年プログラム
日付カード 使用

日付・曜日	2/10 (水)	2/11 (木)	2/12 (金)
時刻	0時 12時	0時 12時	0時 12時 0時
チャイム			

始業式は特別なスケジュールでチャイムを鳴らしたい

- チャイム特殊プログラム (P.56～57)
 - 年間モード特殊プログラム (P.64～65)
- で設定します

週間プログラム
カード 使用

年間プログラム
日付カード 使用

日付・曜日	4/4 (日)	4/5 (月)	4/6 (火)
時刻	0時 12時	0時 12時	0時 12時 0時
チャイム			

1993

日	月	火	水	木	金	土
...	...	...	...	...	①	2
3	4	5	6	7	⑧	9
10	11	12	13	14	⑬	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	...	...	...	...	...	...
...	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	⑪	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	...	...	...	...	...	...
...	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	②	25	26	27
28	29	30	31	...	...	...
...	...	...	...	1	2	3
4	⑤	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	⑥	30	...
...	...	...	...	...	...	1
2	③	4	⑤	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	...	...	...	...	...
...	...	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	...	...	...

運動会の日は、チャイムを鳴らしたくない

- 年間モード特殊プログラムで、
特殊番号 [00] を設定します
(P.64~65)

年間プログラム
日付カード 使用

日付・曜日	10/10
時刻	0時 12時 0時
チャイム	

○…祝祭日

△…始業式、終業式

	日	月	火	水	木	金	土
7	...	...	...	...	1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	△	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
8	31	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31	...	...	...
9	...	...	...	△	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	...	...
10	...	...	...	...	...	1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31	...	...	...	...	...	...
11	...	1	2	③	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	...	...	...	...
12	...	...	...	1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	...

夏休みの間は、
特別なスケジュールでチャイムを鳴らしたい

- チャイム特殊プログラム (P.56~57)
- 年間モード特殊プログラム (P.64~65)

週間プログラム
カード 使用

年間プログラム
日付カード 使用

で設定します

日付・曜日	7/20~8/31
時刻	0時 12時 0時
チャイム	

冬期は、通常の週間プログラムとは異なる
曜日単位のスケジュールでチャイムを鳴らしたい

- チャイム特殊曜日プログラム (P.58~59)
- 万年モード期間特殊曜日プログラム (P.72~73)

週間プログラム
カード 使用

年間プログラム
期間カード 使用

で設定します

日付・曜日	11/1~12/25の間の				
	日曜日		月~土曜日		
時刻	0時	12時	0時	12時	0時
チャイム					

プログラムの種類と機能

このプログラムタイマは、基本となる「週間プログラム」と、いくつかの「特殊プログラム」「年間プログラム」を使って、サイレン・チャイム・外灯などが動く日付や時間を操作します。この章では大まかなプログラム全体の説明をします。実際にプログラムを設定するときは、各々のプログラムを説明した章を見てください。

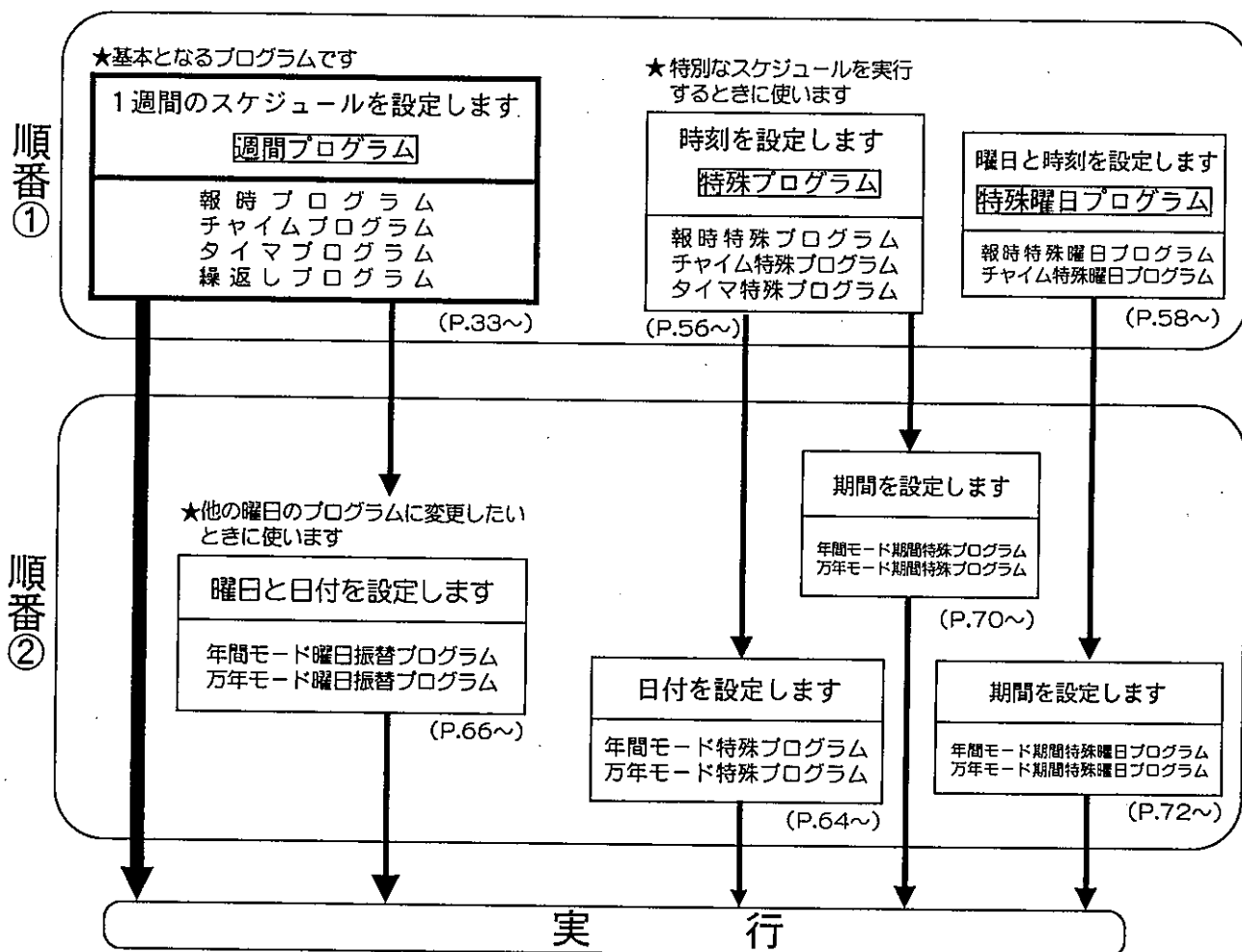
基本となるプログラム＝週間プログラム

● 週間プログラムとは、1週間のスケジュールを決め、それを毎週動かすプログラムです。

週間プログラムには、4種類あります。

- 信号を出して、サイレンや外部チャイムなどを鳴らします。----- **報時プログラム**
- 内蔵電子チャイムを専門に鳴らします。(回路NO.[1] だけで使用します) **チャイムプログラム**
- 外灯などの機械をタイマーで動かします。----- **タイマプログラム**
- 分単位で機械をくり返し動かすときに使います。----- **繰返しプログラム**

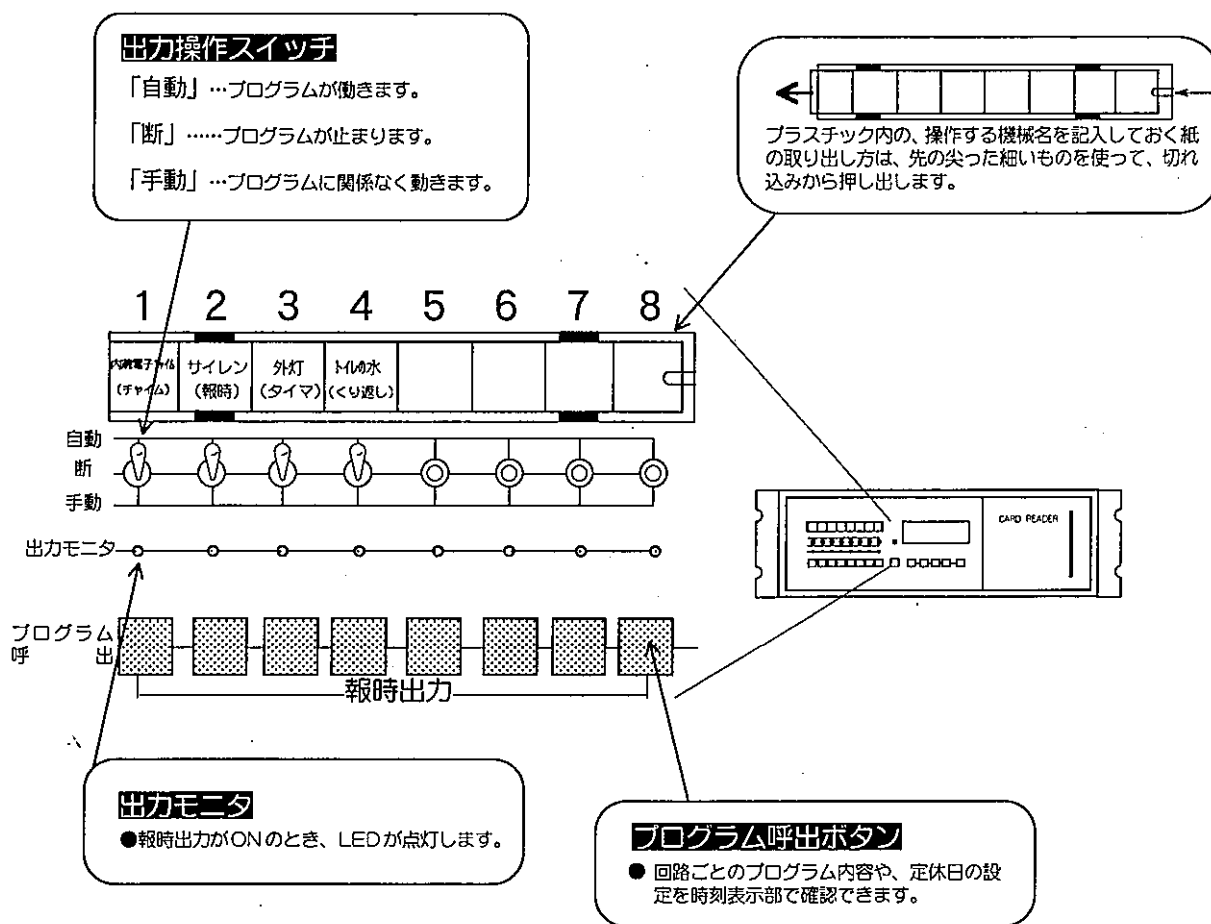
プログラムを設定するときの順番



プログラムタイマの回路について

- このプログラムタイマには、回路が8つあります。1つの回路は1つの機械だけを動かします。つまり、このプログラムタイマでは8つの機械を動かすことができるのです。
- 内蔵電子チャイムを動かすときは、回路NO.[1]しか使えません。それ以外の機械ならどの回路でも動かします。

プログラムタイマ
の基本説明



年間プログラム 設定表 記入例

用途								
使用回路	1	2	3	4	5	6	7	8
	報 時		チャイム		タイマ			
記入月	年		月		日			

日付指定	年間プログラムの種類		記号	指定内容
	年間モード特殊	A	特殊番号	
期間指定	万年モード特殊	B	特殊番号	
	年間モード曜日振替	C	曜日	
期間指定	万年モード曜日振替	D	曜日	
	年間モード期間特殊	E	特殊番号	
期間指定	万年モード期間特殊	F	特殊番号	
	年間モード期間特殊曜日	G	特殊番号	
期間指定	万年モード期間特殊曜日	H	特殊番号	

プログラムタイマ
の基本説明

曜日	年 1 月													
	1		8		15		22		29					
	2		9		16		23		30					
	3		10		17		24		31					
	4		11		18		25							
	5		12		19		26		全					
	6		13		20		27							
	7		14		21		28		来年					

曜日	年 4 月													
	1		8		15		22		29					
	2		9		16		23		30					
	3		10		17		24							
	4		11		18		25							
	5		12		19		26		全					
	6		13		20		27							
	7		14		21		28		来年					

曜日	年 2 月													
	1		8		15		22		29					
	2		9		16		23							
	3		10		17		24							
	4		11		18		25							
	5		12		19		26		全					
	6		13		20		27							
	7		14		21		28		来年					

曜日	年 5 月													
	1		8		15		22		29					
	2		9		16		23		30					
	3		10		17		24		31					
	4		11		18		25							
	5		12		19		26		全					
	6		13		20		27							
	7		14		21		28		来年					

用途、回路、カード作成日などを記入します

年号を記入します

年間プログラムの種類の選択

特殊な時刻パターンの選択

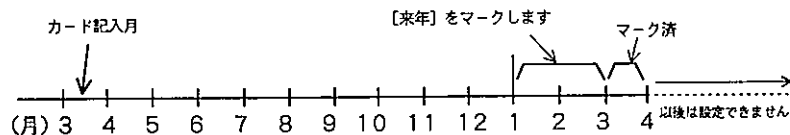
振替える曜日の選択

来年（記入例では'94年）の場合はマークしておきます

●日付指定のできる範囲（年間モードで設定のとき）

最大13ヶ月間の指定ができます

【例】 '93年3月1日に設定する場合、下図のように来年の設定月（3月）の末日まで（'94年3月31日）指定できます。



週間プログラム

週間プログラムカードの記入	P.34~35
プログラムカードの入力	P.36
プログラムカードの設定回数	P.37
定休日の確認および変更	P.38~39
報時プログラム (外部チャイムの場合)	P.40~41
チャイムプログラム (内蔵電子チャイムの場合)	P.42~43
タイマプログラム (1日以内で行う場合)	P.44~45
タイマプログラム (2日以上にまたがる場合)	P.46~47
繰返しプログラム	P.48~51
繰返しプログラムにタイマを 付加した場合の設定例	P.49
週間プログラムの確認	P.52~53

設定できるプログラム

定休日の変更
報時プログラム
チャイムプログラム
タイマプログラム
繰返しプログラム
報時特殊プログラム
チャイム特殊プログラム
タイマ特殊プログラム
報時特殊曜日プログラム
チャイム特殊曜日プログラム

(※1)

- プログラムの種類により指定できる回路番号が決まっています。また同一回路に異種（報時とチャイム、など）のプログラム設定はできません。

チャイムプログラム
チャイム特殊プログラム
チャイム特殊曜日プログラム

..... 回路NO.[1] のみ設定可

子時計自動修正プログラム (オプション)..... 回路NO.[8] のみ設定可

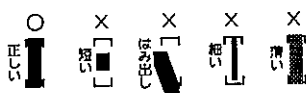
- 他のプログラムは、全回路（回路NO.[1] ～ [8]）に設定することができます。

(※2)

- 時刻指定数が1枚のカードで足りないときや、追加して設定するときは、別のカードで設定します。
その時、行番号6、スタート時間の指定と7、ストップ時間、ハルス幅の指定の欄はマークを省略することができます。
(片方のみ省略することはできません)

注意事項

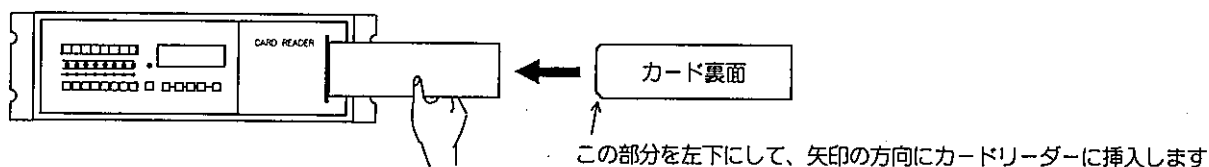
- 記入欄以外には文字を書かないでください。
- マークは枠の中にHBまたはBの鉛筆で太く濃く記入してください。
- 訂正は消しゴムで完全に消してください。



プログラムカードの入力

- カードはマークした方を裏にして、カードリーダーへ挿入します。

- モーターが動作しない時は、時計キーを押してからもう1度入れ直してください。



週間プログラム

- カードが正しくマークされている場合

LCD 表示例

SP-498

- 週間プログラム、特殊プログラムの設定が完了したことを示します。
(数値は、設定可能なプログラム数)

SE-UP

- 年間プログラムの設定や、定休日の変更を行った時

LL

- プログラムを消去した時

- カードのマークが正しくない場合 (挿入したカードのプログラムは設定されていません)
■ビイと音が鳴り、下記の表示が出ます。

P-10

- (※) ●次の行番号「11」をチェックして訂正します。
(タイマ設定の場合は、行番号「12」もチェックして下さい)

E-08

- (※) ●次の行番号「9」をチェックして訂正します。
(年間プログラム日付カード/期間カードで日付が期間の指定に間違いがあったときにこの表示がでます)

70-SP

- 設定プログラム数がオーバーしているとき。

E-LL

- カード不良です。このカードは使えません。新しいカードを使います。
カードがスムーズに挿入されなかった場合も表示されます。
もう1度入れ直してください

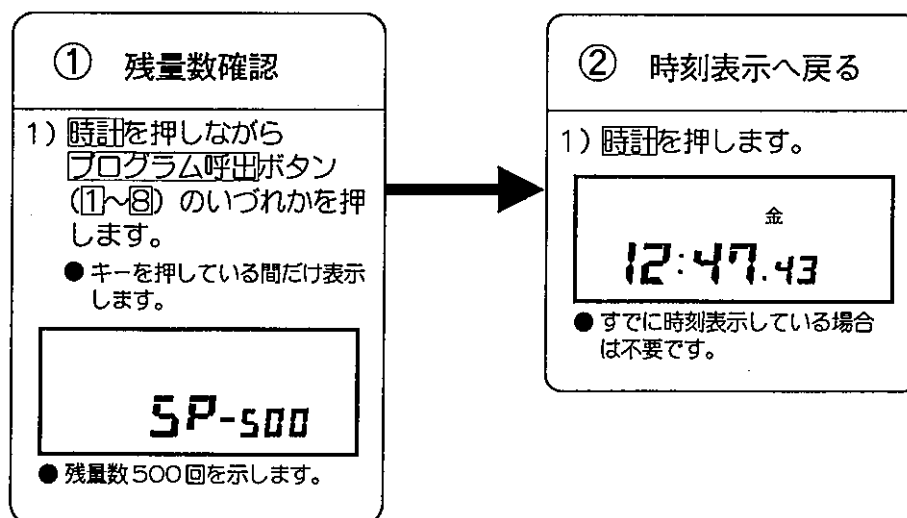
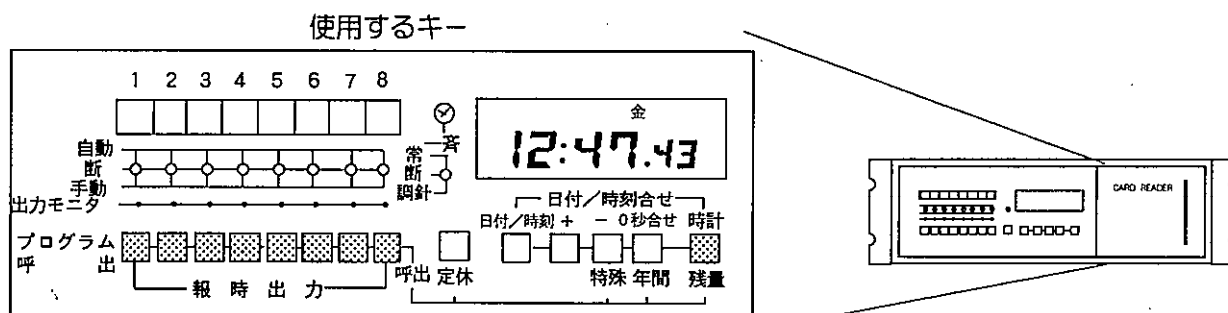
(※) 表示された行番号までは正しくマークされています。

プログラムの設定回数

- 設定回数（動作数）は、8回路合計で最大500回（1回路に500回設定することも可）です。
（タイマ設定ではON、OFF合わせて1000回設定）
- 週間プログラム、特殊プログラムの設定に対してカウントされます。
（年間プログラムは設定回数のカウントはされません）
- 設定回数の数え方
 - [報時] [チャイム] は1個の指定時刻に対して1回です。
 - [タイマ] は1組（ON時刻とOFF時刻）のタイマ設定に対して1回です。
 - [繰返し] は設定回数には数えませんが、タイマを付加すると1組（ON時刻とOFF時刻）のタイマ設定に対して1回です。
 - 定休設定は、設定回数には関係ありません。

週間プログラム

● プログラム残量数の確認

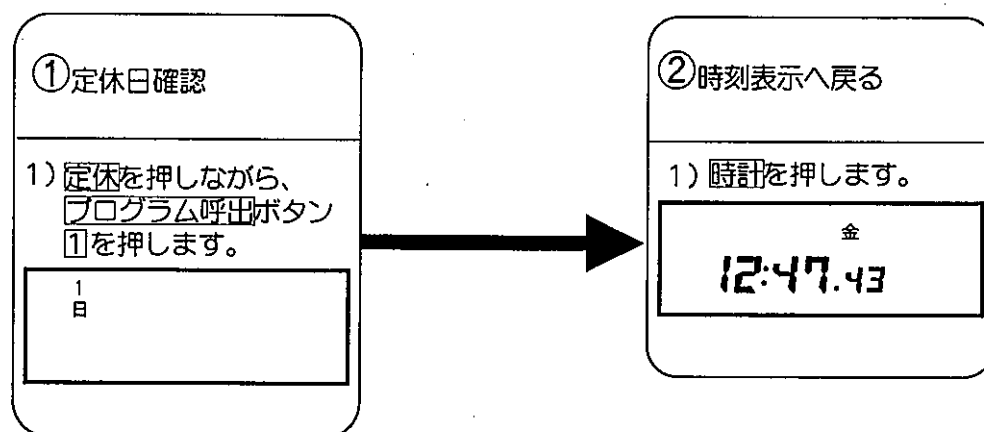
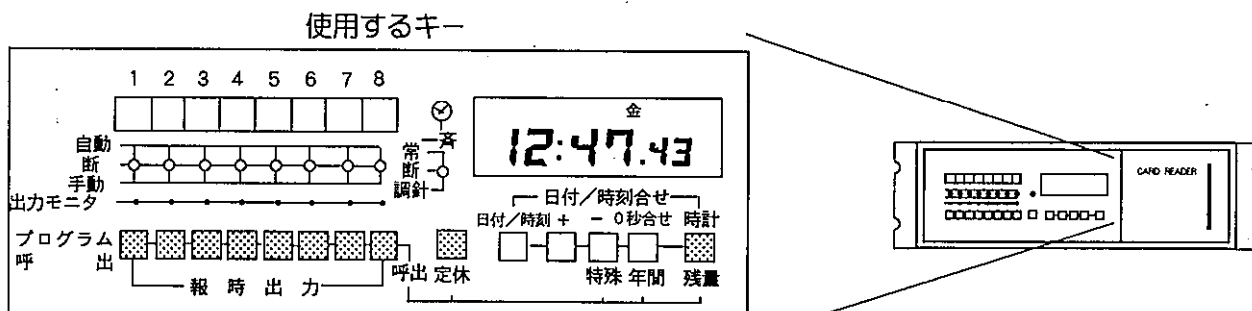


定休日の確認および変更

- 週に1回または2回、[定休日] を設定できます。
電源を入ると、日曜日が[定休日]として設定されています。
- [定休日] は、各回路ごとに異なった曜日で指定することができます。
- [定休日] の変更は、[週間] および [特殊] プログラムを設定する前か、変更する回路の [週間] および [特殊] プログラムを消去してから行います。
(プログラムの消去 P.76)
- プログラムを設定すると、[定休日] 指定に関係なくそのプログラムは実行されます。
- 定休日と平日について
 - 日曜日を定休日とした場合.....カードの平日は、月曜日～金曜日までです。
 - 日曜日を含めて週2日を定休日とした場合.....平日は、定休日以外の曜日です。
 - 月曜日～土曜日の中から1日または2日を定休日とした場合.....平日は、定休日以外の曜日です。

定休日の確認

【例】 回路NO.[1] の定休日が[日曜日]であることを確認します。



- ここでは回路NO.[1] の確認をしましたが、回路NO.[2] ～NO.[8] も同じようにプログラム呼出ボタン②～⑧を使ってください。

定休日の変更

〔例〕 回路NO.[2] の定休日を、〔月曜日〕と〔火曜日〕の2日に変更します。

1. モード指定
〔定休〕をマーク

2. 回路番号指定

〔2〕をマーク

●〔全〕を指定すると、全回路に対して定休の変更を行います。

8. 曜日指定

ON側の〔月〕〔火〕をマーク

●〔平日〕〔毎日〕の指定はできません。

週間プログラム

週間プログラムカード

記入年月日	
用途	
回路番号	
特殊番号	

印刷面を裏側に
矢印の方向に差し込んでください

注意事項

- 記入欄以外には文字を書かないでください
- マークは枠の中にHBまたはBの鉛筆で太く深く記入してください
- 訂正は消しゴムで完全に消してください

行番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
記入例	モ指 ト定	回路 番号	消 去	特殊 番号	繰返 し分	時間 秒	ス タ イ ト	バ ス ス ト 時 間	曜 日	タイマ ON/OFF	タイマ ON/OFF	タイマ ON/OFF	タイマ ON/OFF	タイマ ON/OFF	タイマ ON/OFF
0	○														
1	△														
2	×														
3	×														
4	×														
5	×														
6	×														
7	×														
8	×														
9	×														
10	×														
11	×														
12	×														
13	×														
14	×														
15	×														

時刻指定(24時間制)

報時プログラム (外部チャイム使用の場合)

- [報時プログラム] は、毎週決まった時刻に報時信号を出力させたい時に使用します。
- 外部チャイムを使用する場合も、[報時プログラム] を使用してください。
(次ページの [★外部チャイムの時間設定] 参照)
- 全回路 (NO.[1] ~ NO.[8]) に設定できます。
 - [スタート時間] は、指定時刻の秒の位 (00 秒~59 秒) を指定します。
 - [パルス幅] は、出力する信号の幅 (01 秒~59 秒) を指定します。
(制御する空調機、サイレンなどの仕様により決めてください)
 - [スタート時間] と [パルス幅] は、回路ごとに1種類のみ設定できます。
 - 同一回路の中では [チャイム] [タイマ] [繰返し] との複数指定はできません。

設定例

サイレンを、平日 (月~金) 8:00、18:00 土曜日 8:00、12:00 に運転させます。
回路番号 [3] スタート時間 [00] パルス幅 [15]

平日の設定

- ◆ プログラムの設定は曜日ごとに行いますが、実行する時刻パターンが同じ場合は1枚のカードで設定します。

1. モード指定
[報時] をマーク

2. 回路番号指定
[3] をマーク

6. スタート時間指定
[0] [0] をマーク

7. パルス幅指定
[1] [5] をマーク

8. 曜日指定
ON側の [平日] をマーク

9~30. 時刻指定
● [0] [8] [0] [0] をマーク
● [1] [8] [0] [0] をマーク

週間プログラムカード

記入年月日

用途

回路番号

特殊番号

印刷面を裏側にして矢印の方向に差し込んでください

注意事項

- 記入欄以外には文字を書かないでください
- マークは枠の中にHBまたはBの鉛筆で太く濃く記入してください
- 訂正は消しゴムで完全に消してください

行番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
記入例	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
モード指定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
回路番号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
スタート時間	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
パルス幅	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
曜日指定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
時刻指定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

★外部チャイムの時間設定

【例】 8時15分00秒に外部チャイムを鳴らしたい場合

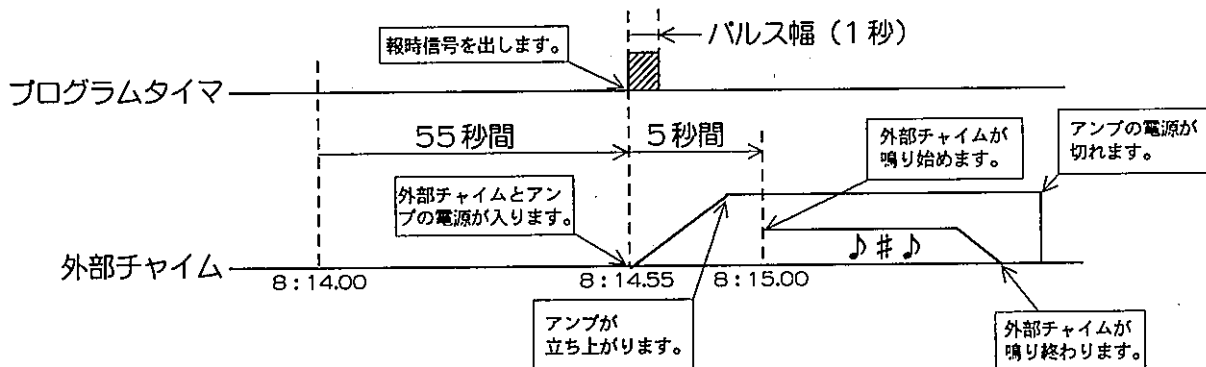
(起動をかけてから5秒後にチャイムが鳴り始める外部チャイムだとします)

時刻指定 ⇒ 8時14分

スタート時間指定 ⇒ 55秒 (外部チャイムが起動する時刻の秒です【8時14分55秒】)

パルス幅指定 ⇒ 01秒 (外部チャイムの起動を自己保持させるための信号の長さです)

◆スタート時間、パルス幅の設定は、使用する外部チャイムにより異なります



週間プログラム

土曜日の設定

1. モード指定
 [報時] をマーク

2. 回路番号指定
 [3] をマーク

6. スタート時間指定
7. パルス幅指定
 追加設定ですので省略できます。

8. 曜日指定
 [土] をマーク

9~30. 時刻指定
 ● [0] [8] [0] [0] をマーク
 ● [1] [2] [0] [0] をマーク

週間プログラムカード

記入年月日 _____
 用 途 _____
 回 路 番 号 _____
 特 殊 番 号 _____

印刷面を真横にして矢印の方向に差し込んでください

注意事項
 ● 記入欄以外には文字を書かないでください
 ● マークは枠の中にHBまたはBの鉛筆で太く濃く記入してください
 ● 訂正は消しゴムで完全に消してください

行番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
記入例	モード指定	回路番号	消去	特殊番号	繰返し分	スタート時間(秒)	パルス幅(秒)	曜日	タイマ	タイマ	タイマ	タイマ	タイマ	タイマ	タイ
	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON
時刻指定(24時間制)	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9

チャイムプログラム (内蔵電子チャイム使用の場合)

- [チャイムプログラム] は、毎週決まった時刻に内蔵電子チャイムを鳴らす時に使用します。
- 回路NO.[1] のみ設定できます。
- 内蔵電子チャイムの曲目数は7曲です。
(1: ウェストミンスター寺院の鐘 (約24秒) 2: ホイッティングトン寺院の鐘 (約32秒) 3: 王の行進 (約39秒)
4: 銀波 (約54秒) 5: 田園 (約39秒) 6: ふるさと (約33秒) 7: 家路 (約77秒))
- [スタート時間] は、指定時刻の秒の位 (00秒~59秒) を指定します。(アンプの電源が入る時間です)
- [パルス幅] は、指定する信号の幅 (01秒~59秒) を指定します。(アンプ電源投入からチャイムが鳴り出すまでの時間です)
- 同一回路の中では [報時] [タイマ] [繰返し] との複数指定はできません。
- [外部チャイム] を使用する場合は報時プログラムで設定してください。

設定例

曲目 [1] (ウェストミンスター寺院の鐘) を、平日 (月~金) 8:30.00、12:00.00、17:30.00と、土曜日 8:30.00、12:00.00に鳴らします。

(使用するアンプは電源を入れてから2秒後には音がでるものとします)

● 回路番号 [1] スタート時間 [58] パルス幅 [02]

この例の場合、時刻指定は、鳴らしたい時刻から1分引いて設定します。[★チャイムプログラムの時間設定] を参照してください。

平日の設定

◆プログラムの設定は、曜日ごとに行いますが、実行する時刻パターンが同じ場合は1枚のカードで設定します。

6. スタート時間指定 (※)
[5] [8] をマーク

2. 回路番号指定
[1] をマーク

1. モード指定
[チャイム] をマーク

8. 曜日指定
ON側の [平日] をマーク

7. パルス幅指定 (※)
[0] [2] をマーク

9~30. 曲目番号指定
[1] をマーク

(※) スタート時間、パルス幅は、回路ごとに1種類のみ設定できます

9~30. 時刻指定

- [0] [8] [2] [9] をマーク
- [1] [1] [5] [9] をマーク
- [1] [7] [2] [9] をマーク

週間プログラムカード

行番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
記入例	モ指 ト定	回路 番号	消 去	特殊 番号	繰返 しを	時間 スタート	時間 パルス	曜日	タイマ	タイマ	タイマ	タイマ	タイマ	タイマ	タイマ
									ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON
0	○	1							1	2	3	4	5	6	7
1	○	1							1	2	3	4	5	6	7
2	○	1							1	2	3	4	5	6	7
3	○	1							1	2	3	4	5	6	7
4	○	1							1	2	3	4	5	6	7
5	○	1							1	2	3	4	5	6	7
6	○	1							1	2	3	4	5	6	7
7	○	1							1	2	3	4	5	6	7
8	○	1							1	2	3	4	5	6	7
9	○	1							1	2	3	4	5	6	7
10	○	1							1	2	3	4	5	6	7
11	○	1							1	2	3	4	5	6	7
12	○	1							1	2	3	4	5	6	7
13	○	1							1	2	3	4	5	6	7
14	○	1							1	2	3	4	5	6	7
15	○	1							1	2	3	4	5	6	7

時刻指定 (24時間制)

注意事項

- 記入欄以外には文字を書かないでください
- マークは枠の中にH8または8の鉛筆で太く濃く記入してください
- 訂正は消しゴムで完全に消してください

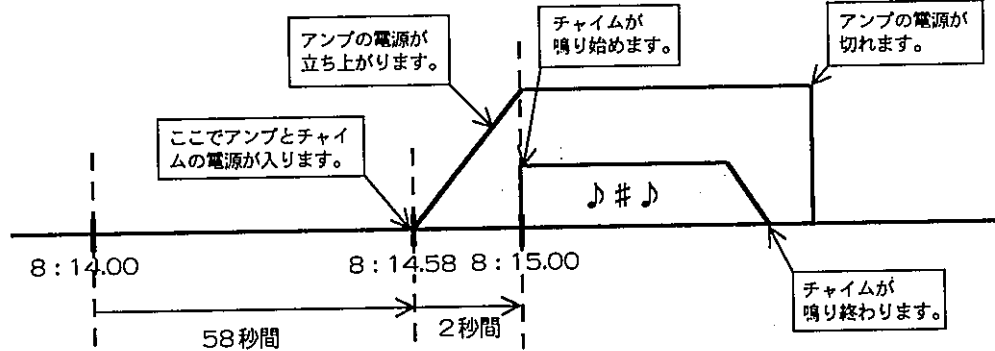
★チャイムプログラムの時間設定

【例】 8時15分00秒にチャイムを鳴らしたい場合

時刻指定 ⇒ 8時14分

スタート時間指定 ⇒ 58秒（アンプの電源が入る時刻の秒です【8時14分58秒】）

パルス幅指定 ⇒ 02秒（ご使用のアンプの電源を入れてから実際に音が出るまでの時間により設定してください）



●アンプの予熱時間が短くてチャイムの最初の音が不安定な場合は、スタート時間を早くし、パルス幅を長くします。
【例】 スタート時間55秒、パルス幅05秒

土曜日の設定

2. 回路番号指定
[1] をマーク

1. モード指定
[チャイム] をマーク

6. スタート時間指定
7. パルス幅指定
追加設定ですので省略できます。

8. 曜日指定
ON側の [土] をマーク

9~30. 曲目番号指定
[1] をマーク

9~30. 時刻指定
● [0] [8] [2] [9] をマーク
● [1] [1] [5] [9] をマーク

行番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
記入例	モード指定	回路番号	消去	特殊番号	繰返し回数	スタート時間(分)	パルス幅(秒)	曜日指定	時刻指定	曲目番号	曲目番号	曲目番号	曲目番号	曲目番号	曲目番号
○	チャイム	1		0000	00	00	00	土	00:00	00	00	00	00	00	00
△	タイマ	2		1123	135	11	11	土	01:00	01	01	01	01	01	01
×	消去	3		212233	240	22	22	土	02:00	02	02	02	02	02	02
×	特殊	4		3132333	345	33	33	土	03:00	03	03	03	03	03	03
×	特殊	5		4142434	450	44	44	土	04:00	04	04	04	04	04	04
×	特殊	6		5152535	555	53	53	土	05:00	05	05	05	05	05	05
×	特殊	7		6162636	660	63	63	土	06:00	06	06	06	06	06	06
×	特殊	8		7172737	770	73	73	土	07:00	07	07	07	07	07	07
×	特殊	9		8182838	880	83	83	土	08:00	08	08	08	08	08	08
×	特殊	10		9192939	990	93	93	土	09:00	09	09	09	09	09	09

週間プログラムカード

記入年月日: _____

用途: _____

回路番号: _____

特殊番号: _____

印刷面を裏面に
矢印の方向に差し込んでください

注意事項

- 記入欄以外には文字を書かないでください
- マークは枠の中にHBまたはBの鉛筆で太く濃く記入してください
- 訂正は消しゴムで完全に消してください

タイマプログラム (1日以内で行う場合)

● 空調機や街灯などをある一定の時間 (ON 時刻から OFF 時刻まで) だけ動作させたい時に使用します。

- 全回路 (NO.[1] ~ NO.[8]) に設定できます。
- [スタート時間] は、ON 時刻の秒 (00 秒~59 秒) の位を指定します。
- [ストップ時間] は、OFF 時間の秒 (00 秒~59 秒) の位を指定します。
- [スタート時間] [ストップ時間] は、回路ごとに 1 種類のみ設定できます。
- 同一回路の中では [報時] [チャイム] [繰返し] との複数指定はできません。

設定例

空調機を、月・火・水・木・金曜日 8:00~18:00、土曜日 8:00~12:00 に運転させます。
回路番号 [4] スタート時間 [00] ストップ時間 [00]

◆ タイマプログラムでは、ON 曜日、OFF 曜日をそれぞれ 1 日ずつ指定します。
したがって [平日] [毎日] は指定できません
この例のプログラムを設定するには、6 枚のカードが必要です。(※)

月曜日の設定

2. 回路番号指定
[4] をマーク

6. スタート時間指定
7. ストップ時間指定
 [0] [0] をマーク
火曜日以降の設定のときは省略できます

8. 曜日指定 (※)
 ON 側の [月]
 OFF 側の [月]
 をマーク

9. ON 時刻指定
 [0] [8] [0] [0]
 をマーク

10. OFF 時刻指定
 [1] [8] [0] [0]
 をマーク

週間プログラム
カード

記入年月日	
用途	
回路番号	
特殊番号	

印刷面を裏側にして
矢印の方向に差し込んでください

注意事項

● 記入欄以外には文字を書かないでください

● マークは枠の中に HB または B の鉛筆で太く濃く記入してください

● 訂正は消しゴムで完全に消してください

行番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
記入例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
モード指定	タイマ	タイマ	タイマ	タイマ	タイマ	タイマ	タイマ	タイマ	タイマ	タイマ	タイマ	タイマ	タイマ	タイマ	タイマ
回路番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
特殊番号	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スタート時間 (秒)	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
ストップ時間 (秒)	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
曜日指定 (ON 側)	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
曜日指定 (OFF 側)	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
ON 時刻 (時:分:秒)	08:00:00	08:00:00	08:00:00	08:00:00	08:00:00	08:00:00	08:00:00	08:00:00	08:00:00	08:00:00	08:00:00	08:00:00	08:00:00	08:00:00	08:00:00
OFF 時刻 (時:分:秒)	18:00:00	18:00:00	18:00:00	18:00:00	18:00:00	12:00:00	12:00:00	18:00:00	18:00:00	18:00:00	18:00:00	18:00:00	18:00:00	18:00:00	18:00:00

(※) 火曜日~金曜日の設定も、曜日だけを変えて、あとは上のカードと同じようにしてください。
(月曜日~金曜日までの設定をするのに 5 枚のカードが必要です)

ご注意 !!

●時刻指定について

同一回路で2組以上の時刻指定をする場合は、指定時刻（ON時刻からOFF時刻まで）が重複しないようにしてください。

ON時刻の早い指定時刻（8：00～10：00）が優先的に実行されます。

	8：00	9：00	10：00	11：00
タイマ 設定時刻1				
タイマ 設定時刻2				

図のような設定をすると、8：00～10：00までがONとなります。

土曜日の設定

2、回路番号指定
[4] をマーク

6、スタート時間指定
7、ストップ時間指定
追加設定ですので省略できます。

8、曜日指定
ON側の[土]、
OFF側の[土]
をマーク

9、ON時刻指定
[0] [8] [0] [0] をマーク

10、OFF時刻指定
[1] [2] [0] [0] をマーク

週間プログラムカード

記入年月日

用 途

回路番号

特殊番号

印刷面を裏側にして矢印の方向に差し込んでください

注意事項

- 記入欄以外には文字を書かないでください
- マークは枠の中にHBまたはBの鉛筆で太く濃く記入してください
- 訂正は消しゴムで完全に消してください

行番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
記入例	モ指 ト定	回 路 番 号	消 去	特 殊 番 号	操 作 時 間 分	ス タ ー ト 秒	ス ト ッ プ 秒	曜 日	タイ マ	タイ マ	タイ マ	タイ マ	タイ マ	タイ マ	タイ マ
									ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON
									時	分	時	分	時	分	時
0	○	1	△	102030	030	00	00	日	1	0	1	0	0	0	0
1	○	1	△	112131	135	11	11	日	1	1	1	1	1	1	1
2	○	1	△	212232	240	22	22	日	2	2	2	2	2	2	2
3	○	1	△	312333	345	33	33	日	3	3	3	3	3	3	3
4	○	1	△	412434	450	44	44	日	4	4	4	4	4	4	4
5	○	1	△	512535	555	53	53	日	5	5	5	5	5	5	5
6	○	1	△	612636	0	0	0	日	6	6	6	6	6	6	6
7	○	1	△	712737	1	7	7	日	7	7	7	7	7	7	7
8	○	1	△	812838	20	8	8	日	8	8	8	8	8	8	8
9	○	1	△	912939	25	9	9	日	9	9	9	9	9	9	9

タイマプログラム (2日以上にまたがる場合)

- タイマプログラムは、ON曜日とOFF曜日を異なった曜日にすると、その間ずっと動いています。
- 全回路 (NO.[1] ~ NO.[8]) に設定できます。
- [スタート時間] は、ON時刻の秒 (00秒~59秒) の位を指定します。
- [ストップ時間] は、OFF時間の秒 (00秒~59秒) の位を指定します。
- [スタート時間] [ストップ時間] は、回路ごとに1種類のみ設定できます。
- 同一回路の中では [報時] [チャイム] [繰返し] との複数指定はできません。

設定例

防犯装置を、金曜日 17:00~月曜日 6:00に運転させます。

回路番号 [4] スタート時間 [00] ストップ時間 [00]

- ◆ タイマプログラムでは、ON曜日、OFF曜日をそれぞれ1日ずつ指定します。
したがって [平日] [毎日] は指定できません
- ◆ この例のプログラムは1枚のカードで設定できます。

金曜日~月曜日の設定

2. 回路番号指定
[4] をマーク

6. スタート時間指定
7. ストップ時間指定
[0] [0] をマーク

8. 曜日指定
ON側の [金]
OFF側の [月]
をマーク

9. ON時刻指定
[1] [7] [0] [0]
をマーク

10. OFF時刻指定
[0] [6] [0] [0]
をマーク

1. モード指定
[タイマ] をマーク

週間プログラムカード

記入年月日

用途

回路番号

特殊番号

印刷面を裏面に
矢印の方向に差し込んでください

注意事項

● 記入欄以外には文字を書かないでください

● マークは枠の中にHBまたはBの鉛筆で太く濃く記入してください

● 訂正は消しゴムで完全に消してください

行番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
記入例	モード指定	回路番号	消去	特殊番号	繰返し分	スタート秒	ストップ秒	曜日	タイマ	ON時刻	OFF時刻	ON時刻	OFF時刻	ON時刻	OFF時刻
○	タイマ	4			00	00	00	金	17	00	00	00	00	00	00
△	チャイム				00	00	00	月	06	00	00	00	00	00	00
×	繰返し				00	00	00								
×	報時				00	00	00								
×	チャイム				00	00	00								
×	特殊				00	00	00								
×	特殊曜日				00	00	00								
×	その他				00	00	00								

時刻指定 (24時間制)

時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒
00	00	00	01	00	00	02	00	00	03	00	00	04	00	00	05	00	00
06	00	00	07	00	00	08	00	00	09	00	00	10	00	00	11	00	00
12	00	00	13	00	00	14	00	00	15	00	00	16	00	00	17	00	00
18	00	00	19	00	00	20	00	00	21	00	00	22	00	00	23	00	00

ご注意 !!

●時刻指定について

同一回路で2組以上の時刻指定をする場合は、指定時刻（ON時刻からOFF時刻まで）が重複しないようにしてください。

ON時刻の早い指定時刻（8：00～10：00）が優先的に実行されます。

	8：00	9：00	10：00	11：00
タイマ 設定時刻1				
タイマ 設定時刻2				

図のような設定をすると、8：00～10：00までがONとなります。

●防犯装置の運転パターン

	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
防犯装置							
	6時 17時	6時 17時	6時 17時	6時 17時	6時 17時	6時 17時	6時 17時

繰返しプログラム

- [繰返しプログラム] は、報時信号を繰返し出力させたい時に使用します。
- [繰返しプログラム] は、タイマ機能を付加することで、ある決まった時間だけ動作させることができます。
- 全回路 (NO.[1] ~ NO.[8]) に設定できます。
- [繰返しプログラム] は、いくつ設定してもプログラム設定数のカウントはされませんが、タイマを付加すると週間プログラムと同じ扱いになります。
- [スタート時間] は、指定時刻の秒の位 (00 秒~59 秒) を指定します。
- [パルス幅] は、出力する信号の幅 (01 秒~59 秒) を指定します。
- 同一回路の中では [報時] [チャイム] [タイマ] との複数指定はできません。
- 繰返しプログラム設定時の注意点 (P.50) を参照のうえ設定してください。

設定例

繰返し信号を、2 分間隔で出力します。
回路番号 [5] スタート時間 [00] パルス幅 [15]

1、モード指定
[繰返し] をマーク

2、回路番号指定
[5] をマーク

5、繰返し時間指定
[2] をマーク

6、スタート時間指定 (*)
[0] [0] をマーク

7、パルス幅指定 (*)
[1] [5] をマーク

週間プログラムカード

記入年月日

用 途

回 路 番 号

特 殊 番 号

印刷面を裏側にして矢印の方向に差し込んでください

注意事項

- 記入欄以外には文字を書かないでください
- マークは枠の中にHBまたはBの鉛筆で太く濃く記入してください
- 訂正は消しゴムで完全に消してください

行番号	1	2	3	4	5	6	7	8	タイマ	時刻	タイマ	時刻	タイマ	時刻	タイマ	時刻	
記入例	モード指定	回路番号	消去	特殊番号	繰返し時間 (分)	スタート時間 (秒)	パルス幅 (秒)	曜日	ON/OFF	時	分	時	分	時	分	時	分
○	1	5			2	00	15			0	0	0	0	0	0	0	0
△	2									1	1	1	1	1	1	1	1
×	3									2	2	2	2	2	2	2	2
×	4									3	3	3	3	3	3	3	3
×	5									4	4	4	4	4	4	4	4
×	6									5	5	5	5	5	5	5	5
×	7									6	6	6	6	6	6	6	6
×	8									7	7	7	7	7	7	7	7
×										8	8	8	8	8	8	8	8
×										9	9	9	9	9	9	9	9
×										0	0	0	0	0	0	0	0

- 48 -

繰返しプログラムにタイマを付加した場合の設定例

報時信号を、日曜日12:00~月曜日6:00の間、毎時00分と30分(30分間隔)に出力します。
回路番号[6] スタート時間[00] バルス幅[15]

週間プログラム

2、回路番号指定
[6] をマーク

1、モード指定
[繰返し] をマーク

5、繰返し時間指定
[0] [30] [タイマ]
をマーク

6、スタート時間
[0] [0] をマーク

7、パルス幅指定
[1] [5] をマーク

8、曜日指定
[日] [月] をマーク(※1)

時刻ON指定
[1] [2] [0] [0] をマーク

時刻OFF指定
[0] [6] [0] [0] をマーク

週間プログラムカード

記入年月日	
用 途	
回路番号	
特殊番号	

印刷面を裏面にして
矢印の方向に差し込んでください

注意事項

- 記入欄以外には文字を書かないでください
- マークは枠の中にHBまたはBの鉛筆で太く濃く記入してください
- 訂正は消しゴムで完全に消してください

行番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16																																																																																																																																																																										
記入例	モ 指 定	回 路 番 号	消 去	特 殊 番 号	繰 返 し 時 間	ス タ ー ト 時 間	パ ル ス 幅	曜 日	タイ マ	タイ マ	タイ マ	タイ マ	タイ マ	タイ マ	タイ マ	タイ マ																																																																																																																																																																										
	ON	OFF							ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF																																																																																																																																																																										
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8																																																																																																																																																																										
	0	0			0	30	15		0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																										
時刻指定(24時間制)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <tr> <td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td> </tr> <tr> <td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td> </tr> <tr> <td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td> </tr> <tr> <td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td> </tr> <tr> <td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td> </tr> <tr> <td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td> </tr> <tr> <td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td> </tr> <tr> <td>7</td><td>7</td><td>7</td><td>7</td><td>7</td><td>7</td><td>7</td><td>7</td><td>7</td><td>7</td><td>7</td><td>7</td><td>7</td><td>7</td><td>7</td><td>7</td><td>7</td> </tr> <tr> <td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td> </tr> <tr> <td>9</td><td>9</td><td>9</td><td>9</td><td>9</td><td>9</td><td>9</td><td>9</td><td>9</td><td>9</td><td>9</td><td>9</td><td>9</td><td>9</td><td>9</td><td>9</td><td>9</td> </tr> </table>																0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																										
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																										
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2																																																																																																																																																																										
3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3																																																																																																																																																																										
4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4																																																																																																																																																																										
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5																																																																																																																																																																										
6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6																																																																																																																																																																										
7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7																																																																																																																																																																										
8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8																																																																																																																																																																										
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9																																																																																																																																																																										

すでにタイマを付加していない繰返しプログラムが設定してある回路には、[スタート時間][パルス幅]が同じでも、タイマを付加した繰返しプログラムは設定できません。

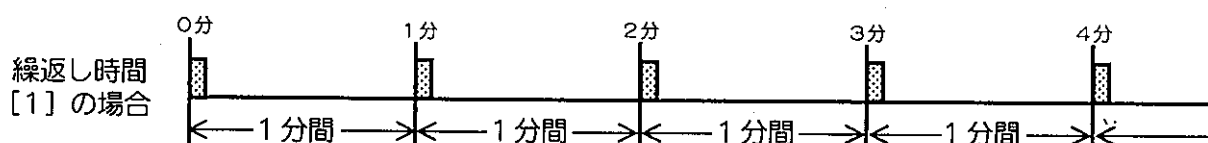
(※1) [ON曜日]、[OFF曜日] は1つずつしか指定できません。
(平日、毎日も指定できません)

繰返しプログラム設定時の注意点

- [繰返し時間] には、2種類のものがあります。

週間プログラム

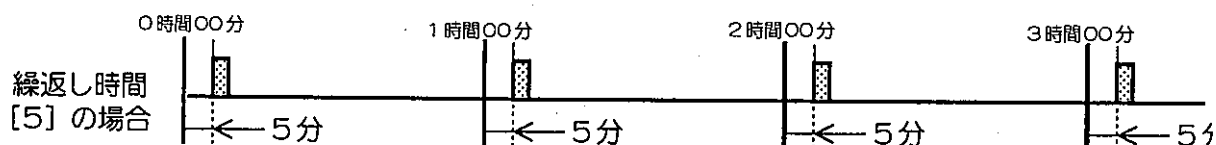
- ① 例えば繰返し時間 [1] と設定した場合、スタート時間から始まり、1分おきに信号を出力します。



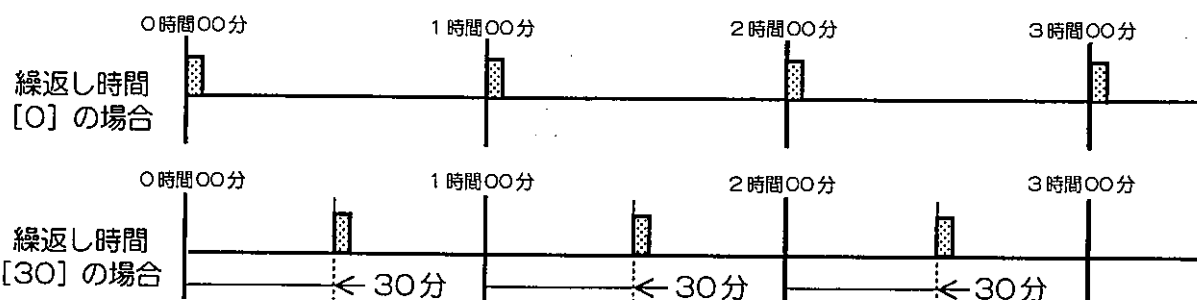
★この例のような繰返し時間は、[1] [2] [3] [4] の4種類あります。



- ② 例えば繰返し時間 [5] と設定した場合は、1時05分、2時05分…といったように設定された分を1時間に1回信号を出力します。



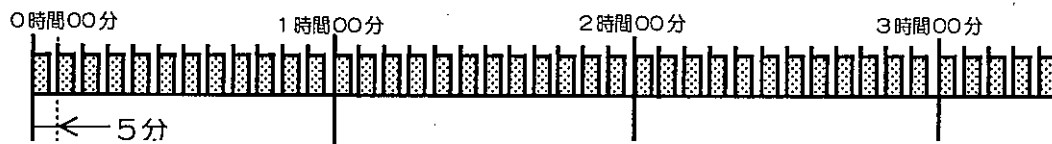
★この例のような繰返し時間は、[0] [5] [10] [15] [20] [25] [30] [35] [40] [45] [50] [55] の12種類あります。



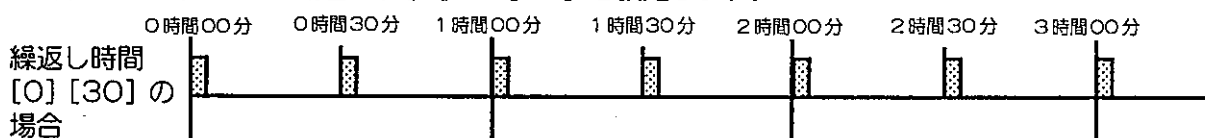
例えば、5分おきに動かしたい場合は [0] [5] [10] [15] [20] [25] [30] [35] [40] [45] [50] [55] を設定します。

繰返し時間

[0] [5]
[10] [15]
[20] [25]
[30] [35]
[40] [45]
[50] [55]
の場合



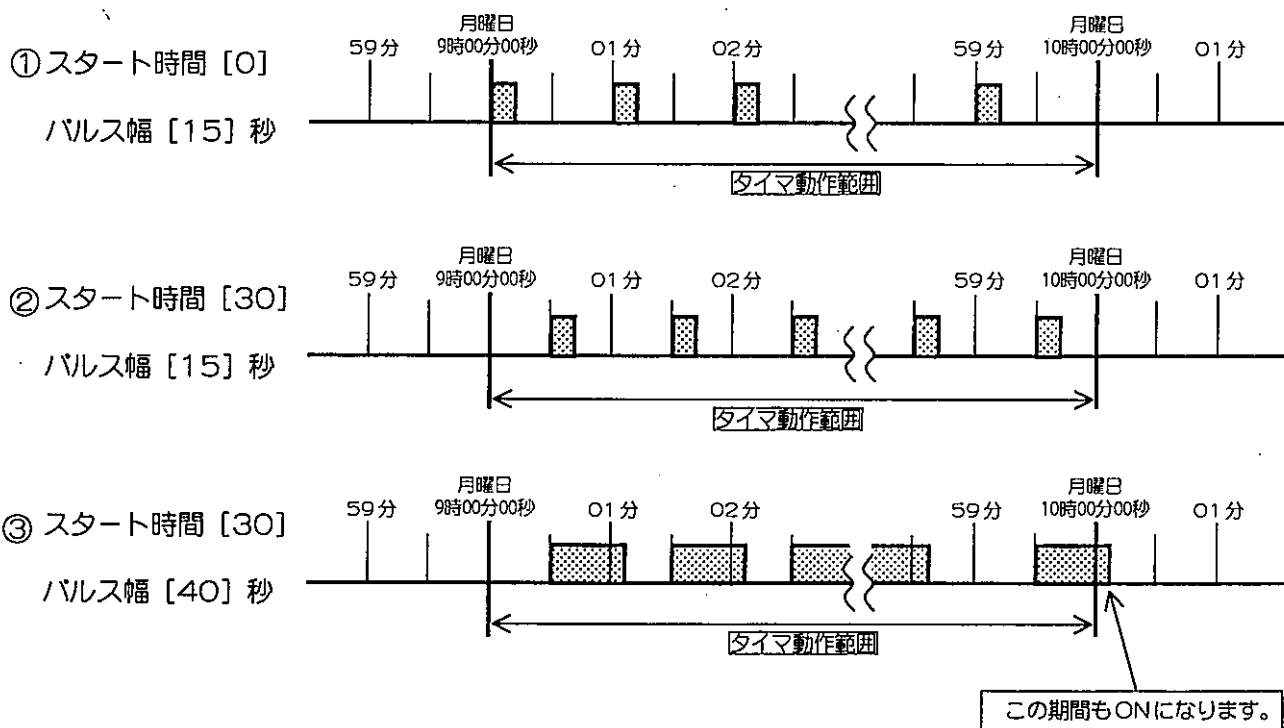
30分おきに動かしたい場合は、[0] と [30] を設定します。



繰返しプログラムにタイマを付加したときの注意点

- [繰返しプログラム] に付加するタイマには、[スタート時間] [ストップ時間] の指定はありません。タイマは分単位で動作します。
- [タイマ動作範囲] の中で起動のかかったパルスを出力します。従って、[スタート時間] [パルス幅] の組み合わせによっては [タイマ動作範囲] を越えてパルスが出力されることもあります (例③参照)。

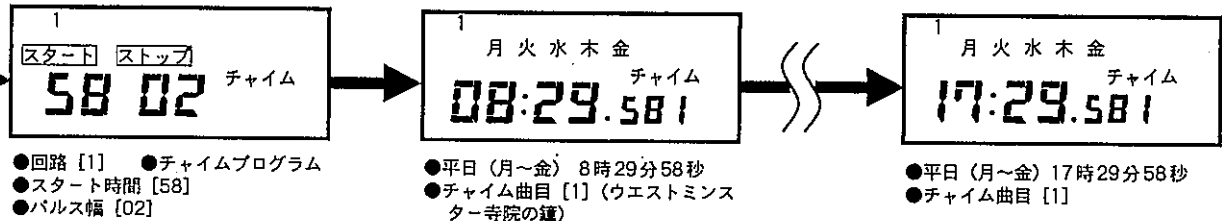
(例) タイマで月曜日 9:00~月曜日 10:00 を指定する (繰返し時間は [1] とします)。



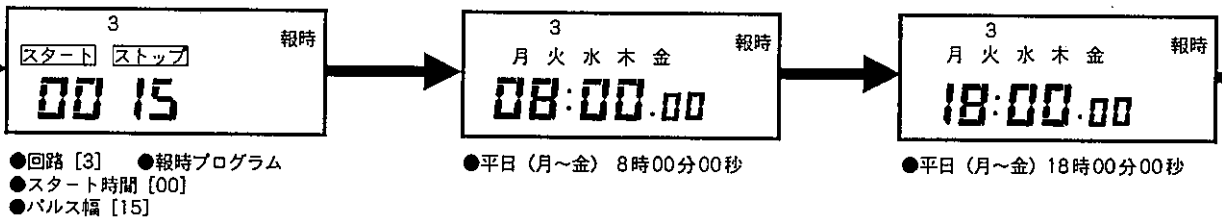
週間プログラムの確認

- 確認したい回路のプログラム呼出ボタンを押すごとに、次の設定時刻の確認ができます。
- 確認終了は時計を押してください。
(30 秒間、キー入力が無い状態が続いた場合も確認が終了し、時刻表示に戻ります)

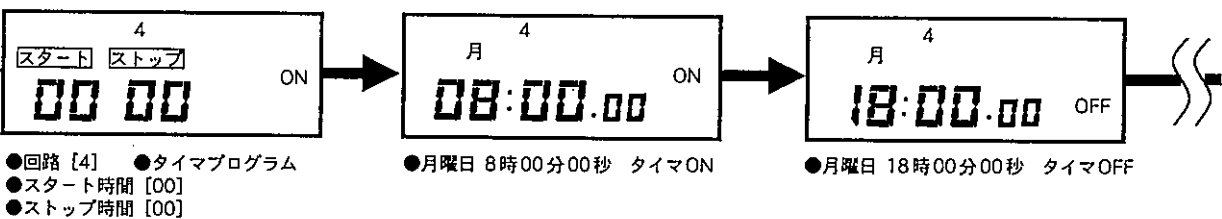
チャイムプログラムの確認例



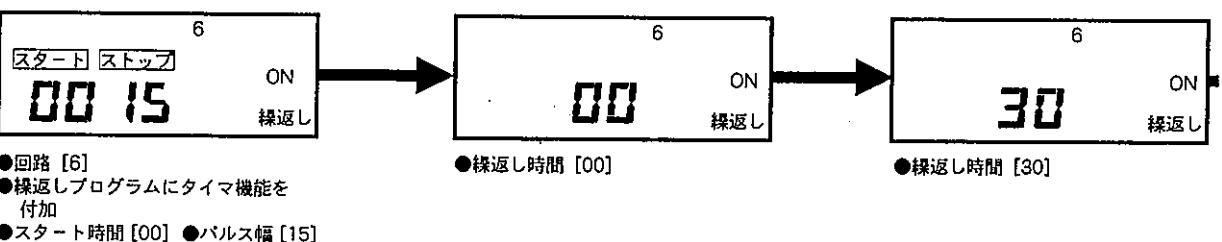
報時プログラムの確認例



タイマプログラムの確認例

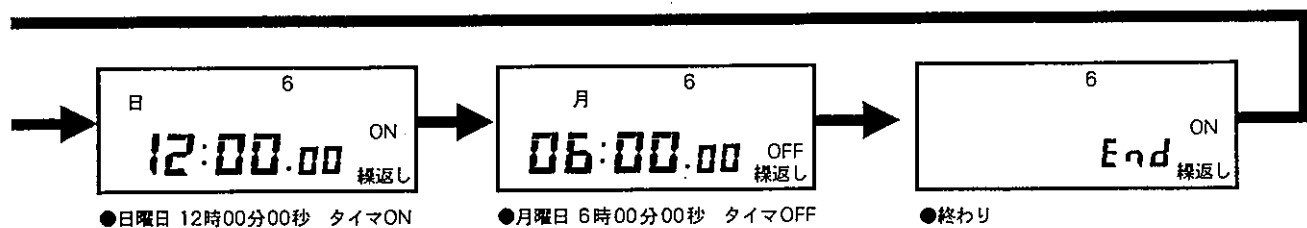
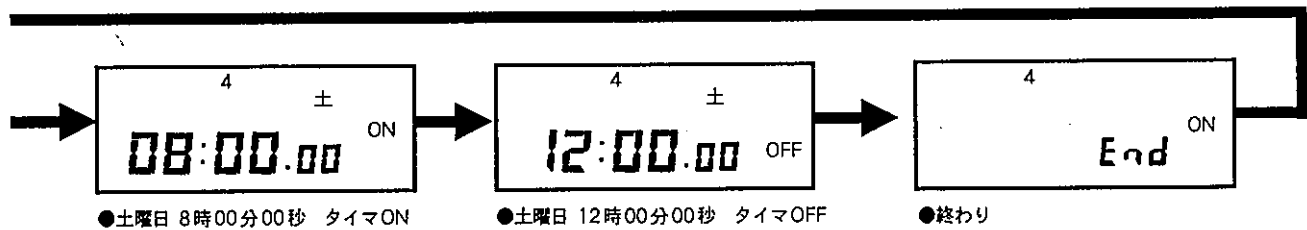
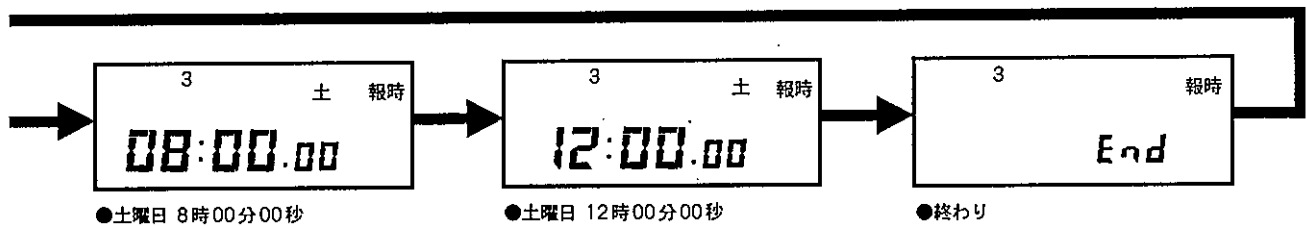
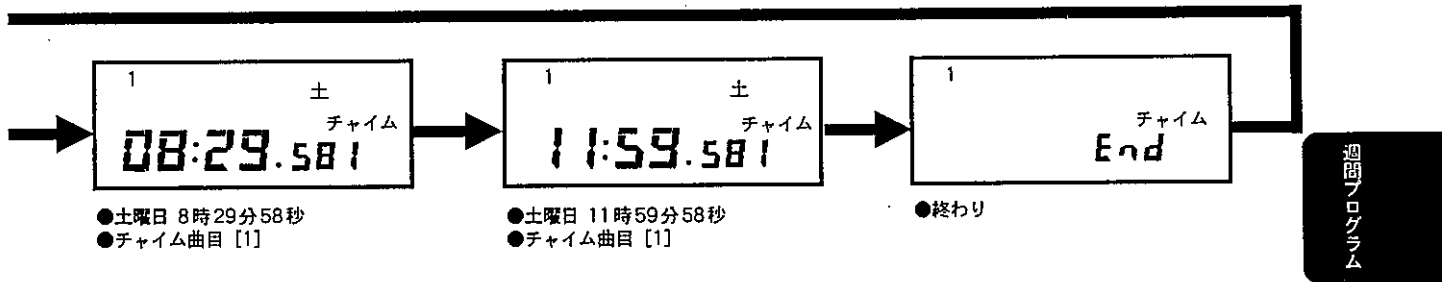
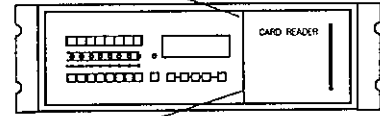
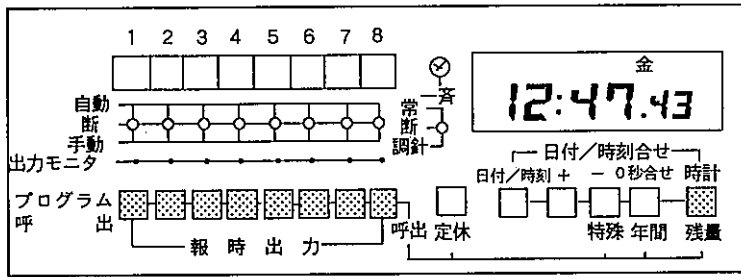


繰返しプログラムの確認例



(注) タイマ機能を付加しない場合は [ON] 表示はありません。

使用するキー



特殊プログラム

特殊プログラムP.56～57

特殊曜日プログラムP.58～59
(年間/万年モード期間特殊曜日プログラム使用)

特殊プログラムの確認P.60

★特殊プログラムの利用

- 始業式、終業式など通常とは異なった時刻にチャイムを鳴らすことがあります。
このような場合、その特殊な時刻パターンを設定しておかなくてはなりません。
特殊プログラムは、その特殊な時刻パターンを1回路に39パターン設定しておくことができます。
- 特殊な時刻パターンを実行させるには、年間プログラムで回路番号、特殊番号（実行させる時刻パターンにつけた番号）および実行させる日付の設定を行ってください。
年間プログラムで設定した日付には、通常の週間プログラムの代わりに、指定した特殊番号の時刻パターンに従ってチャイム、空調機、サイレンなどを作動させます。
(年間プログラム P.61 参照)

タイマ特殊プログラムを設定するとき

ご注意 !!

●時刻指定について

同一回路で2組以上の時刻指定をする場合は、指定時刻（ON時刻からOFF時刻まで）が重複しないようにしてください。

ON時刻の早い指定時刻（8：00～10：00）が優先的に実行されます。

	8：00	9：00	10：00	11：00
タイマ 設定時刻1				
タイマ 設定時刻2				

図のような設定をすると、8：00～10：00までがONとなります。

●冬時間のチャイムの予定

	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
8時30分00秒	—						
16時00分00秒	—						

●特殊番号を設定するときの注意点

〔年間／万年モード期間特殊曜日プログラム〕では、同一の期間に、実行させたい〔特殊曜日プログラム〕の特殊番号は最大7種類指定することができます。ですから曜日ごとに特殊番号を変えて設定することができます。

また、複数の回路に通常とは異なったスケジュールの設定が必要な場合も、特殊番号は最大7種類ですので〔特殊曜日プログラム〕を設定するときは、回路ごとに共通な特殊番号を使用して各々の特殊日のスケジュールを設定してください。

特殊
曜日
プログラム

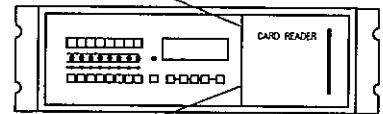
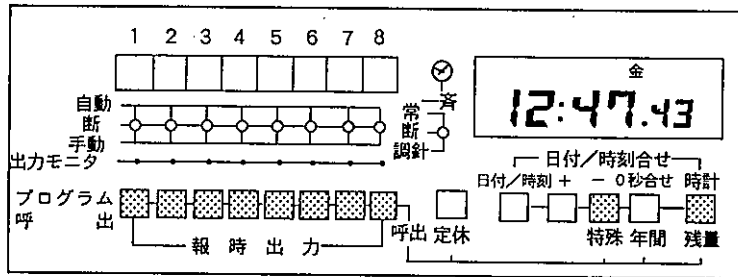
●チャイム曲目一覧

- 1: ウェストミンスター寺院の鐘 (約24秒)
- 2: ホイッティングトン寺院の鐘 (約32秒)
- 3: 王の行進 (約39秒)
- 4: 銀波 (約54秒)
- 5: 田園 (約39秒)
- 6: ふるさと (約39秒)
- 7: 家路 (約77秒)

特殊プログラムの確認

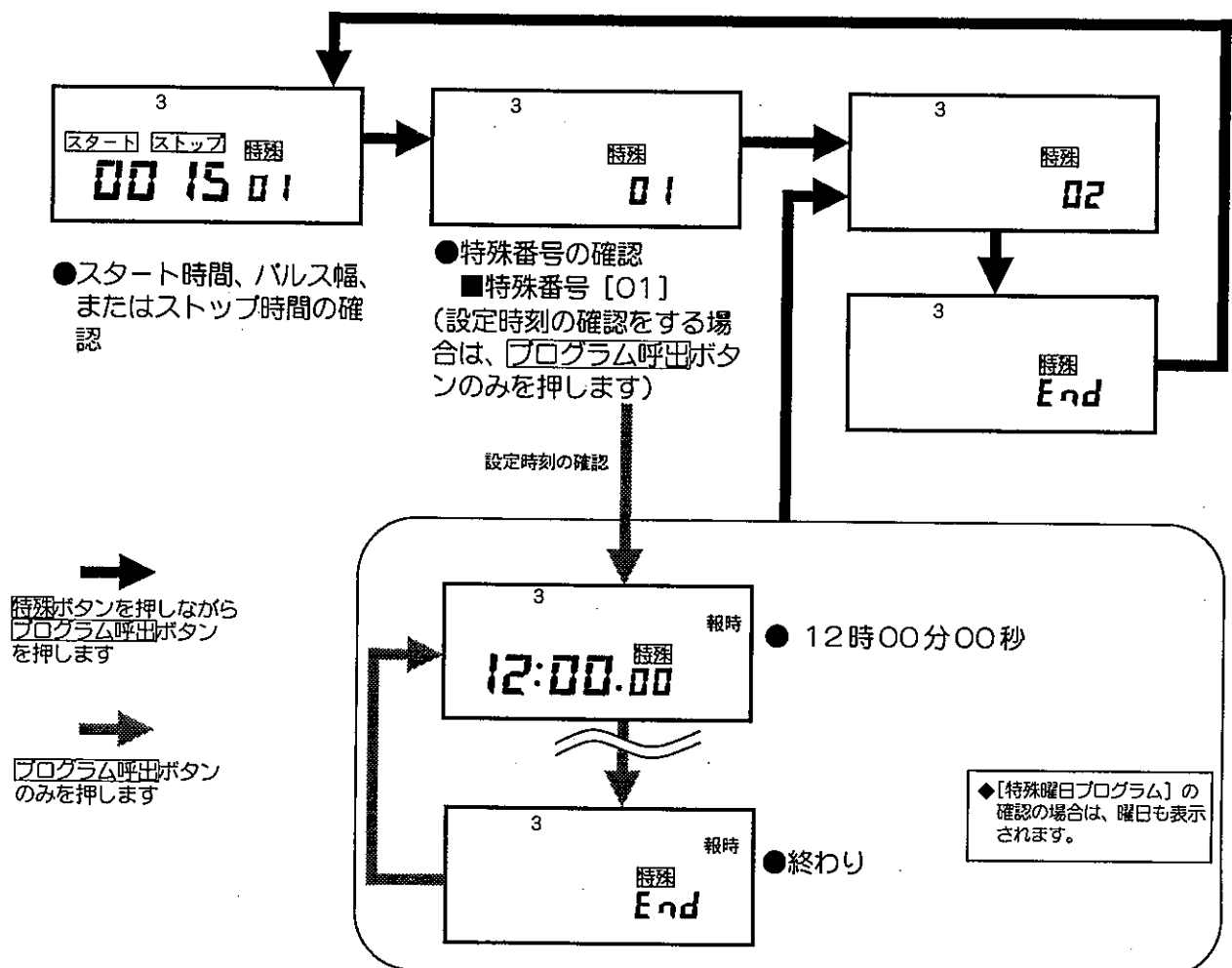
- 特殊を押しながら確認したい回路のプログラム呼出ボタンを押すごとに、設定してある特殊番号が確認できます。(→)
- 特殊番号を確認しているとき、確認している回路のプログラム呼出ボタンだけを押すごとに、表示してある特殊番号で設定されている時刻の確認ができます。(→)
- 確認終了は時計を押してください。
(30 秒間キー入力がない状態が続いた場合も、確認は終了し、時刻表示に戻ります)

使用するキー



特殊プログラム

確認例



年間プログラム

★年間プログラム日付カード使用

年間プログラム 日付カードの記入 …P.62～63

年間/万年モード特殊プログラム …P.64～65

年間/万年モード
曜日振替プログラム ……P.66～67

★年間プログラム期間カード使用

年間プログラム 期間カードの記入 …P.68～69

年間/万年モード
期間特殊プログラム ……P.70～71

年間/万年モード
期間特殊曜日プログラム …P.72～73

年間/万年モードのプログラム
を設定するときの注意点 ……P.74

年間プログラムの確認 ……P.75

年間プログラム

プログラムの
消去

プログラムの消去

週間プログラム、特殊プログラム ……P.76

年間プログラム ……P.77

年間プログラム

年間プログラム 日付カードの説明

- 特殊プログラム（報時特殊プログラム、チャイム特殊プログラム、タイマ特殊プログラム）を実行させる日付を指定します。（年間／万年モード特殊プログラム）
- 週間プログラムで設定した時刻パターンを振り替えて、曜日振替プログラムを実行させる日付を指定します。（年間／万年モード曜日振替プログラム）
- 同じカードで追加設定が行えます。
- 同じ日付の同じ回路に、複数の特殊番号や振替曜日を指定することはできません。

2、回路番号の指定

- 設定する回路を選びます。
（[1] ～ [8] 回路いずれか1つ）
- プログラムの消去を行う時は、消去する回路を指定します。
（[全] または [1] ～ [8] 回路いずれか1つ）

3、消去の指定

- [万年] をマークすると、万年モードのプログラムが消去されます。
- [年間] をマークすると、年間モードのプログラムが消去されます。
- マークは [年間] [万年] いずれか1ヶ所マークできます。

5～16、日付の指定（※）

- 指定した特殊プログラムを実行させたい日付にマークします。
- 1ヶ月通して指定する時は、[全] を1ヶ所マークするだけで設定できます。
- 来年のスケジュールを設定する時は、[来年] にマークします。
（万年モードのプログラムを設定する時はマークしないでください）

1、モードの指定

- 設定するプログラムの種類を指定します。
- 1ヶ所マークします。

4、特殊番号の指定

- 年間／万年モード特殊プログラムを設定するときにマークします。
- 実行させたい特殊プログラムに付けた番号を指定します。
- 特殊番号 [00] を指定すると、繰返しプログラムを除く全てのプログラムの実行を止めることができます。

4、曜日振替の指定

- 年間モード曜日振替、万年モード曜日振替プログラムを設定するときにマークします。
- 振替えたい曜日、または [定休] を1つマークします。

年間プログラム 日付カード

記入年月日	
用 途	
回 路 番 号	
特殊実行番号	

印刷面を裏面にし、矢印の方向に差し込んでください。

注意事項

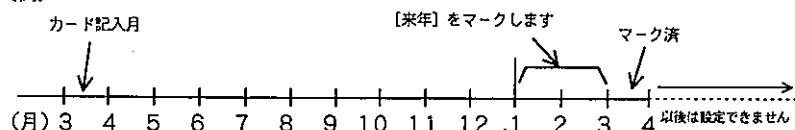
- 記入欄以外には文字を書かないでください。
- マークは枠の中にHBまたはBの鉛筆で太く、濃く記入してください。
- 訂正は消しゴムで完全に消してください。

行番号	1	2	3	4	5	6
記入例	モード指定	回路番号	消去	特殊番号	曜日振替	年/月/日
1	○	全	○	00	○	年 1 月 1 日
2	△	1	○	01	○	年 1 月 2 日
3	×	2	○	02	○	年 1 月 3 日
4	×	3	○	03	○	年 1 月 4 日
5	×	4	○	04	○	年 1 月 5 日
6	×	5	○	05	○	年 1 月 6 日
7	×	6	○	06	○	年 1 月 7 日
8	×	7	○	07	○	年 1 月 8 日
9	×	8	○	08	○	年 1 月 9 日
10	×	全	○	00	○	年 1 月 10 日
11	×	全	○	00	○	年 1 月 11 日
12	×	全	○	00	○	年 1 月 12 日
13	×	全	○	00	○	年 1 月 13 日
14	×	全	○	00	○	年 1 月 14 日
15	×	全	○	00	○	年 1 月 15 日
16	×	全	○	00	○	年 1 月 16 日

5～17、来年の指定

- 年間の各プログラムを設定するときだけ記入します。
- 各月とも、カードを記入した月から見て来年に当たる月の設定をするときは、必ずマークしてください。

〔例〕



このカードで設定できるプログラム

年間モード特殊プログラム
年間モード曜日振替プログラム

..... カード記入を行った月を含めて13ヶ月間の設定を行うことができ、実行後は1ヶ月単位で自動的に消去されます。

万年モード特殊プログラム
万年モード曜日振替プログラム

..... カード記入を行った月に関係なく、1度設定すると消去または上書きを行うまで毎年同じ実行をくり返します。

17. 日付の指定 (※)

- 年間モードの各プログラム設定時に使用します。
- 記入月から13ヶ月目の日付の指定をします。

14		15		16		17		備 考
10		11		12		13		
月	曜日	年10月	曜日	年11月	曜日	年12月	曜日	来 年 月
29		1815228		1815228		1815228		1815228
30		2916230		2916230		2916230		2916230
1		3017231		30172		3017231		3017231
1		31182		31182		31182		31182
15		3219224		3219224		3219224		3219224
1		33202		33202		33202		33202
18		2021225		2021225		2021225		2021225
入		曜日	曜日	曜日	曜日	曜日	曜日	
る		※今月を含めて来年の同月(13ヶ月以内)まで指定できます		◎カード記入月はカードを記入した月を指定します		カード記入月		
月								
を								

T.I.C-CITIZEN
KM40-YDI
日付カード

(※)

● 指定しようとする日付にすでに年間モードのプログラムが設定されているときは、異なった回路であっても万年モードのプログラムを設定することはできません。

● 指定しようとする日付にすでに万年モードのプログラムが設定されているときは、異なった回路であっても年間モードのプログラムを設定すると、年間モードのプログラムに変わってしまいます。(一度年間モードになったプログラムは、万年モードには戻りません) (詳細 P.74 参照)

年間プログラム

カード記入月

- 年間モードの各プログラムを設定する時だけ設定します。
- カードを記入した月をマークしてください。
例えば、1993年3月に記入したカードは、1994年2月まで同じカードで再設定することができます。(追加して設定するときも、同じカードに追加分をマークし、設定することができます。)

年間／万年モード特殊プログラム

- [年間／万年モード特殊プログラム] は、終業式や始業式などのように、通常の [週間プログラム] とは異なったパターンを実行させたい時に、その日付や特殊番号を設定することで [特殊プログラム] を実行させることができます。
(特殊プログラム P.56 参照)
- 全回路 (NO.[1] ～ NO.[8]) に設定できます。
- 異なった回路であっても、同じ日付に年間モードと万年モードのプログラムを両方設定することはできません。
- 特殊番号は 1 回路に 39 種類 ([01] ～ [39]) 指定できます。([00] については右ページ参照)

設定例 (年間モード特殊プログラム)

チャイム特殊プログラムの特殊番号 [4] で設定した始業式、終業式の時刻パターンを週間プログラムの代わりに '93年3月24日、4月5日、7月19日、9月1日、12月25日、'94年1月8日、3月25日に実行します。

■ 回路番号は [1]

■ 設定日は 93年3月1日とします。

1. モード指定
年間 [特殊] をマーク

2. 回路番号指定
[1] をマーク

4. 特殊番号指定
[0] [4] をマーク

5～17. 日付指定
3月欄の [24]、4月欄の [5]、7月欄の [19]、
9月欄の [1]、12月欄の [25]、
1月欄の [8] [来年]、来々3月欄の [25]
([来年] はマーク済) をマーク

年間プログラム 日付カード

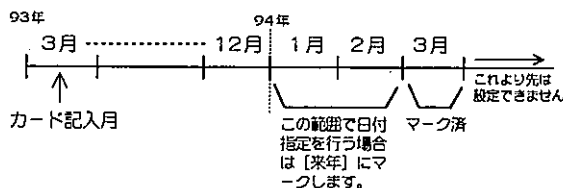
行番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9
記入例	○	△	×	×	×	×	×	×	×
モード指定	年間	万年	年間	万年	年間	万年	年間	万年	年間
回路番号	[1]	[1]	[1]	[1]	[1]	[1]	[1]	[1]	[1]
特殊番号	[0]	[4]	[0]	[4]	[0]	[4]	[0]	[4]	[0]
曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月
年	93	93	93	93	93	93	93	93	93
月	3	4	7	9	12	1	2	3	5
日	24	5	19	1	25	8	25	25	

注意事項

- 記入欄以外には文字を書かないでください
- マークは枠の中にHBまたはBの鉛筆で太く、濃く記入してください
- 訂正は消しゴムで完全に消してください

5～17. [来年] モードについて

年間モードでカードを作成する場合、指定する日付が来年 (上の例では94年) の場合は、必ず [来年] にマークしてください。



●2月29日の扱いについて

■平年、うるう年に関係なく設定することができますが、実行されるのはうるう年だけです。

●特殊番号について

■特殊番号は、年間プログラムと特殊プログラムとの橋渡しをする番号です。

■特殊番号を指定するときは、実行させたい特殊プログラムに付いている特殊番号を指定します。
(特殊番号は各回路ごとに設定できます)

■特殊番号[00]を指定すると、その回路は1日中、週間プログラムの実行を止めることができます。
(ただし、繰返しプログラム(タイマ機能は付加しない)は実行します)

●1ヶ月通して設定する場合

例えば1月1日～1月31日までを設定したいときは、1日ずつマークしても設定できますが、[全]をマークするだけでも設定できます。

年間プログラム

12		13		14		15		16		17		備 考
8		9		10		11		12		13		
年7月	曜日	年8月	曜日	年9月	曜日	年10月	曜日	年11月	曜日	年12月	曜日	
1228		1228		1228		1228		1228		1228		1228
1229		1229		1229		1229		1229		1229		1229
1230		1230		1230		1230		1230		1230		1230
1231		1231		1231		1231		1231		1231		1231
1232		1232		1232		1232		1232		1232		1232
1233		1233		1233		1233		1233		1233		1233
1234		1234		1234		1234		1234		1234		1234
1235		1235		1235		1235		1235		1235		1235
1236		1236		1236		1236		1236		1236		1236
1237		1237		1237		1237		1237		1237		1237
1238		1238		1238		1238		1238		1238		1238
1239		1239		1239		1239		1239		1239		1239
1240		1240		1240		1240		1240		1240		1240
1241		1241		1241		1241		1241		1241		1241
1242		1242		1242		1242		1242		1242		1242
1243		1243		1243		1243		1243		1243		1243
1244		1244		1244		1244		1244		1244		1244
1245		1245		1245		1245		1245		1245		1245
1246		1246		1246		1246		1246		1246		1246
1247		1247		1247		1247		1247		1247		1247
1248		1248		1248		1248		1248		1248		1248
1249		1249		1249		1249		1249		1249		1249
1250		1250		1250		1250		1250		1250		1250
1251		1251		1251		1251		1251		1251		1251
1252		1252		1252		1252		1252		1252		1252
1253		1253		1253		1253		1253		1253		1253
1254		1254		1254		1254		1254		1254		1254
1255		1255		1255		1255		1255		1255		1255
1256		1256		1256		1256		1256		1256		1256
1257		1257		1257		1257		1257		1257		1257
1258		1258		1258		1258		1258		1258		1258
1259		1259		1259		1259		1259		1259		1259
1260		1260		1260		1260		1260		1260		1260
1261		1261		1261		1261		1261		1261		1261
1262		1262		1262		1262		1262		1262		1262
1263		1263		1263		1263		1263		1263		1263
1264		1264		1264		1264		1264		1264		1264
1265		1265		1265		1265		1265		1265		1265
1266		1266		1266		1266		1266		1266		1266
1267		1267		1267		1267		1267		1267		1267
1268		1268		1268		1268		1268		1268		1268
1269		1269		1269		1269		1269		1269		1269
1270		1270		1270		1270		1270		1270		1270
1271		1271		1271		1271		1271		1271		1271
1272		1272		1272		1272		1272		1272		1272
1273		1273		1273		1273		1273		1273		1273
1274		1274		1274		1274		1274		1274		1274
1275		1275		1275		1275		1275		1275		1275
1276		1276		1276		1276		1276		1276		1276
1277		1277		1277		1277		1277		1277		1277
1278		1278		1278		1278		1278		1278		1278
1279		1279		1279		1279		1279		1279		1279
1280		1280		1280		1280		1280		1280		1280
1281		1281		1281		1281		1281		1281		1281
1282		1282		1282		1282		1282		1282		1282
1283		1283		1283		1283		1283		1283		1283
1284		1284		1284		1284		1284		1284		1284
1285		1285		1285		1285		1285		1285		1285
1286		1286		1286		1286		1286		1286		1286
1287		1287		1287		1287		1287		1287		1287
1288		1288		1288		1288		1288		1288		1288
1289		1289		1289		1289		1289		1289		1289
1290		1290		1290		1290		1290		1290		1290
1291		1291		1291		1291		1291		1291		1291
1292		1292		1292		1292		1292		1292		1292
1293		1293		1293		1293		1293		1293		1293
1294		1294		1294		1294		1294		1294		1294
1295		1295		1295		1295		1295		1295		1295
1296		1296		1296		1296		1296		1296		1296
1297		1297		1297		1297		1297		1297		1297
1298		1298		1298		1298		1298		1298		1298
1299		1299		1299		1299		1299		1299		1299
1300		1300		1300		1300		1300		1300		1300
1301		1301		1301		1301		1301		1301		1301
1302		1302		1302		1302		1302		1302		1302
1303		1303		1303		1303		1303		1303		1303
1304		1304		1304		1304		1304		1304		1304
1305		1305		1305		1305		1305		1305		1305
1306		1306		1306		1306		1306		1306		1306
1307		1307		1307		1307		1307		1307		1307
1308		1308		1308		1308		1308		1308		1308
1309		1309		1309		1309		1309		1309		1309
1310		1310		1310		1310		1310		1310		1310
1311		1311		1311		1311		1311		1311		1311
1312		1312		1312		1312		1312		1312		1312
1313		1313		1313		1313		1313		1313		1313
1314		1314		1314		1314		1314		1314		1314
1315		1315		1315		1315		1315		1315		1315
1316		1316		1316		1316		1316		1316		1316
1317		1317		1317		1317		1317		1317		1317
1318		1318		1318		1318		1318		1318		1318
1319		1319		1319		1319		1319		1319		1319
1320		1320		1320		1320		1320		1320		1320
1321		1321		1321		1321		1321		1321		1321
1322		1322		1322		1322		1322		1322		1322
1323		1323		1323		1323		1323		1323		1323
1324		1324		1324		1324		1324		1324		1324
1325		1325		1325		1325		1325		1325		1325
1326		1326		1326		1326		1326		1326		1326
1327		1327		1327		1327		1327		1327		1327
1328		1328		1328		1328		1328		1328		1328
1329		1329		1329		1329		1329		1329		1329
1330		1330		1330		1330		1330		1330		1330
1331		1331		1331		1331		1331		1331		1331
1332		1332		1332		1332		1332		1332		1332
1333		1333		1333		1333		1333		1333		1333
1334		1334		1334		1334		1334		1334		1334
1335		1335		1335		1335		1335				

年間／万年モード曜日振替プログラム

- [年間／万年モード曜日振替プログラム] は、週間プログラムのある曜日の時刻パターンを指定した日付に振り替えて実行させることができます。
- 全回路 (NO.[1] ～NO.[8]) に設定することができます
- 異なった回路であっても、同じ日付に年間モードと万年モードのプログラムを両方設定することはできません。
- 振替曜日は日曜日～土曜日のいずれか1個または定休を選ぶことができます。

設定例 (万年モード曜日振替プログラム)

1月15日と2月11日は祝日のため、毎年通常の日曜日の時刻パターンで内部チャイムを鳴らします。

◆回路番号は [1]

(万年モードのプログラム設定ですので、[来年] 指定やカード記入月へのマークはしないでください)

1. モード指定
万年 [曜日] をマーク

2. 回路番号指定
[1] をマーク

4. 振替曜日指定
[日] をマーク

5～17. 日付指定
1月欄の [15]
2月欄の [11] をマーク

**年間プログラム
日付カード**

記入年月日	
用途	
回路番号	
特殊実行番号	

印刷面を裏側にして矢印の方向に差し込んでください

注意事項

- 記入欄以外には文字を書かないでください
- マークは枠の中にHBまたはBの鉛筆で太く濃く記入してください
- 訂正は消しゴムで完全に消してください

行番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9
記入例	○	△	×	×	×	×	×	×	×
モード指定	万年	万年	年間	年間	年間	年間	年間	年間	年間
回路番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9
消去	00	01	02	03	04	05	06	07	08
特殊番号	00	01	02	03	04	05	06	07	08
曜日振替	日	月	火	水	木	金	土	日	月
年/月/曜日	年 1 月 日	年 2 月 日	年 3 月 日	年 4 月 日	年 5 月 日	年 6 月 日	年 7 月 日	年 8 月 日	年 9 月 日
時刻パターン	1815229	1815229	1815229	1815229	1815229	1815229	1815229	1815229	1815229
	2916230	2916230	2916230	2916230	2916230	2916230	2916230	2916230	2916230
	3101243	3101243	3101243	3101243	3101243	3101243	3101243	3101243	3101243
	411825	411825	411825	411825	411825	411825	411825	411825	411825
	5121268	5121268	5121268	5121268	5121268	5121268	5121268	5121268	5121268
	6132027	6132027	6132027	6132027	6132027	6132027	6132027	6132027	6132027
	7142128	7142128	7142128	7142128	7142128	7142128	7142128	7142128	7142128
	8152229	8152229	8152229	8152229	8152229	8152229	8152229	8152229	8152229
	9162330	9162330	9162330	9162330	9162330	9162330	9162330	9162330	9162330
	0172431	0172431	0172431	0172431	0172431	0172431	0172431	0172431	0172431
	11825	11825	11825	11825	11825	11825	11825	11825	11825
	219268	219268	219268	219268	219268	219268	219268	219268	219268
	32027	32027	32027	32027	32027	32027	32027	32027	32027
	42128	42128	42128	42128	42128	42128	42128	42128	42128
	52229	52229	52229	52229	52229	52229	52229	52229	52229
	62330	62330	62330	62330	62330	62330	62330	62330	62330
	72431	72431	72431	72431	72431	72431	72431	72431	72431
	825	825	825	825	825	825	825	825	825
	9268	9268	9268	9268	9268	9268	9268	9268	9268
	027	027	027	027	027	027	027	027	027
	128	128	128	128	128	128	128	128	128
	229	229	229	229	229	229	229	229	229
	330	330	330	330	330	330	330	330	330
	431	431	431	431	431	431	431	431	431
	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	9	9	9	9	9	9	9	9	9

◎万年プログラムはプログラムの有効期限が無期限のプログラムです

◎年間プログラムはプログラムの有効期限が1年間のプログラムです

◎特殊番号(時刻パターン)は特殊番号か曜日が定休のうち1つだけを設定します

◎日付指定は1月～12月のいずれか1つだけを設定します

2月29日の扱いについて

- 平年、うるう年に関係なく設定することができますが、実行されるのは、うるう年だけです。

年間／万年モード曜日振替プログラム

●振替曜日の指定について

■曜日を選ぶ代わりに定休を選ぶこともできます。

定休が2日設定されている場合は最初の曜日（月曜日と土曜日が定休日の場合は、月曜日）が振り替わります。

●1ヶ月通して設定する場合

1月1日～1月31日までを設定したいときは、1日ずつマークしても設定できますが、[全]をマークするだけでも設定できます。

●年間モード曜日振替プログラムを設定するとき

年間プログラム日付カード

記入年月日	
用途	
回路番号	
特殊実行番号	

印刷面を裏側にして矢印の方向に差し込んでください

注意事項

- 記入欄以外には文字を書かないでください
- マークは枠の中にHBまたはBの鉛筆で太く、黒く記入してください
- 訂正は消しゴムで完全に消してください

行番号	1	2	3	4	5	6																
記入例	○	△	×	□	1	2																
モード指定	万年	万年	年間	年間	年間	年間																
回路番号	00	01	02	03	04	05																
特殊番号	00	01	02	03	04	05																
曜日振替	年月/曜日	年月/曜日	年月/曜日	年月/曜日	年月/曜日	年月/曜日																
年間プログラム日付指定	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>1</th> <th>2</th> </tr> <tr> <td>1 8 1 3 2 2 3</td> <td>1 8</td> </tr> <tr> <td>2 3 1 6 2 3 0</td> <td>2 3</td> </tr> <tr> <td>3 0 0 2 3 1</td> <td>3 0</td> </tr> <tr> <td>4 0 0 8</td> <td>4 0</td> </tr> <tr> <td>5 0 0 8 2</td> <td>5 0</td> </tr> <tr> <td>6 0 3 2 2</td> <td>6 0</td> </tr> <tr> <td>7 0 2 1 8</td> <td>7 0</td> </tr> </table>						1	2	1 8 1 3 2 2 3	1 8	2 3 1 6 2 3 0	2 3	3 0 0 2 3 1	3 0	4 0 0 8	4 0	5 0 0 8 2	5 0	6 0 3 2 2	6 0	7 0 2 1 8	7 0
1	2																					
1 8 1 3 2 2 3	1 8																					
2 3 1 6 2 3 0	2 3																					
3 0 0 2 3 1	3 0																					
4 0 0 8	4 0																					
5 0 0 8 2	5 0																					
6 0 3 2 2	6 0																					
7 0 2 1 8	7 0																					

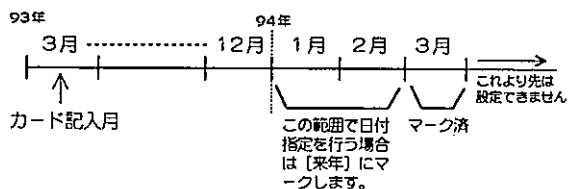
◎万年プログラムはプログラムの有効期限が無期限のプログラムです

15	16	17	備 考
11	12	13	
年11月 曜日	年12月 曜日	来 年 月	
1 8 1 3 2 2 3	1 8 1 3 2 2 3	1 8 1 3 2 2 3	
2 3 1 6 2 3 0	2 3 1 6 2 3 0	2 3 1 6 2 3 0	
3 0 0 2 3 1	3 0 0 2 3 1	3 0 0 2 3 1	
4 0 0 8	4 0 0 8	4 0 0 8	
5 0 0 8 2	5 0 0 8 2	5 0 0 8 2	
6 0 3 2 2	6 0 3 2 2	6 0 3 2 2	
7 0 2 1 8	7 0 2 1 8	7 0 2 1 8	
1日を記入	曜日を記入	カード記入月	
		1 3 2 3	
		2 3 8 1	
		3 6 9 1 2	

◎カード記入月はカードを記入した月を指定します

5～17、[来年]指定について

年間指定でカードを作成する場合、指定する日付が来年の場合は、必ず[来年]にマークしてください。



17、カード記入月指定

●カード記入月について
年間モードでカードを作成する場合は、必ず日付カードを作成した月をマークしてください。
(万年モードの場合は、マークしないでください)

年間プログラム期間カードの説明

- 年間プログラム期間カードは、[特殊プログラム (報時特殊プログラム、チャイム特殊プログラム、タイマ特殊プログラム)]、[特殊曜日プログラム (報時特殊曜日プログラム、チャイム特殊曜日プログラム)] を実行させる期間を指定するカードです。
- 複数の回路に期間指定で設定する場合は、1枚のカードで設定します。
- 年間モードのプログラムを設定するときは、カードを作成した日にカードリーダーへ入力してください。

3. 消去の指定

- [万年] をマークすると、万年モードのプログラムが消去されます。
- [年間] をマークすると、年間モードのプログラムが消去されます。
- [年間]、[万年] いずれか1つマークできます。

4. 特殊番号の指定

- [年間/万年モード期間特殊プログラム] 設定時は、[0] ~ [39] の中から1つマークします。
- [年間/万年モード期間特殊曜日プログラム] 設定時は、[1] ~ [39] の中から最大7つまでマークします。

9~30. 期間指定 (注1、2)

- 期間の開始日と終了日をベアでマークしてください。
- 開始日はカード作成日 (カードリーダーへの入力日) から1年間です。
- 終了日は、開始日から最大1年間です。
ただし、開始日が来月以後の場合は今月と同じ来年の月の末日までです。

2. 回路番号指定

- 設定する回路の指定をします。
(回路番号 [1] ~ [8] は、複数を指定することが可能です)
- プログラムの消去を行なうときは、消去する回路を指定します。
(複数の指定はできません)

1. モード指定

- 設定するプログラムの種類を指定します。
- 1ヶ所マークします。

行番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
記入例	万年	特殊	消去	特殊番号					期間	ON	OFF
モード指定	万年	特殊	消去	特殊番号					期間	ON	OFF
回路番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
特殊実行番号	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
記入年月日											
用途											
回路番号											
特殊実行番号											
印刷面を裏側にして矢印の方向に差し込んでください											
注意事項	● 記入欄以外には文字を書かないでください ● マークは枠の中にHBまたはBの鉛筆で太く濃く記入してください ● 訂正は消しゴムで完全に消してください										
①万年プログラムはプログラムの有効期限が無期限のプログラムです											
②年間プログラムはプログラムの有効期限が1年間のプログラムです											
③特殊番号は特殊のときは1つだけ指定、特殊曜日のときは曜日指定の特殊プログラムを7つまで指定できます											
④期間指定は連続した複数日、「実行スタート月」と「実行ストップ月」を指定します											

●設定できるプログラム

年間モード期間特殊プログラム	-----	(最大、1年間のスケジュールが設定できます。 プログラム実行後は、1ヶ月単位で自動的に削除されます。 カード記入を行なった月に関係なく、1度設定すると消去 または上書きされるまで毎年同じ実行をくり返します。
年間モード期間特殊曜日プログラム		
万年モード期間特殊プログラム		
万年モード期間特殊曜日プログラム		

●[年間モード期間特殊プログラム]、[年間モード期間特殊曜日プログラム]を設定するときの注意

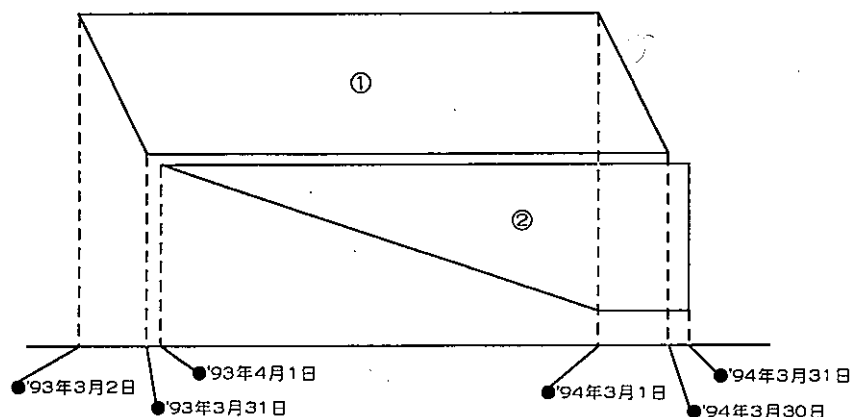
- 期間カードは日付カードと違って、来年指定やカード記入月をマークする欄がありません。
 そのため、カードを記入したらその日にカードリーダーへ入力して下さい。
 別の日に同じカードをカードリーダーへ入力すると、まちがった期間で設定されることがあります。

(注1) 設定しようとする期間内にすでに年間プログラム(年間モード特殊、万年モード特殊、年間モード期間特殊、などのプログラム)が設置されているときは、異なる回路であっても、期間指定でプログラムを設定することはできません。

(注2) 指定できる期間の範囲について(年間指定のプログラムを設定するとき)

[例] '93年3月2日にカードを作成する場合

	開 始 日	終 了 日
	カード作成日と同じ月	期間が1年を越えないように指定します
①	'93年3月2日(作成日当日)	'93年3月2日~'94年3月1日
	'93年3月15日	'93年3月15日~'94年3月14日
	'93年3月31日	'93年3月31日~'94年3月30日
②	カード作成日の翌月1日から カード作成日より1年未満	来年の、カード作成日と同じ月の月末まで
	'93年4月1日	'93年4月1日~'94年3月31日
	'94年3月1日	'94年3月1日~'94年3月31日



年間／万年モード期間特殊プログラム

- [年間／万年モード期間特殊プログラム] は、特殊日が長期に渡り連続する場合、その期間を指定して設定します。
- [年間／万年モード特殊プログラム] と同じように、[週間プログラム] の代わりに [特殊プログラム] を実行させます。
- [年間／万年モード期間特殊プログラム] は、同一期間に指定できる特殊番号が、1 回路に設定する場合も、全回路に設定する場合も、1 種類です。
(特殊番号は39種類〔1〕～〔39〕の中から指定します) (〔0〕については右ページ参照)
- 設定しようとする期間内に、すでに年間プログラムが設定されている場合は、回路が異なっても、期間指定のプログラムは設定できません。
- 全回路 (NO.〔1〕～NO.〔8〕) に設定できます。
- 同じ日付に設定できるプログラムは、全回路を通して年間モードまたは万年モードのどちらかのプログラムです。

設定例 (年間モード期間特殊プログラム)

- '93年7月20日～8月22日と、'93年8月24日～8月31日までは夏期休暇のため、チャイム特殊プログラムの特殊番号〔4〕で指定した通常とは異なった時刻パターンでチャイムを鳴らします。
('93年8月23日は登校日とします)

■回路番号〔1〕

■設定日は93年3月1日とします。

2. 回路番号指定
〔1〕をマーク

4. 特殊番号指定
〔4〕をマーク

9～30. 期間指定

期間1: 〔0〕〔7〕〔2〕〔0〕をON側に、
〔0〕〔8〕〔2〕〔2〕をOFF側に、

期間2: 〔0〕〔8〕〔2〕〔4〕をON側に、
〔0〕〔8〕〔3〕〔1〕をOFF側に、

マーク

1. モード指定
年間〔特殊〕をマーク

行番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
記入例	○	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
モード指定	年間	万年	年間	万年	年間	万年	年間	万年	年間	万年	年間	万年	年間	万年	年間
回路番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
特殊番号	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
期間指定	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON

注意事項

- 記入欄以外には文字を書かないでください
- マークは枠の中にHBまたは8の鉛筆で太く濃く記入してください
- 訂正は消しゴムで完全に消してください

(注意!!) 期間カードで年間モードのプログラムを設定する場合は、カードを作成した日にカードリーダーへ入力してください。

●特殊番号について

- 特殊番号は、年間プログラムと特殊プログラムの橋渡しをする番号です。
- 特殊番号を指定するときは、実行させたい時刻パターンに付いている特殊番号を指定します。
(回路ごとに異なった特殊番号を指定することはできません)
- 特殊番号 [0] を指定すると、1 日中その回路の週間プログラムの実行を止めることができます。
ただし、繰返しプログラム (タイマ機能は付加しない) は実行します。

●回路について

- [年間／万年モード期間特殊プログラム] を同一期間内に複数の回路に設定する場合は、どの回路もその期間内に年間プログラムが1つも入っていないことを確認してから、1 度に (つまり、1 枚のカードで) 行ってください。
何回かに分けて設定することはできません。

●下記の例のような、特別なスケジュールの期間の中に、さらに特別なスケジュールの日が入った場合の設定手順を説明します。

(設定日 (カードをカードリーダーへ挿入する日) は'93年3月1日とします)

- '93年7月20日～8月31日まで夏期休暇のため、チャイムをチャイム特殊プログラムの特殊番号 [4] で指定した時刻パターンで実行します。
- 夏期休暇中、8月23日は登校日のため、チャイムをチャイム特殊プログラムの特殊番号 [3] で指定した時刻パターンで実行します。

手順 1

まず、夏期休暇の間のチャイムスケジュール (特殊番号 [4]) を設定します。
期間指定で設定するときは、その期間は連続していることが条件です。
この例では8月23日が登校日です。そのために2つの期間に分けて設定しなければなりません。

93年7月20日～8月22日

期間 : 1

93年8月24日～8月31日

期間 : 2

左記のカードは手順 1 を設定したものです。設定例と同様にカードを作成し、カードリーダーへ挿入します。

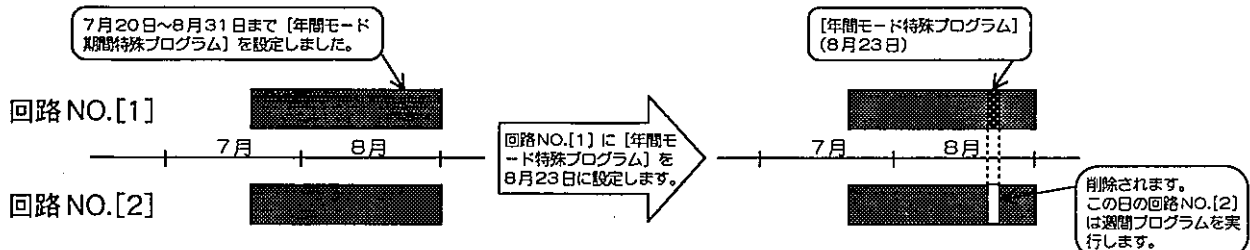
(この時、設定する期間内に、すでに年間プログラムが設定されている場合は、設定できないので注意してください)

手順 2

次に日付カードで、8月23日、登校日のチャイムのスケジュール (特殊番号 [3]) を設定します。(P.64 参照)

ご注意 !!

[年間モード期間特殊プログラム] などの (期間指定) で設定した期間内に、[年間モード特殊プログラム] などの (日付指定) でプログラムを設定することができますが、他の回路の期間指定で設定したプログラムが削除されます。(設定した日付が同じところ)



◆年間／万年モード期間特殊曜日プログラムの場合も同様です。

年間／万年モード期間特殊曜日プログラム

- [年間／万年モード期間特殊曜日プログラム] は、ある期間に通常の [週間プログラム] とは異なった時刻パターンを実行させたい時に、その期間と特殊番号を設定することで [特殊曜日プログラム] を実行させることができます。
- [特殊曜日プログラム] は、曜日ごとに異なった時刻パターンで設定できます。(P.58)
- [年間／万年モード期間特殊曜日プログラム] は、同一期間に指定できる特殊番号が1回路だけ設定する場合も、全回路に設定する場合も、最大7種類です。
7種類設定できるので、毎曜日ごとに異なる特殊番号を付けて動かすことができます。
(特殊番号は39種類 ([1] ~ [39]) の中から指定します)
- 設定しようとする期間内に、すでに年間プログラムが設定されている場合は、回路が異なっても、期間指定のプログラムは設定できません。
- 全回路 (NO.[1] ~ NO.[8]) に設定できます。
- 同一日に設定できるプログラムは、全回路を通して年間モードまたは万年モードのどちらかのプログラムです。

設定例 (万年モード期間特殊曜日プログラム)

毎年10月1日～3月31日までは、冬時間のため、特殊番号 [30] で設定してある、通常とは異なった時刻にチャイムを鳴らします。

■回路番号 [1]

1. モード指定
 万年 [特殊曜日] をマーク

2. 回路番号指定
 [1] をマーク

4. 特殊番号指定
 [30] をマーク

9~30. 期間指定
 [1] [0] [0] [1] をON側に、
 [0] [3] [3] [1] をOFF側に
 マークします。

**年間プログラム
期間カード**

記入年月日
 用 途
 回 路 番 号
 特殊実行番号

印刷面を裏側にして
 矢印の方向に差し込
 んでください

注意事項
 ● 記入欄以外には文字を書か
 ないでください
 ● マークは枠の中にHBまたは
 Bの鉛筆で太く濃く記入し
 てください
 ● 訂正は消しゴムで完全に消
 してください

行番号	1	2	3	4	5	6	7	8	期間	9	10	11	12	13	14	15
記入例	モ 指 定	回 路 番 号	消 去	特 殊 番 号					月 日	期間: 1 ON OFF		期間: 2 ON OFF		期間: 3 ON OFF		0
○	万年	1	消	0000					10	1	0	0	0	0	0	0
△	万年	2	特	0000					11	1	0	0	0	0	0	0
×	年間	3	特	0000					12	1	0	0	0	0	0	0
×	年間	4	特	0000					13	1	0	0	0	0	0	0
×	年間	5	特	0000					14	1	0	0	0	0	0	0
×	年間	6	特	0000					15	1	0	0	0	0	0	0
×	年間	7	特	0000					16	1	0	0	0	0	0	0
×	年間	8	特	0000					17	1	0	0	0	0	0	0
×	年間	9	特	0000					18	1	0	0	0	0	0	0
×	年間	10	特	0000					19	1	0	0	0	0	0	0
×	年間	11	特	0000					20	1	0	0	0	0	0	0
×	年間	12	特	0000					21	1	0	0	0	0	0	0
×	年間	13	特	0000					22	1	0	0	0	0	0	0
×	年間	14	特	0000					23	1	0	0	0	0	0	0
×	年間	15	特	0000					24	1	0	0	0	0	0	0
×	年間	16	特	0000					25	1	0	0	0	0	0	0
×	年間	17	特	0000					26	1	0	0	0	0	0	0
×	年間	18	特	0000					27	1	0	0	0	0	0	0
×	年間	19	特	0000					28	1	0	0	0	0	0	0
×	年間	20	特	0000					29	1	0	0	0	0	0	0
×	年間	21	特	0000					30	1	0	0	0	0	0	0
×	年間	22	特	0000					31	1	0	0	0	0	0	0
×	年間	23	特	0000					32	1	0	0	0	0	0	0
×	年間	24	特	0000					33	1	0	0	0	0	0	0
×	年間	25	特	0000					34	1	0	0	0	0	0	0
×	年間	26	特	0000					35	1	0	0	0	0	0	0
×	年間	27	特	0000					36	1	0	0	0	0	0	0
×	年間	28	特	0000					37	1	0	0	0	0	0	0
×	年間	29	特	0000					38	1	0	0	0	0	0	0
×	年間	30	特	0000					39	1	0	0	0	0	0	0

① 万年プログラムは
 プログラムの有効
 期限が無期限のプ
 ログラムです

② 年間プログラムは
 プログラムの有効
 期限が1年間のプ
 ログラムです

③ 特殊番号は
 特殊のときは1つ
 だけ指定、
 特殊曜日のときは
 曜日指定の特殊プ
 ログラムを7つまで
 指定できます

④ 期間指定は
 連続した複数日
 「実行スタート月
 日」と「実行スト
 ップ月日」を指定
 します

(注意!!) 期間カードで年間モードのプログラムを設定する場合は、カードを作成した日にカードリーダーへ入力してください。

●特殊番号について

- 特殊番号は、年間プログラムと特殊プログラムの橋渡しをする番号です。
- 特殊番号を指定するときは、実行させたい時刻パターンに付いている特殊番号を指定します。
(回路ごとに異なった特殊番号を指定することはできません)
- 特殊番号【00】は指定できません。

●回路について

- [年間／万年モード期間特殊曜日プログラム]を同一期間内に複数の回路に設定する場合は、全ての回路のその期間内に年間プログラムが1つも入っていないことを確認してから、1度に(つまり、1枚のカードで)行ってください。
何回かに分けて設定することはできません。

●下記の表のようにチャイムを鳴らすプログラムを、設定する順番を説明します。

1年のチャイムスケジュール

	通常時間 4月1日～9月30日	冬時間 10月1日～3月31日
月曜日～土曜日 8:30		
月曜日～土曜日 16:00	—	
月曜日～土曜日 17:00		—

順番① 4月1日～9月30日のチャイムスケジュールをチャイムプログラム(週間プログラム)で設定します。
(P.42 参照)

順番② 次に10月1日～3月31日を冬時間のスケジュールに変更します。

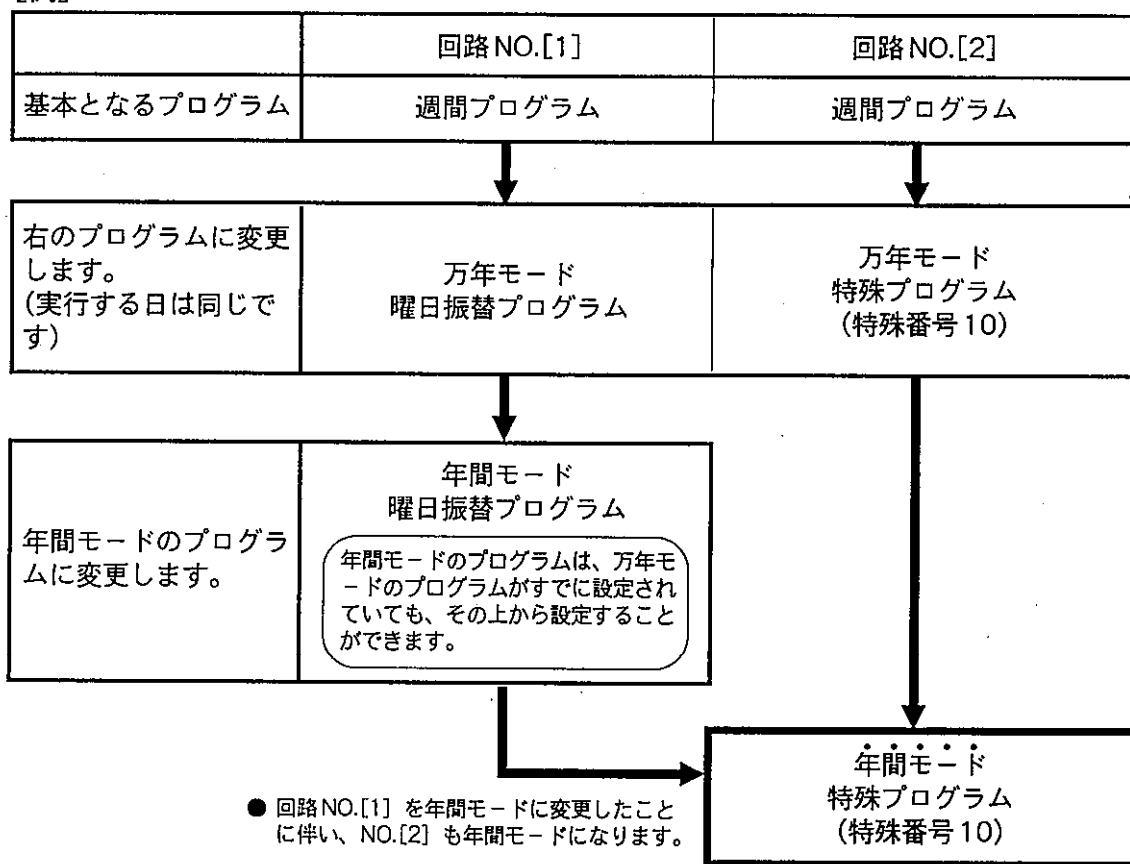
- チャイム特殊曜日プログラムで冬時間のチャイムのスケジュールを設定します。
(P.58～59 参照)
- 万年モード期間特殊曜日プログラムで日付(10月1日～3月31日)を設定します。
(P.72 参照)

年間／万年モードのプログラムを設定するときの注意点

- 年間モードのプログラムと万年モードのプログラムは、回路が異なっているとしても、同じ日付に設定することはできません。

- 万年モードのプログラムを年間モードのプログラムに変更するときは、下の例のようになります。

[例]

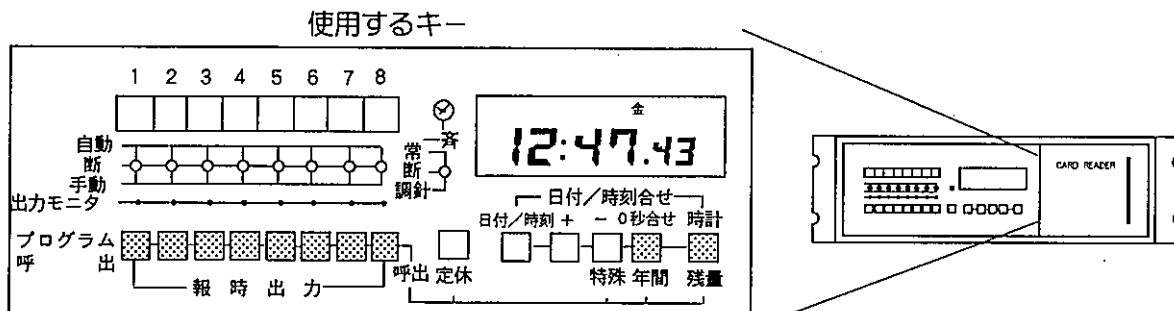


年間プログラム

- 年間モードのプログラムを万年モードのプログラムに変更することはできません。

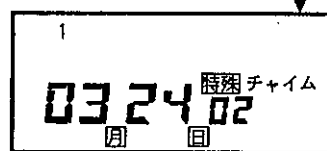
年間プログラムの確認

- **年間**を押しながら確認したい回路の**プログラム呼出**ボタンを押すごとに、年間プログラムが設定されている日付の確認ができます。(→)
- 日付は、現在の日付に近い方から順番に表示されます。
- 設定した日付を確認しているとき、確認している回路の**プログラム呼出**ボタンだけを押すごとに、表示してある日付に実行される**【特殊プログラム】**や**【週間プログラム】**の設定時刻が確認できます。(→)
- 確認終了は**時計**を押してください。
(30秒間キー入力がない状態が続いた場合も、確認は終了し、時刻表示に戻ります)

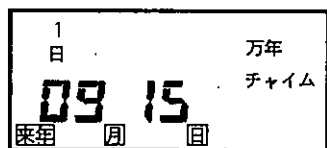


確認例

年間プログラム



- **【年間モード特殊プログラム】**を確認中の表示



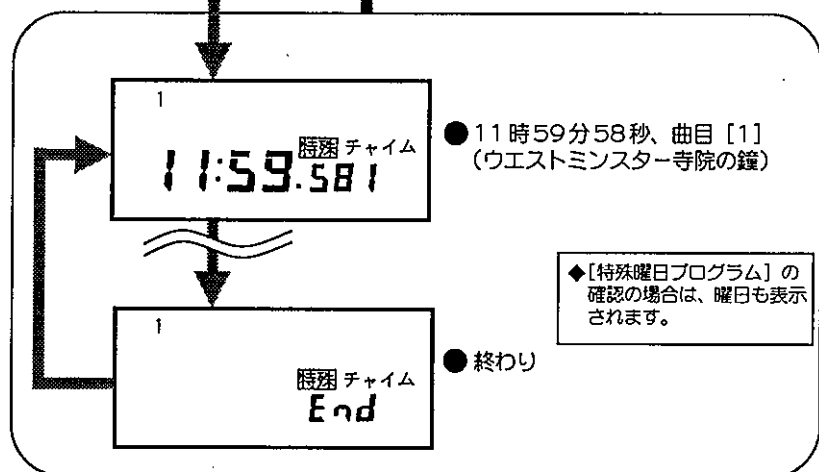
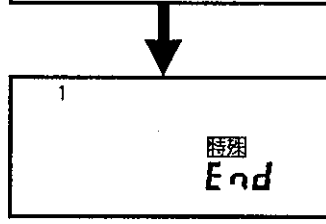
- **【万年モード曜日振替プログラム】**を確認中の表示
回路NO.[1]の来年の9月15日は日曜日の週間プログラムを実行します

※(万年モードのプログラムの場合は万年の表示が出ます。)



- 回路NO.[1]の今年の4月5日は、特殊番号[02]で設定したチャイム特殊プログラムを実行します
(設定時刻の確認をする場合は、**プログラム呼出**ボタンだけを押します)

設定時刻の確認



- 11時59分58秒、曲目[1] (ウエストミンスター寺院の鐘)

◆ **【特殊曜日プログラム】**の確認の場合は、曜日も表示されます。

- 終わり

→
特殊ボタンを押しながら
プログラム呼出ボタン
を押します

→
プログラム呼出ボタン
のみを押します

プログラムの消去

週間プログラム 特殊プログラム

- 週間プログラムを消去すると、同じ回路の特殊プログラムも一緒に消去されます。
- 特殊プログラムのみを消去することもできます。

消去例

回路 NO.[1] の週間プログラムを消去します。

2. 回路番号指定 (※1)
 [1] をマーク

3. 消去指定 (※2)
 [全] をマーク

週間プログラムカード

記入年月日	
用 途	
回 路 番 号	
特 殊 番 号	

印刷面を裏側に
矢印の方向に差し込んでください

注意事項

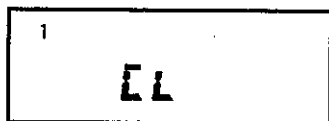
● 記入欄以外には文字を書かないでください

● マークは枠の中にHBまたはBの鉛筆で太く濃く記入してください

● 訂正は消しゴムで完全に消してください

行番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
記入例	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
モード	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時
指定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
時刻	00:00	01:00	02:00	03:00	04:00	05:00	06:00	07:00	08:00	09:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00
曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	日	月	火	水	木	金	土
チャイム	時	分	秒	分	秒	分	秒	分	秒	分	秒	分	秒	分	秒
時刻指定 (24時間制)	00:00	01:00	02:00	03:00	04:00	05:00	06:00	07:00	08:00	09:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00

● 消去後のLCD表示



■ 時計を押すと、時刻表示へ戻ります。

■ 消去されたことを確認してください。(P.52~53, 60)

(※1) [全]、[1] ~ [8] の中からいずれか1つマークしてください。
[全] ...全回路を消去します

(※2) 特殊をマークすると、特殊プログラムだけが消去されます。

年間プログラム

●年間モードと万年モードのプログラムを両方一度に消去することはできません。

消去例

全回路の年間モードのプログラムを消去します。

2. 回路番号指定 (※1)
[全] をマーク

3. 消去の指定 (※2)
[年間] をマーク

**年間プログラム
日付カード**

記入年月日	
用 途	
回 路 番 号	
特殊実行番号	

印刷面を裏側にして
矢印の方向に差し込
んでください

注意事項

- 記入欄以外には文字を書かないでください
- マークは枠の中にHBまたはBの鉛筆で太く、濃く記入してください
- 訂正は消しゴムで完全に消してください

行番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
記入例	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●
モード指定	万年	万年	万年	万年	万年	万年	万年	万年	万年	万年
回路番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
特殊番号	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09
曜日指定	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
年月/曜日	年1月 曜日	年2月 曜日	年3月 曜日	年4月 曜日	年5月 曜日	年6月 曜日	年7月 曜日	年8月 曜日	年9月 曜日	年10月 曜日
年間プログラム日付指定	1815229	1815229	1815229	1815229	1815229	1815229	1815229	1815229	1815229	1815229
	2916230	2916230	2916230	2916230	2916230	2916230	2916230	2916230	2916230	2916230
	3007231	3007231	3007231	3007231	3007231	3007231	3007231	3007231	3007231	3007231
	4008232	4008232	4008232	4008232	4008232	4008232	4008232	4008232	4008232	4008232
	5129263	5129263	5129263	5129263	5129263	5129263	5129263	5129263	5129263	5129263
	613027	613027	613027	613027	613027	613027	613027	613027	613027	613027
	7142128	7142128	7142128	7142128	7142128	7142128	7142128	7142128	7142128	7142128
	曜日を記入	曜日を記入	曜日を記入	曜日を記入	曜日を記入	曜日を記入	曜日を記入	曜日を記入	曜日を記入	曜日を記入

◎万年プログラムはプログラムの有効期限が無期限のプログラムです

◎年間プログラムはプログラムの有効期限が1年間のプログラムです

◎特殊番号(時刻ハターン)は特殊番号か曜日か定休のうち1つだけを設定します

◎日付指定は実行する日に全てを指定し

プログラムの
消去

●[年間プログラム期間カード]でも同様にマークすることで、消去できます。

(※1) [全]、[1] ~ [8] の中からいずれか1つマークしてください。
[全] ...全回路を消去します

(※2) 年間と万年を同時にマークして、消去することはできません。

●消去後のLCD表示

1 2 3 4 5 6 7 8

[L]

同

●万年モードの年間プログラムを消去したときは、[万年] の表示がでます。

■時計を押すと、時刻表示へ戻ります。

■消去されたことを確認してください。(年間プログラムの確認 P.75)

その他の機能

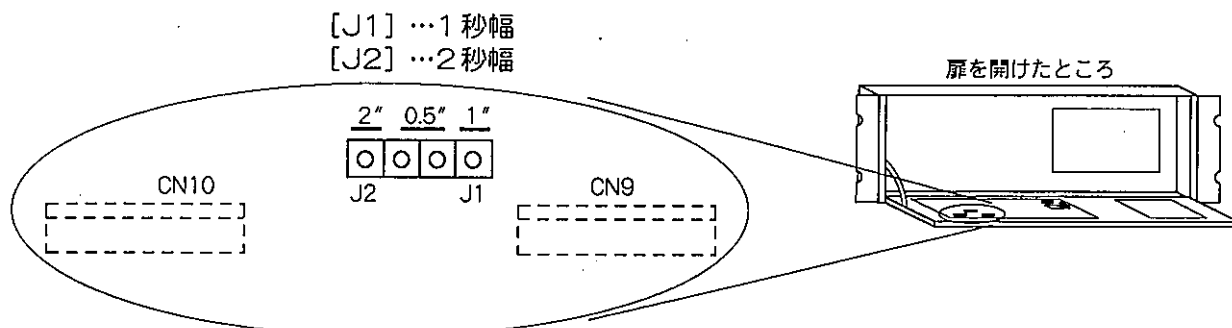
子時計信号 (30 秒有極信号) の信号幅の変更	P.80
プログラムメモリー用バックアップ電池	P.80
外部同期式 (オプション)	P.81
デジタル信号出力 (オプション)	P.81
停電時の動作と停電復帰後の動作 ...	P.82
電池の適正な交換	P.83
故障の時	P.83
各部の名称	P.84~85
週間プログラム、特殊プログラム 設定表	P.86~87
年間プログラム設定表	P.88~89
取付、配線工事上の注意 ...	P.90~93
PT-40T シリーズ仕様	P.94~95

△ 注意!

指定スイッチ以外の部分は絶対にさわらないでください。
故障の原因になります。

子時計信号（30秒有極信号）の信号幅の変更

- 通常は [0.5 秒] の幅で子時計信号を送出します。
- 信号幅の変更は制御部（SUK - 265）の J1、J2 で行います。



(注意) 信号幅 の変更は、電源 (AC、DC) を必ず OFF にしてから行ってください。そうしないと変更されません。
信号幅 0.5 秒を 1 秒または 2 秒に変更した場合、電池による停電動作時間が短くなります。

プログラムメモリー用バックアップ電池

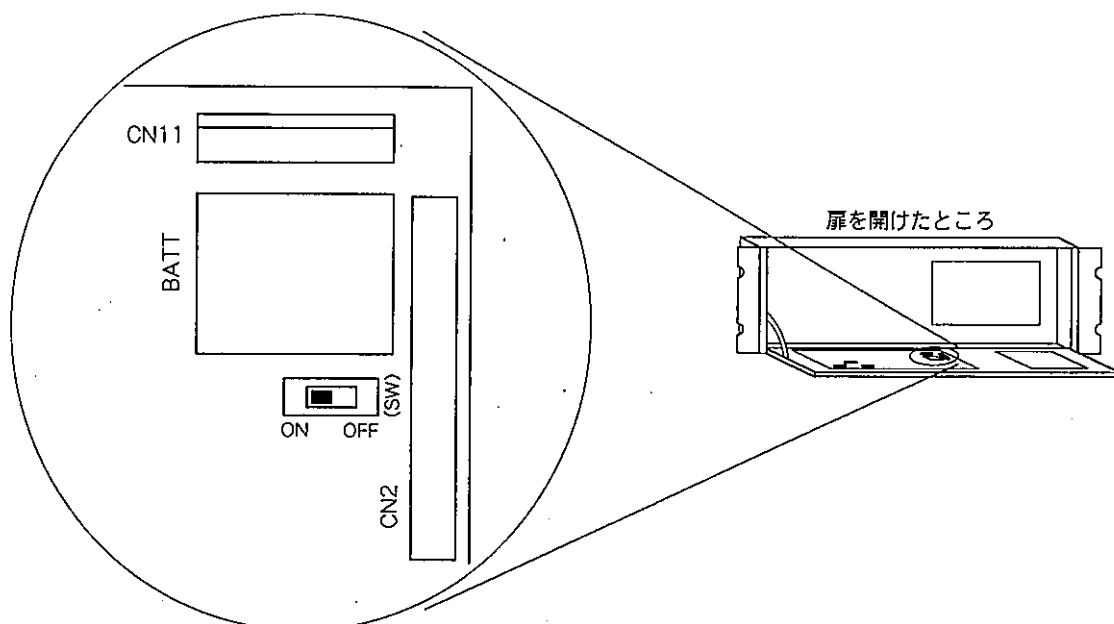
- 制御部（SUK - 265）にプログラムメモリー用バックアップ電池とその ON/OFF 用スイッチがあります。
- 通常は必ず [ON] にして使用します。

●異常な動作や表示をしたとき

電源 (AC、DC) を OFF、メモリ用スイッチを OFF にしてメモリを消去します。
その後にメモリ用スイッチを ON、電源 (AC、DC) を ON にして再開します。

◆ 設定した時刻やプログラムのデータは全て消去されます。

週間プログラム (P.33)、特殊プログラム (P.55) および年間プログラム (P.61) の設定に従い、プログラムを再設定します。



△ 注意!

指定スイッチ以外の部分は絶対にさわらないでください。
故障の原因になります。

外部同期式 (オプション)

- 外部同期式プログラムタイマ (外部の親時計に同期) には、3種類の同期モードがあります。

- J1…外部規正式

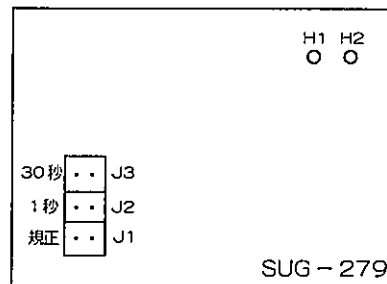
1日に2回 (7:00、19:00)、外部の親時計の30秒有極信号に同期します。
外部親時計とプログラムタイマの時刻差が、±30秒以内でないと同期しません。
また、外部親時計の信号が入力されなくても、内部クォーツの精度 (過差0.7秒以内) で通常運転します。

- J2…1秒同期式

外部親時計の1秒有極信号に同期します。
信号が入力されてないと、秒カウントが停止します。

- J3…30秒同期式

外部親時計の30秒有極信号に同期します。
信号が入力されてないと、29秒または59秒で秒カウントが停止します。
(注意) 子時計信号の信号幅を2秒幅で使用する場合は、外部の親時計の30秒有極信号の信号幅も2秒幅に設定してください。



- 同期モードの変更

- 同期モードの変更は規正信号部 (SUG-279) のヘッダー位置を変更します。

(注意) 同期モードの変更は電源 (AC、DC) を必ずOFFにしてから行ってください。そうしないと変更されません。

- ★ オプションは「外部規正式」「1秒同期式」「30秒同期式」「デジタル信号出力」の中から1つを使用できます。
複数を使用することはできません。

デジタル信号出力 (オプション)

カード式8回路プログラムタイマ付水晶式親時計にはデジタル信号出力機能を追加することができます。

デジタル信号出力部は、デジタル子時計用の時刻信号を1秒毎にシリアル出力します。

時刻信号 … 年・月・日・時・分および秒

ボーレート … 9600Bit/Sec 固定

出力電圧 … DC24V

出力容量 … 360mA

- ★ オプションは「外部規正式」「1秒同期式」「30秒同期式」「デジタル信号出力」の中から1つを使用できます。
複数を使用することはできません。

停電時の動作と停電復帰後の動作

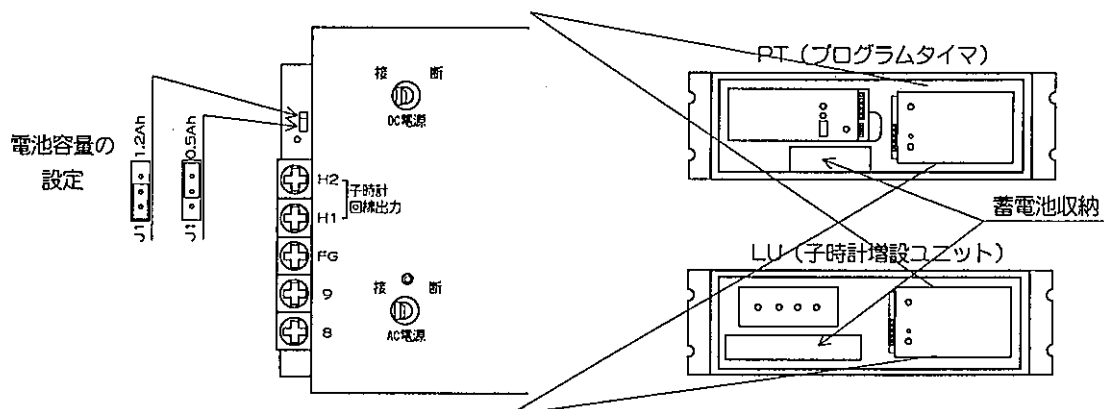
- 停電補償時間は、
子時計回線、1回線～4回線まで全て30時間です。
デジタル時計（日付と時刻）とタイマメモリ部は約20日間です。
ただしデジタル時計は、1秒または30秒の外部同期方式の場合は約30時間となります。
また、停電時は報時信号と内蔵電子チャイム、ラジオコントロール（FMラジオ）は動作しません。
- 30時間以内の停電
 - 子時計回線、デジタル時計、液晶画面およびタイマメモリ部は停電補償により、正しく動作します。
 - 液晶画面には、[電池]の表示が出ます。
 - タイマ出力回路は8回路とも「断」になります。
 - 停電が復帰すると、時刻表示部の[電池]表示は消え、通常運転に戻ります。
タイマ出力回路はプログラムに従った出力となります。
- 30時間以上20日間以内の停電
 - 子時計回線とタイマ出力回路は「断」になり、液晶画面も消えます。
 - デジタル時計とタイマメモリ部は停電補償され、正しく動作しています。
 - 停電が復帰すると、時刻表示部に現在時刻が表示され、タイマ出力回路はプログラムに従った出力となります。
 - 子時計は、一斉停止装置により同じ時刻で停止します。
子時計の時刻合わせ（P.15～19）に従い、子時計の時刻を合わせます。
- 20日間以上の停電
 - 子時計回線、デジタル時計、液晶画面およびタイマメモリ部を含む全てが停止します。
 - 停電が復帰すると、時刻表示部は年・月・日表示で「93」が点滅した、電源投入時の初期状態になります。
日付・時刻の合せかた（P.10～14）に従い、現在時刻に合せます。
 - 子時計回線は一斉停止装置により同じ時刻で停止しています。
停電の復帰にともない、通常通り動き始めます。
子時計の時刻合せ（P.15～19）に従い、子時計の時刻を合わせます。
 - プログラムメモリは全て保持されていません。
週間プログラム（P.33）、特殊プログラム（P.55）および年間プログラム（P.61）の設定に従い、プログラムを再設定します。

△ 注意!

指定スイッチ以外の部分は絶対にさわらないでください。
故障の原因になります。

電池の適正な交換

停電補償用ニッケルカドミウム蓄電池は、停電の回数や停電時間によって寿命は変化します。停電動作時間が短くなった場合や5年以上使用した場合には、早めに同規格の新しいニッケルカドミウム蓄電池に交換してください。



型名	電池型名	電源部の電池設定
PT (プログラムタイマ)	KR0.5AA - 20	J1 = 0.5Ah
LU (子時計増設ユニット)	KR1.2SC - 20	J1 = 1.2Ah

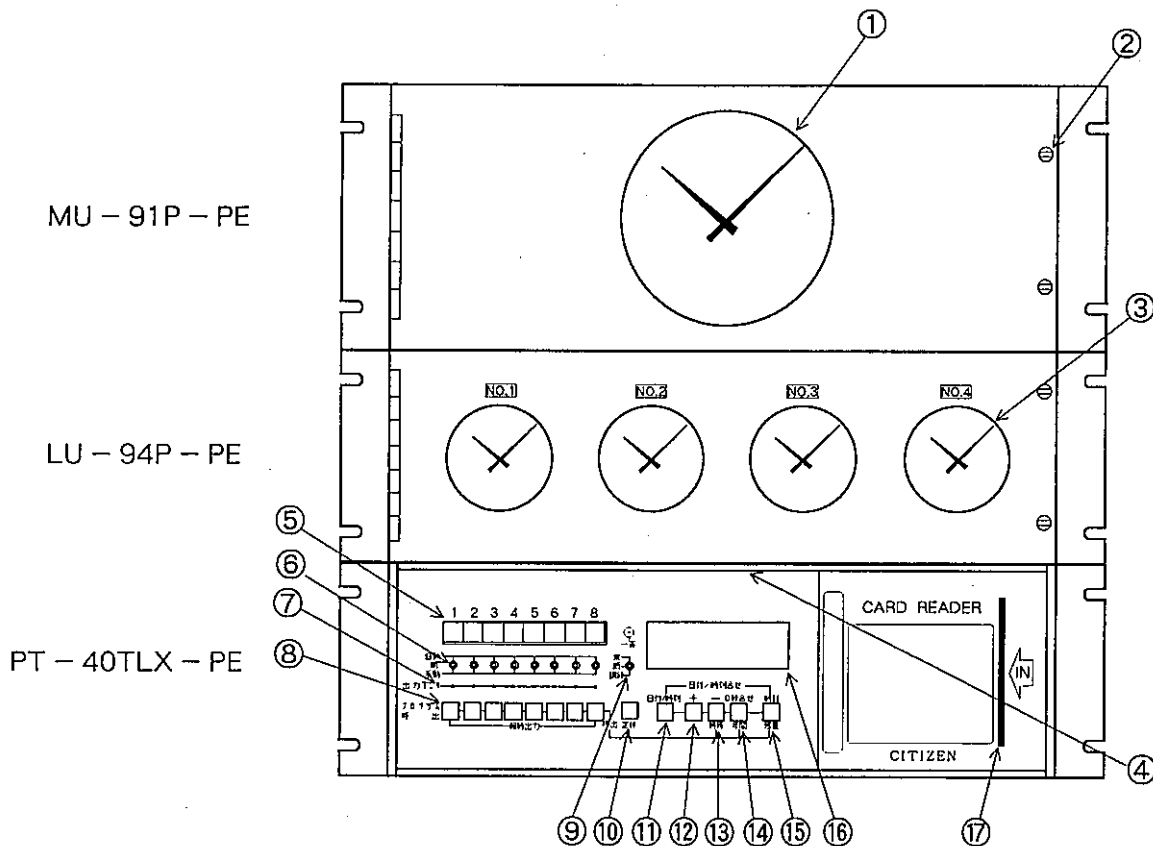
故障の時

● AC電源が正常かどうか確認してから、下記の処置を行ってください。

故障内容	確認事項	原因	対策
● 子時計が停止している	● LCDモニタも無表示 ■ 本体内部の電源 (AC) 用LEDが点灯している	● 電源ヒューズが切れている	● ヒューズを交換する
	● LCDモニタは表示 ■ 信号送出時、回線異常警報LEDが点灯する	● 子時計回路の配線のショートによる故障	● 時計回路の配線をチェックし、障害を除く
● すべての時分針は合っているが、大幅に狂っている	● 長時間の停電があったか	● 長時間の停電で電池電圧が下がり、信号電圧検出が働き、一時的に時計が止まった	● 時計の運転方法にしたがって再調整する
● 特定の回路の時計だけが止まる	● 信号送出時、回線異常警報LEDが点灯する	● 子時計回路の配線のショートによる故障	● 子時計回路の配線をチェックし、障害を除く
● LCDモニタに【電池】の表示がある	● 「停電」している	● 停電中ならば「正常」	● 「停電」を復帰させる
	● 「停電」していない	● AC電源スイッチが入っていない	● AC電源スイッチを「接」にする
		● AC電源ヒューズが切れている	● ヒューズを交換する
● ラジオコントロール付なのに現在時刻が狂う	● ラジオの受信状態を確認する	● 「正常」でなければ受信に問題がある	● 配線、接続をチェックし、受信状態を再調整する
● 停電中でもLCDモニタに「電池」の表示が出ない	● DC電源スイッチが入っていない		● DC電源スイッチを「接」にする
	● DC電源スイッチが入っている	● DC電源ヒューズが切れている	● ヒューズを交換する

その他の機能

各部の名称



①主モニタ

②扉開閉ネジ

③子時計回線モニタ

④把手

⑤操作する機械名を記入するラベル

⑥出力操作スイッチ (P.29)

⑦出力モニタ (P.29)

⑧プログラム呼出ボタン (P.29)

⑨子時計一括操作スイッチ (P.15～)

⑩定休ボタン

⑪日付/時刻ボタン

⑫+ボタン

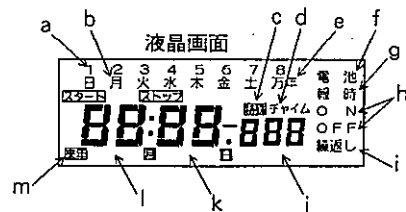
⑬-特殊ボタン

⑭0秒合せ/年間ボタン

⑮時計/残量ボタン

⑯液晶画面 (P.14)

⑰カード挿入口 (P.36)



a: 「1」～「8」報時回路を表示します

b: 「日」～「土」曜日表示します

c: 「特殊」プログラムの設定および確認中

d: 「チャイム」プログラムの設定および確認中

e: 「万年」モードの年間プログラムの設定および確認中

f: AC電源が停電している間表示します

g: 「報時」プログラムを設定および確認中

h: 「ON」「OFF」タイマプログラムを設定または確認中

i: 「繰返し」プログラムを設定または確認中

j: 時刻0秒、加減残量数、特殊番号、チャイム曲目を表示します

k: 時刻の分、パルス幅またはストップ時間を表示します

l: 時刻の時、またはスタート時間を表示します

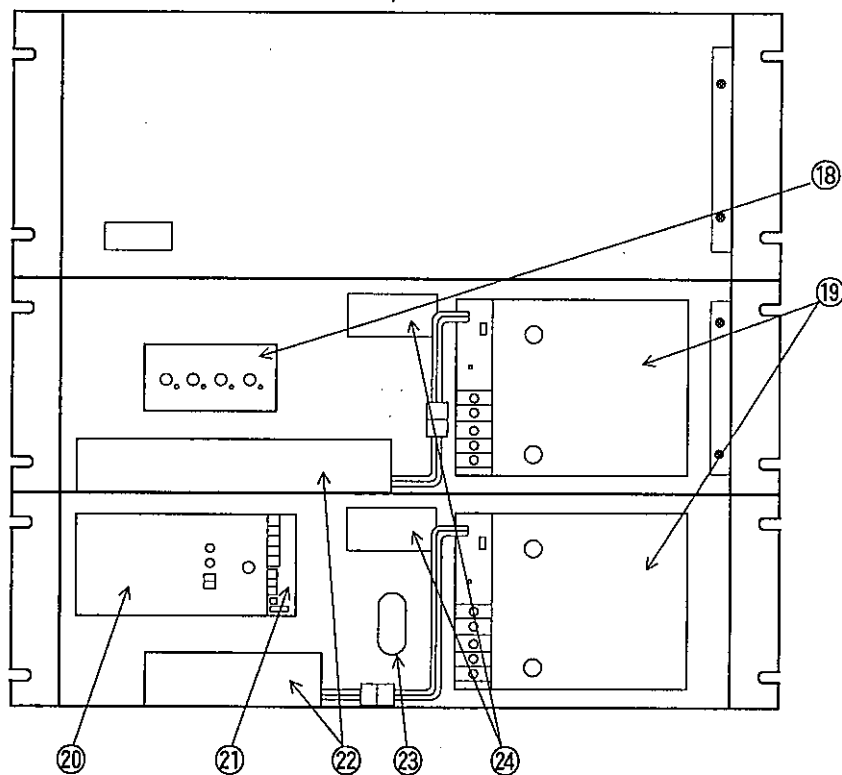
m: 来年の設定のとき、表示します

△ 注意!

指定スイッチ以外の部分は絶対にさわらないでください。
故障の原因になります。

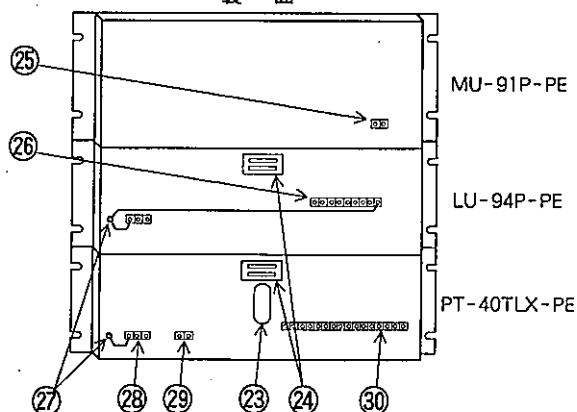
各部の名称

扉を開けたところ



- ⑱子時計回線ユニット (P.15)
- ⑲電源ユニット (P.10)
- ⑳ラジオコントロール(FMラジオ)ユニット (P.20)
- ㉑電子チャイムユニット (P.22)
- ㉒電池箱
- ㉓入線孔
- ㉔PT/LU接続コネクタ (P.93)
- ㉕子時計信号入力端子 (P.92~93)
- ㉖子時計回線出力端子 (P.93)
- ㉗アース端子 (P.91~93)
- ㉘AC100V入力端子 (P.91~93)
- ㉙外部時計入力端子
／デジタル信号出力端子 (P.91)
- ㉚報時信号出力端子

裏面



その他の機能

●コピーしてお使いください。

記入年月日

用途	使用 回路	下の一つを○で囲む								
		1	2	3	4	5	6	7	8	
報時	チャイム	繰返し	自修	定休	特殊	特曜	スタート	秒	●タイマ ON時刻	チャイム曲NO.
							ストップ時間 パルス幅	秒	○タイマ OFF時刻	
カードNO.										
特殊番号										
ON曜日										
OFF曜日										
時刻指定 (注 右上の口はチャイム曲番号(1-57)を記入します 左上の○はタイマとして使用する場合だけ記入します)		○	□	○	□	○	□	○	□	○
		:	:	:	:	:	:	:	:	:
		○	□	○	□	○	□	○	□	○
		:	:	:	:	:	:	:	:	:
		○	□	○	□	○	□	○	□	○
		:	:	:	:	:	:	:	:	:
		○	□	○	□	○	□	○	□	○
		:	:	:	:	:	:	:	:	:
		○	□	○	□	○	□	○	□	○
		:	:	:	:	:	:	:	:	:
		○	□	○	□	○	□	○	□	○
		:	:	:	:	:	:	:	:	:
		○	□	○	□	○	□	○	□	○
		:	:	:	:	:	:	:	:	:
		○	□	○	□	○	□	○	□	○
		:	:	:	:	:	:	:	:	:
		○	□	○	□	○	□	○	□	○
		:	:	:	:	:	:	:	:	:
		○	□	○	□	○	□	○	□	○
		:	:	:	:	:	:	:	:	:
		○	□	○	□	○	□	○	□	○
	:	:	:	:	:	:	:	:	:	
曲目番号1 ウエストミンス ター等校の曲		○	□	○	□	○	□	○	□	○
曲目番号2 ホイッティング トン等校の曲		○	□	○	□	○	□	○	□	○
曲目番号3 王の行進		○	□	○	□	○	□	○	□	○
曲目番号4 凱歌		○	□	○	□	○	□	○	□	○
曲目番号5 田園		○	□	○	□	○	□	○	□	○
曲目番号6 ふるさと		○	□	○	□	○	□	○	□	○
曲目番号7 夢路		○	□	○	□	○	□	○	□	○

記入年月日

用途	使用 回路	下の一つを○で囲む								
		1	2	3	4	5	6	7	8	
報時	チャイム	繰返し	自修	定休	特殊	特曜	スタート	秒	●タイマ ON時刻	チャイム曲NO.
							ストップ時間 パルス幅	秒	○タイマ OFF時刻	
カードNO.										
特殊番号										
ON曜日										
OFF曜日										
時刻指定 (注 右上の口はチャイム曲番号(1-57)を記入します 左上の○はタイマとして使用する場合だけ記入します)		○	□	○	□	○	□	○	□	○
		:	:	:	:	:	:	:	:	:
		○	□	○	□	○	□	○	□	○
		:	:	:	:	:	:	:	:	:
		○	□	○	□	○	□	○	□	○
		:	:	:	:	:	:	:	:	:
		○	□	○	□	○	□	○	□	○
		:	:	:	:	:	:	:	:	:
		○	□	○	□	○	□	○	□	○
		:	:	:	:	:	:	:	:	:
		○	□	○	□	○	□	○	□	○
		:	:	:	:	:	:	:	:	:
		○	□	○	□	○	□	○	□	○
		:	:	:	:	:	:	:	:	:
		○	□	○	□	○	□	○	□	○
		:	:	:	:	:	:	:	:	:
		○	□	○	□	○	□	○	□	○
		:	:	:	:	:	:	:	:	:
		○	□	○	□	○	□	○	□	○
		:	:	:	:	:	:	:	:	:
		○	□	○	□	○	□	○	□	○
	:	:	:	:	:	:	:	:	:	
曲目番号1 ウエストミンス ター等校の曲		○	□	○	□	○	□	○	□	○
曲目番号2 ホイッティング トン等校の曲		○	□	○	□	○	□	○	□	○
曲目番号3 王の行進		○	□	○	□	○	□	○	□	○
曲目番号4 凱歌		○	□	○	□	○	□	○	□	○
曲目番号5 田園		○	□	○	□	○	□	○	□	○
曲目番号6 ふるさと		○	□	○	□	○	□	○	□	○
曲目番号7 夢路		○	□	○	□	○	□	○	□	○

その他の機能

年間プログラム 設定表

●コピーしてお使いください。

用途								
使用回路	1	2	3	4	5	6	7	8
	報 時		チャイム		タイマ			
記入月	年		月		日			

	年間プログラムの種類	記号	指定内容
日付指定	年間モード特殊	A	特殊番号
	万年モード特殊	B	特殊番号
	年間モード曜日振替	C	曜日
	万年モード曜日振替	D	曜日
期間指定	年間モード期間特殊	E	特殊番号
	万年モード期間特殊	F	特殊番号
	年間モード期間特殊曜日	G	特殊番号
	万年モード期間特殊曜日	H	特殊番号

曜日	年 1 月													
	1		8		15		22		29					
	2		9		16		23		30					
	3		10		17		24		31					
	4		11		18		25							
	5		12		19		26		全					
	6		13		20		27							
	7		14		21		28		来年					

曜日	年 4 月													
	1		8		15		22		29					
	2		9		16		23		30					
	3		10		17		24							
	4		11		18		25							
	5		12		19		26		全					
	6		13		20		27							
	7		14		21		28		来年					

曜日	年 2 月													
	1		8		15		22		29					
	2		9		16		23							
	3		10		17		24							
	4		11		18		25							
	5		12		19		26		全					
	6		13		20		27							
	7		14		21		28		来年					

曜日	年 5 月													
	1		8		15		22		29					
	2		9		16		23		30					
	3		10		17		24		31					
	4		11		18		25							
	5		12		19		26		全					
	6		13		20		27							
	7		14		21		28		来年					

曜日	年 3 月													
	1		8		15		22		29					
	2		9		16		23		30					
	3		10		17		24		31					
	4		11		18		25							
	5		12		19		26		全					
	6		13		20		27							
	7		14		21		28		来年					

曜日	年 6 月													
	1		8		15		22		29					
	2		9		16		23		30					
	3		10		17		24							
	4		11		18		25							
	5		12		19		26		全					
	6		13		20		27							
	7		14		21		28		来年					

その他の機能

メモ

記入例

用途								
使用回路	1	2	3	4	5	6	7	8
	報 時		チャイム		タイマ			
記入月	年 月 日							

曜日	年 4 月											
	1		8		15		22		29			
	2		9		16		23		30			
	3		10		17		24		31			
	4		11		18		25					
	5		12		19		26		全			
	6		13		20		27					
	7		14		21		28		来年			

曜日	年 7 月											
	1		8		15		22		29			
	2		9		16		23		30			
	3		10		17		24		31			
	4		11		18		25					
	5		12		19		26		全			
	6		13		20		27					
	7		14		21		28		来年			

曜日	年 10 月											
	1		8		15		22		29			
	2		9		16		23		30			
	3		10		17		24		31			
	4		11		18		25					
	5		12		19		26		全			
	6		13		20		27					
	7		14		21		28		来年			

曜日	年 8 月											
	1		8		15		22		29			
	2		9		16		23		30			
	3		10		17		24		31			
	4		11		18		25					
	5		12		19		26		全			
	6		13		20		27					
	7		14		21		28		来年			

曜日	年 11 月											
	1		8		15		22		29			
	2		9		16		23		30			
	3		10		17		24					
	4		11		18		25					
	5		12		19		26		全			
	6		13		20		27					
	7		14		21		28		来年			

曜日	年 9 月											
	1		8		15		22		29			
	2		9		16		23		30			
	3		10		17		24					
	4		11		18		25					
	5		12		19		26		全			
	6		13		20		27					
	7		14		21		28		来年			

曜日	年 12 月											
	1		8		15		22		29			
	2		9		16		23		30			
	3		10		17		24		31			
	4		11		18		25					
	5		12		19		26		全			
	6		13		20		27					
	7		14		21		28		来年			

曜日	年 月 (記入月と同じ来年の月)											
	1		8		15		22		29			
	2		9		16		23		30			
	3		10		17		24		31			
	4		11		18		25					
	5		12		19		26		全			
	6		13		20		27					
	7		14		21		28		来年			○

その他の機能

警告

- 指定スイッチ以外の部分は絶対にさわらないでください。感電・故障の原因になります。
- 配線図どおりに接続してください。極性のあるものは極性どおりに接続してください。

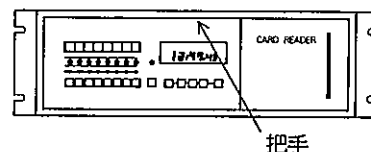
取付、配線工事上の注意

● 設置場所について

- 日光の直射を受けず、振動やほこりが少なく、湿度の低い場所に設置してください。

● 扉の開閉について

- 右図の中央部の把手を手前に引くと、扉は下を開きます。



把手

● 取付について

- 取付け金具を本体にしっかり固定してから、パネルに取付けます。

● 電源について

- AC100Vの入力電源電源は消灯されることのない、常夜灯回路を使用してください。

● 子時計の接続について（親時計の場合）

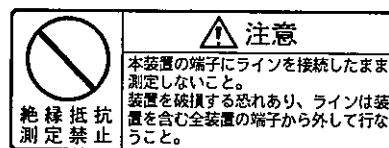
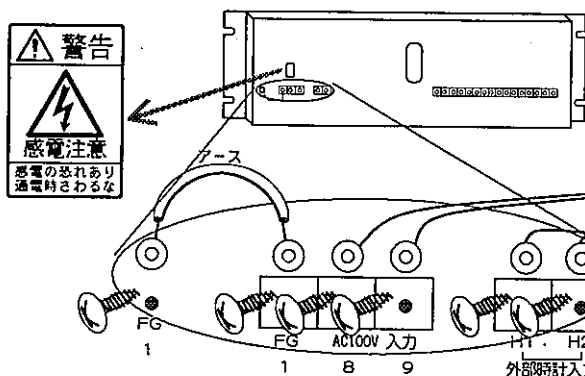
- 子時計配線は、時計の極性識別のため色分けをしてください。
- 線路の接続、分岐は必ずボックス内で確実に圧着してください。

● 接地（アース）について

- 必ず接地工事をしてください。
この親時計にはサージアブソーバ（異常電圧吸収器：避雷器ではありません）が組み込まれています。
- 接地工事をするにより時計の対雑音対策は向上しますが、安易に他の電力機器と共通のフレームグランドを行った場合は、その電力機器の干渉により時計の精度に悪影響を与えることもありますので注意してください。

● 絶縁試験について

- 親時計に接続されるラインの絶縁試験は、まず電源をOFFにし、配線の子時計端子より切り離して行ってください。接続したまま絶縁試験を行うと、プログラムタイマが破損します。



●このように外します（他の端子も）

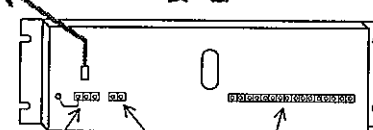
その他の機能

● 結線について

- 次頁以降を参考に、確実に接続してください。
- 内蔵電子チャイム、FMラジオのアンテナについては P.92 を参照してください。
- 親時計（L）付は、P.92～93 を参考に接続してください。



PT-40Tシリーズ
裏面



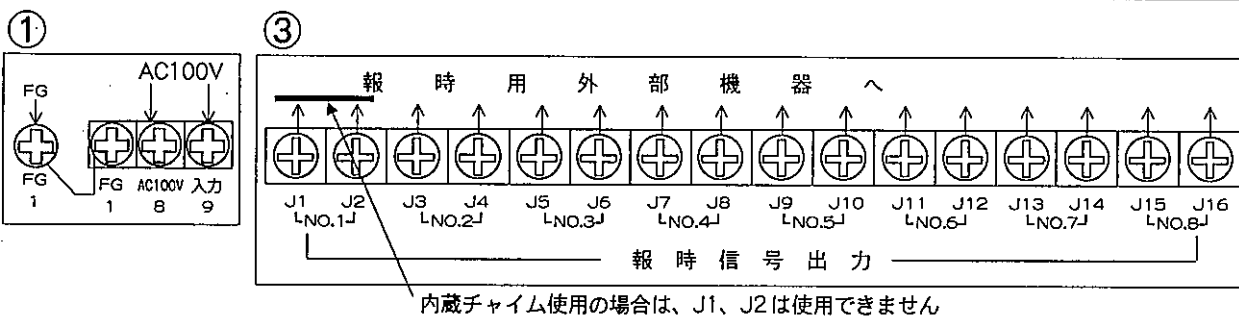
- ① AC電源
- ② 外部同期デジタル信号
- ③ 報時信号出力

警告

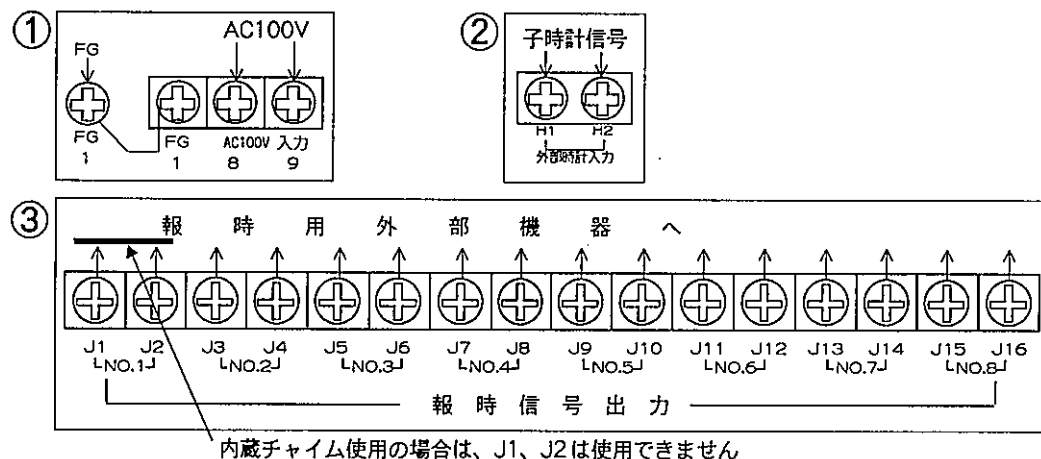
- 指定スイッチ以外の部分は絶対にさわらないでください。感電・故障の原因になります。
- 配線図どおりに接続してください。極性のあるものは極性どおりに接続してください。

取付、配線工事上の注意

PT-40T-PE (PB)、PT-40TR-PE (PB)、PT-40TC-PE (PB) の場合
 ●内蔵電子チャイムおよびFMラジオのアンテナについてはP.92を参照してください。

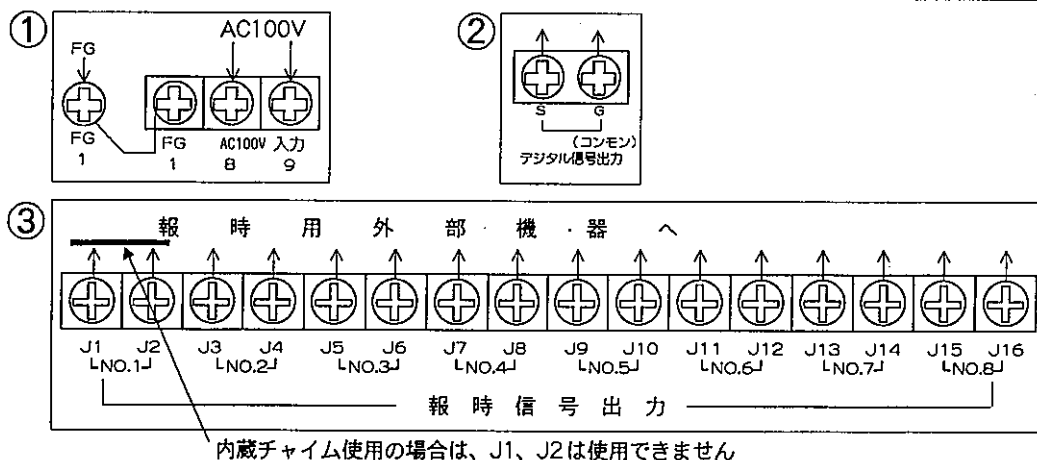


外部同期式 (E) の場合 PT-40TE-PE (PB)、PT-40TEC-PE (PB)
 ●内蔵電子チャイムの結線の方法はP.92を参照してください。



デジタル信号出力 (D) 付の場合 (オプション)

●内蔵電子チャイムおよびFMラジオのアンテナについてはP.92を参照してください。



(注意) 報時信号出力回路について

- 負荷容量
8回路ともAC250V 5A (抵抗負荷) です。
5Aを超える負荷容量の場合は、必ず電磁開閉器または電磁接触器を併用してください。
最小適用負荷はDC5V 1mAです。
- 出力の信号
8回路とも無電圧メーク信号です。

その他の機能

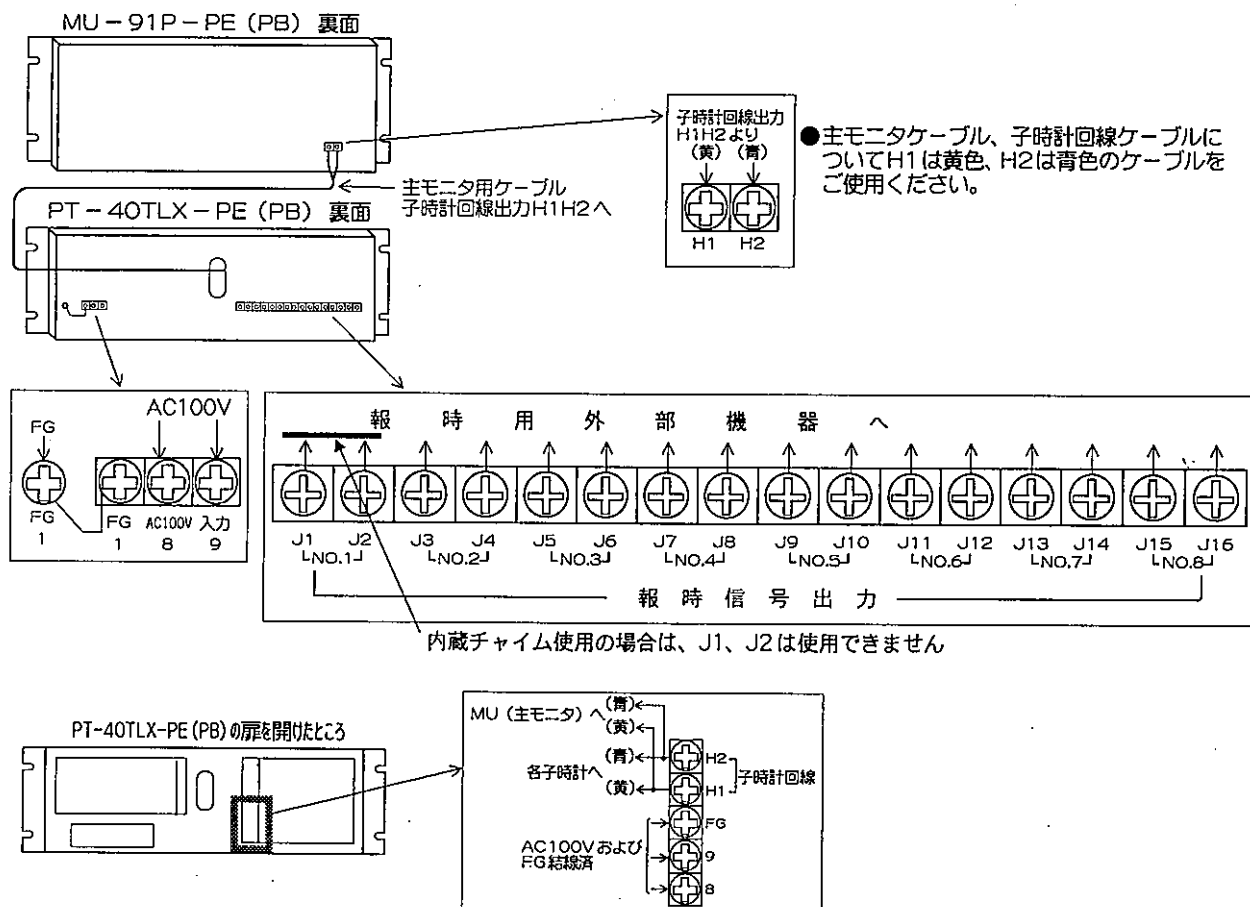


- 指定スイッチ以外の部分は絶対にさわらないでください。感電・故障の原因になります。
- 配線図どおりに接続してください。極性のあるものは極性どおりに接続してください。

取付、配線工事上の注意

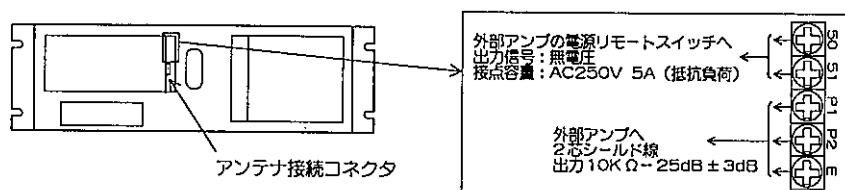
親時計 (L) 付で、子時計回線が1回線の場合

(PT-40TL-PE (PB)、PT-40TLR-PE (PB)、PT-40TLC-PE (PB))

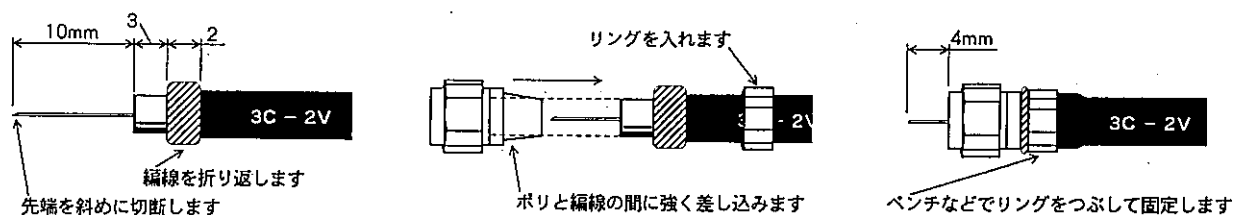


その他の機能

内蔵電子チャイムの結線/FM ラジオのアンテナ



3C-2V 用の F 型接栓を付属しています



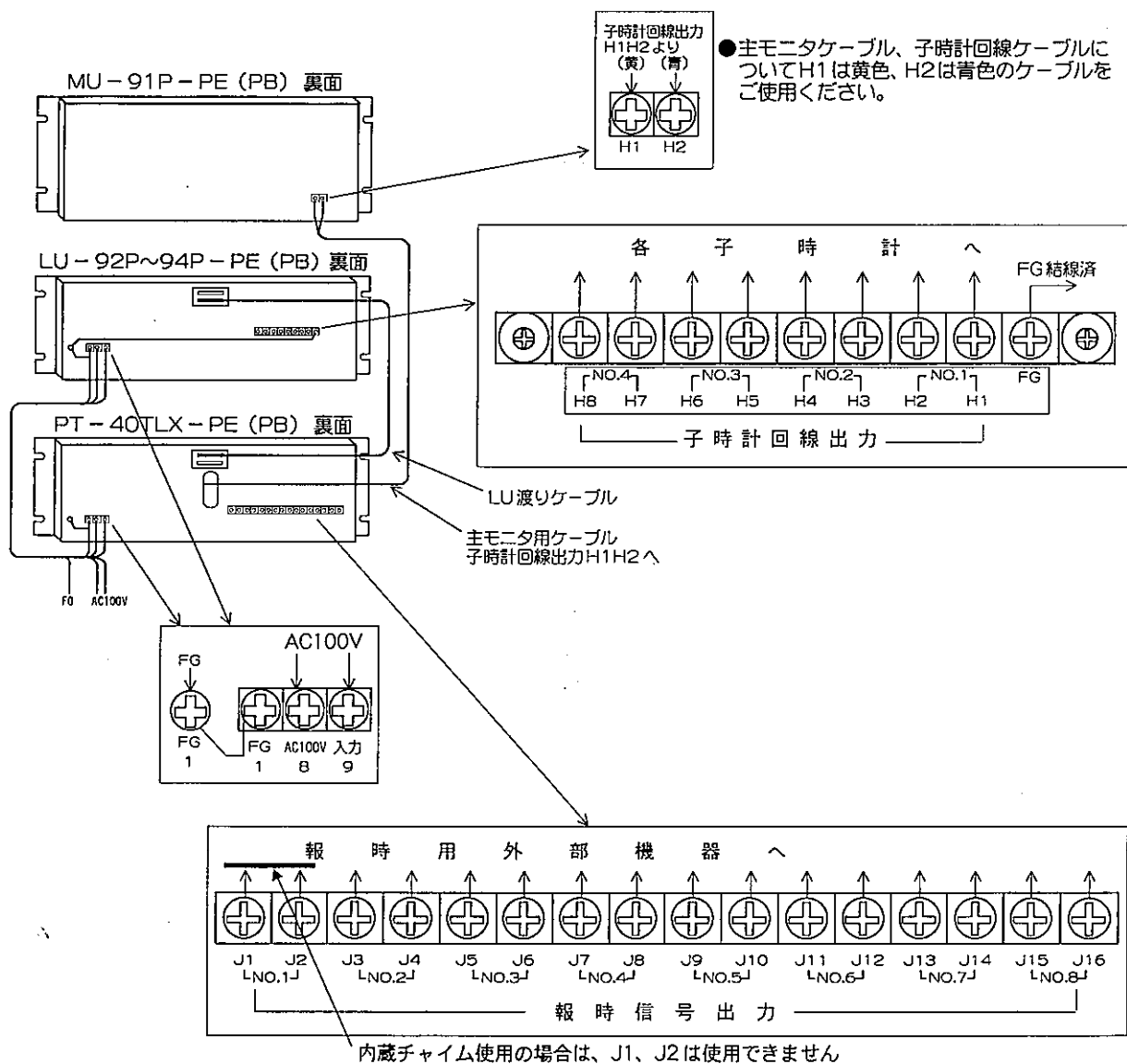


警告

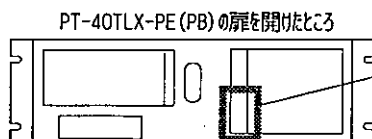
- 指定スイッチ以外の部分は絶対にさわらないでください。感電・故障の原因になります。
- 配線図どおりに接続してください。極性のあるものは極性どおりに接続してください。

取付・配線工事上の注意

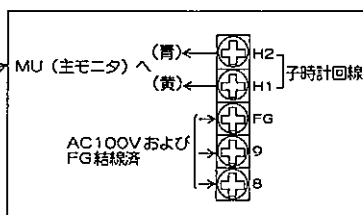
親時計 (L) 付で、子時計回線が2回線～4回線の場合
(PT-40TL-PE (PB)、PT-40TLR-PE (PB)、PT-40TLC-PE (PB))



その他の機能



PT-40TLX-PE (PB) の扉を開けるところ



PT-40T シリーズ仕様

部 門	項 目	PT-40T
親 時 計	水 晶 発 振 周 波 数	4194.304KHz
	精 度	過差±0.7秒以内 ラジオコントロール付の場合積算誤差0秒
	使 用 温 度 範 囲	-10℃～+50℃
	精 度 保 証 温 度 範 囲	0℃～40℃
	時 刻 表 示	30秒間欠時計
	秒 調 整	0秒規正方式
	子 時 計 回 線 出 力 信 号	DC24V無接点30秒有極 過電流防止及びサージアブソーバ付
	子 時 計 駆 動 数 (最 大)	30個 1個12mAとして
	子 時 計 修 正	自動早送り方式 (異常ノイズ幅発生防止装置付)
	信 号 電 圧 検 知 装 置	信号電圧降下時一斉停止装置付
	子 時 計 回 線 拡 張 信 号	0.5、1、30秒 オープンコレクタ出力 タイミング信号 1秒
	入 力 電 源	AC100V±10% 50/60Hz 最大20W
	停 電 時 電 源	密閉型ニッケルカドミウム蓄電池 (DC24V) 内装
	電 池 保 護	過放電防止装置付
	停 電 時 動 作 時 間	約30時間 タイマメモリ部 約20日間
	ケ ー ス	鋼板製
	仕 上 色	クリーム色 (2.5Y9/1) 半ツヤ 文字黒色印刷
	重 量	PT-40TLC-PE 約5.5kg
プ ロ グ ラ ム タ イ マ ー (T)	制 御 方 式	CPU使用 全電子式 回路および時刻の設定はカードによる
	プ ロ グ ラ ム の 種 類	週間、万年、年間、期間および繰返し
	設 定 単 位	1週間または1年間で1分単位
	出 力 回 路	独立8回路で特殊設定が可能 (各回路ごとに39種類の設定が可能)
	出 力 動 作 数	8回路合計500動作、ただし1回路に500動作全部の設定も可能 (タイマ設定はON、OFF合わせて1000設定)
	報 時 出 力	信号幅1秒単位で1秒から59秒まで可変
	タ イ マ 出 力	設定時刻から設定時刻まで継続
	出 力 信 号 容 量	接点メーク信号 (接点容量AC250V 5A抵抗負荷) (最小適用負荷DC5V 1mA)
ラ ジ オ コ ン ト ロ ール (R)	時 刻 表 示	曜日、時、分、秒デジタルLCD表示切替えにより年、月、日デジタルLCD表示
	受 信 機	局部発振は水晶使用
	受 信 周 波 数 範 囲	76.0～90.0MHz (100KHz間隔) NHK FM放送局
	受 信 感 度	電界強度48dB (約0.25mV/m) 以上 ※アンテナは別途必ず設置してください (75Ω)
	時 刻 修 正 範 囲	正時に対し±30秒
	時 刻 修 正 回 数	1日2回 (7時、19時)
	時 刻 修 正 方 式	周波数自動可変方式
	同 調 方 法	電子チューニング方式 (PLL方式)
チ ャ イ ム (C)	選 局	2桁のコードをロータリースイッチでセット
	チ ャ イ ム	電子式FM音源
	曲 目	①ウェストミンスター寺院の鐘 ②ホイットニングトン寺院の鐘 ③王の行進 ④銀波 ⑤田園 ⑥ふるさと (故郷) ⑦家路
	選 曲 方 式	カードにより選曲 (設定時刻ごとに曲目の指定が可能)
	出 力	インピーダンス 10KΩ-25dB±3dB
	ア ン プ 投 入	1回路接点メーク信号 (接点容量AC250V 5A抵抗負荷)

その他の機能

項 目		PT-40T
外部同期 (E)	外部規正式	常時は単独で動作 1日2回(7時、19時)外部親時計の子時計信号に同期
	30秒同期式	外部親時計の30秒信号に同期
	1秒同期式	親時計からの1秒信号に同期
デジタル時計信号(D)		デジタル子時計用の時刻信号(オプション)

LU シリーズ仕様

項 目	内 容			
	子時計回線数			
	—	2回線(92P)	3回線(93P)	4回線(94P)
入 力 信 号	子時計回線拡張信号 0.5、1、30秒 タイミング信号 1秒			
使 用 温 度 範 囲	-10℃~+50℃			
時 刻 表 示	30秒間欠運針			
子 時 計 回 線 出 力 信 号	DC24V無接点30秒有極 過電流防止およびサージアブソーバ付			
子 時 計 駆 動 数 (最 大)	—	60個	90個	120個
子 時 計 修 正	自動早送り方式(異常ハルス幅発生防止装置付)			
信 号 電 圧 検 知 装 置	信号電圧降下時一斉停止装置付			
入 力 電 源	AC100V±10%50/60Hz			
停 電 時 電 源	—	最大28W	最大36W	最大45W
電 池 保 護	密閉型ニッケルカドミウム蓄電池(DC24V)内蔵			
電 池 保 護	過放電防止装置付			
停 電 時 動 作 時 間	約30時間			
ケ ー ス	鋼板製			
仕 上 色	クリーム色(2.5Y9/1)半ツヤ 文字黒色印刷			
重 量	PE	約6Kg		
	PB	約7.5Kg		

その他の機能

あ

アース P.90
アンテナ P.20、92
1 秒子時計 P.19
1 秒同期式 P.81
AC電源 P.10
音量LED P.20

か

カード記入月 P.63
カードリーダー P.36
回線異常警報LED P.15~17、19
回線モニタ P.15~18
外部規正式 P.81
外部チャイム P.41
外部同期式 P.81
繰返しプログラム P.28、48~51
子時計**一斉**操作スイッチ P.15~17
子時計回線 P.15~17
子時計自動修正プログラム P.35
子時計信号 P.80
子時計操作スイッチ P.16、17、19

さ

30 秒同期式 P.81
週間プログラム P.28、33
週間プログラムカード P.34
週間プログラム、特殊プログラム設定表 P.30、86
出力操作スイッチ P.22、29
出力モニタ P.29
主モニタ P.15~18
消去 (プログラムの消去) P.76~77
絶縁試験 P.90
接地 P.90
選局用ロータリースイッチ P.20

た

タイマ特殊プログラム P.28、56
タイマプログラム P.28、44~47
チャイム**出力**ボリューム P.23
チャイム**テスト**起動スイッチ P.23
チャイムテスト**選曲**ロータリー P.23
チャイム特殊プログラム P.28、56
チャイム特殊曜日プログラム P.28、58
チャイムプログラム P.28、42
DC電源 P.10
定休日 P.38
停電補償 P.82
デジタル信号出力 P.81
塔時計 P.18
特殊プログラム P.28、55

な

内蔵スピーカ P.20、23
内蔵電子チャイム P.22、42
ニッケルカドミウム蓄電池 P.83
年間プログラム P.28、61
年間プログラム期間カード P.68
年間プログラム設定表 P.31、88
年間プログラム日付カード P.62
年間モード期間特殊プログラム P.28、70
年間モード期間特殊曜日プログラム P.28、72
年間モード特殊プログラム P.28、64
年間モード曜日振替プログラム P.28、66

は

パルス幅 P.34
プログラムの消去 P.76~77
プログラムメモリ用バックアップ電池 P.80
プログラム呼出ボタン P.29
報時特殊プログラム P.28、56
報時特殊曜日プログラム P.28、58

報時プログラム	P.28、40
放送局設定用コード表	P.21

ま

万年モード期間特殊プログラム	P.28、70
万年モード期間特殊曜日プログラム	P.28、72
万年モード特殊プログラム	P.28、64
万年モード曜日振替プログラム	P.28、66
モニタースピーカスイッチ	P.20、23

ら

ラジオコントロール	P.20
-----------------	------

